

官報

號外 昭和十三年三月六日

○第七十三回衆議院議事速記録第二十三號

昭和十三年三月五日(土曜日)

午後二時十七分開議

議事日程 第二十二號

昭和十三年三月五日

午後一時開議

第一 職業紹介法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第二 本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三 農業保險法案(政府提出) 第一讀會

第四 不動産融資及損失補償法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第五 産業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 漁業法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 産業組合自治監督法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ爲茲ニ掲載ス)

一 政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案

農業保險法案

一 議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

産師法案

提出者

土屋清三郎君 斯波 貞吉君

中崎 俊秀君 山田 清君

青木 亮貫君 一松 定吉君

農家世襲財産法案

提出者

林 平馬君 眞鍋 勝君

矢野庄太郎君

提出者

森田重次郎君 松田竹千代君

野田文一郎君 小山倉之助君

裁判所構成法中改正法律案

提出者

高橋 義次君 岡本實太郎君

一松 定吉君 紅露 昭君

宮崎 一君 清瀬 一郎君

山口縣ニ高等工業學校設置ニ關スル建議案

提出者

片山 哲君

中野 治介君 西村 茂生君

西川 貞一君 國光 五郎君

庄 晋太郎君

國道路線追加ニ關スル建議案

提出者

京都線間列車増加ニ關スル建議案

提出者

田中 好君 江羅直三郎君

五戸川改修助成ニ關スル建議案

提出者

松本高山間鐵道敷設速成ニ關スル建議案

提出者

物部川ダム築設ニ關スル建議案

提出者

伊勢ノ聖地ニ神都大學設置ニ關スル建議案

提出者

川崎 克君 長井 源君

木曾福島久々野間ヲ鐵道豫定線ニ編入ニ關スル建議案

提出者

内閣ニ人權擁護委員會設置ニ關スル建議案

提出者

服部 崎市君

田村 秀吉君 一松 定吉君

濱野徹太郎君 岡本實太郎君

手代木隆吉君 野田文一郎君

牧山 耕藏君 村松 久義君

今成留之助君 作田高太郎君

山道 襄一君 松井 郡治君

自治功勞章制定ニ關スル建議案

提出者

田子 一民君 倉元 要一君

我カ國號ノ稱呼統一ニ關スル建議案

提出者

田子 一民君 倉元 要一君

中央卸賣市場法改正ニ關スル建議案

提出者

東條 貞君 鶴 物市君

手代木隆吉君 片岡 恒一君

今井 新造君

(以上三月四日提出)

一 昨四日近衛内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

外務事務官 山形 清

第七十三回帝國議會外務省所管事務政府委員被仰付

一 昨四日常任委員補選ノ結果左ノ如シ

第一部選出

決算委員 國光 五郎君(西方利馬君 補關)

一 昨四日委員長及理事五選ノ結果左ノ如シ

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)委員

委員長 津原 武君

理事

寺島 權藏君 高橋 義次君
大内竹之助君 行吉 角治君
北 勝太郎君

日滿司法事務共助法案(政府提出、貴族院送付)外三件委員

委員長 松永 東君

理事 內藤 正剛君 原 玉重君
田中 亮一君 小林 絹治君

一昨四日特別委員理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

農地調整法案(政府提出)委員

理事 北 勝太郎君(理事高岡大輔君去三日委員辭任ニ付其ノ補

臨時租稅增徴法中改正法律案(政府提出)外七件委員

理事 玉野 知義君(理事野中徹也君昨四日委員辭任ニ付其ノ補

社會事業法案(政府提出)外二件委員

理事 長野 高一君(理事古田喜三太君昨四日委員辭任ニ付其ノ補

關

一去三日ニ於ケル特別委員理事補關選舉ノ結果左ノ如シ

重要礦物増産法案(政府提出)外一件委員

理事 長野 長廣君(理事高橋壽太郎君去三日委員辭任ニ付其ノ補

關

一昨四日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

陸上交通事業調整法案(政府提出)委員

本田彌市郎君 清水徳太郎君
堤 康次郎君 中井川 浩君

松永 東君 堀内 良平君
坂下仙一郎君 愛野時一郎君

長野 高一君 山田 清君
星島 二郎君 紅露 昭君

佐藤洋之助君 小平 重吉君
小笠原八十美君 深澤豊太郎君

匹田 銳吉君 上田 孝吉君
田中 好君 増永 元也君

井阪 豊光君 安藤 孝三君
安倍 寛君 淺沼稻次郎君

永江 一夫君 道家齊一郎君
杉浦 武雄君

一昨四日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

農地調整法案(政府提出)委員
辭任熊谷五右衛門君 補關伊豆 富人君

辭任前川 正一君 補關三宅 正一君
不動產融資及損失補償法中改正法律案

(政府提出)外四件委員
辭任河合 義一君 補關野濤 勝君

臨時租稅增徴法中改正法律案(政府提出)外七件委員

辭任野中 徹也君 補關玉野 知義君
辭任中島彌國次君 補關中村 梅吉君

重要礦物増産法案(政府提出)外一件委員
辭任玉野 知義君 補關野中 徹也君

辭任野田文一郎君 補關山田 清君

昭和十二年法律第九十二號中改正法律案(輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付)委員
辭任安倍 寛君 補關坂本宗太郎君

社會事業法案(政府提出)外二件委員
辭任古田喜三太君 補關森下 國雄君

辭任高島龜太郎君 補關瀧澤 七郎君

議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第四乃至第八ノ五案ヲ繰上ゲ一括上程シ、其審議ヲ進メ

議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、

日程第四、不動產融資及損失補償法中改正法律案、日程第五、産業組合中央金庫法中改正法律案、日程第六、漁業法中改正法律案、日程第七、産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案、日程第八、産業組合自治監査法案、右五案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求

メマス——委員長青山憲三君

第四 不動產融資及損失補償法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 産業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 漁業法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 産業組合自治監査法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一 不動產融資及損失補償法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十三年三月四日 委員長 青山 憲三

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一 産業組合中央金庫法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十三年三月四日 委員長 青山 憲三

衆議院議長小山松壽殿

附帶決議

一 政府ハ今回ノ産業組合中央金庫法及漁業法ノ改正ニ伴ヒ漁村ノ實情ニ即シ漁村金融ノ圓滑ヲ圖ル爲十分ナル努力

ヲ拂フト共ニ産業組合中央金庫ニ對シテモ特別ノ督勵ヲ加ヘラレ度キコト

報告書

一 漁業法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十三年三月四日

委員長 青山 憲三

衆議院議長小山松壽殿

附帶決議

一 政府ハ漁村經濟ニ關スル根本的調査ヲ行フト共ニ沿岸漁業ノ調整及培養ニ力ヲ用ヒ更ニ海洋漁業ノ發展ニ付テモ十分ナル調査研究ヲ行ヒ漁村振興並ニ水産業ノ發展ニ關シ諸般ノ積極的施設ヲ行フト

二 燃料礦油市價ノ暴騰ハ水産業ノ前途ニ一大脅威ヲ與ヘ漁村經濟ヲ破壊スルノ虞アリ政府ハ從來ノ礦油關稅免除廢止ノ對策ノ外ニ更ニ積極的ノ漁業用燃油對策ヲ樹立實行スヘキコト

報告書

一 産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十三年三月四日

委員長 青山 憲三

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一 産業組合自治監査法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十三年三月四日

委員長 青山 憲三

衆議院議長小山松壽殿

(青山憲三君發言)

○青山憲三君 本委員會ニ付託ニナリマシタ不動産融資及損失補償法中改正法律案外四件ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス

本委員會ハ去ル二月二十八日以來前後四回ニ互リ熱心ニ審議ヲ重ネマシタ、先ヅ劈頭ニ政府ヨリ提案ノ説明ガアリマシタ、最モ簡單ニ此要旨ヲ申上ゲマスレバ、産業組合中央金庫法及ビ漁業法ノ改正ハ、漁業協同組合又ハ漁業組合聯合會ヲシテ産業組合中央金庫ニ加入セシメ、之ニ伴ヒ産業組合中央金庫ノ資本ヲ五百万圓増加スルノ外、産業組合中央金庫ノ業務ノ狀況ヲ見マシテ、現行法上種々不便ナ點ガアリマスルノデ、是等ニ付キ必要ナル改正ヲ加ヘ、又政府ノ出資ニ對シマシテハ、從來設立當時ヨリ十五箇年間ヲ限リテ、剩餘金ノ配當ヲ爲スコトヲ要セザルコトトナツテ居リマシタガ、其期間ガ本年滿了致シマスルノデ、中央金庫ノ實情、及ビ漁業協同組合、漁業組合聯合會ガ新ニ加入スルコト等ノ事情ニ鑑ミマシテ、今後ノ配當ニ關シ、配當率年四分以下ノ場合ハ、政府出資ニ對シテ配當ヲ

爲スコトヲ要セザルコトトシ、四分ヲ超ユル場合ニ於テハ、一定ノ限度内ニ於テ政府出資ニ對スル配當ヲ爲スコトトシタノデゴザイマス、漁業協同組合ト漁業組合聯合會トヲシテ、組合員又ハ所屬ノ組合、若クハ聯合會ノ貯金ノ受入ニ關スル施設ヲ行ハシメ、且ツ漁業組合聯合會ニ所屬ノ組合又ハ聯合會ニ對スル資金ノ貸付ニ對スル補償並ニ手形割引ヲ行ハシメルコトトシ、以テ漁村金融改善ヲ圖ルコトトシタノデゴザイマス

不動産融資及損失補償法、並ニ産業組合中央金庫特別融通及損失補償法ノ改正法律案ハ、現下ノ不動産金融並ニ産業組合金融ノ情勢ニ鑑ミテ、其融通期間及ビ期限ヲ更ニ三箇年間延長スルコトナノデゴザイマス

産業組合自治監査法案ニ付キマシテハ、産業組合ヲシテ健全ナル發達ヲ爲サシメル爲メ、是ガ指導監督ヲ周到ニスルト共ニ、是ト並ニ産業組合自身ノ自治的監査ノ履行ヲ期スル爲メ、産業組合監査聯合會ナル法人ヲ組織セシメ、之ニ産業組合監査員ヲ設置シ、此監査員ニハ組合ノ事務所等ニ臨ンデ諸般ノ調査ヲ爲シ、監査ヲ行フ權能ヲ賦與スルコトトシ、行政官廳ハ之ニ對シテ十分ナル監督ヲ行ヒ、以テ産業組合ノ健全ナル發達ヲ期セントスル趣旨ナノデゴザイマス

次ニ委員會ニ於ケル質疑及ビ之ニ對スル政府ノ答辯ノ要旨ヲ申上ゲマスレバ、第一

ニ今回ノ改正ノ如ク、漁業協同組合及ビ漁業組合聯合會ガ産業組合中央金庫ニ加入スルコトニ依ツテ、同金庫ノ資本金ヲ單ニ五百万圓増加スルコトノミデ、果シテ漁村金融ノ圓滑ヲ期スルコトガ出來ルカドウカト云フ質疑ガアツタノデゴザイマス、政府ハ之ニ對シマシテ、五百万圓ノ出資増加ニ依ツテ五千万圓ノ債券發行力ヲ増加スルコトガ出來、且ツ産業組合中央金庫ノ自己資金モ、相當程度融通シ得ルコトニ依ツテ、政府ノ督勵ト相俟ツテ漁業金融ノ圓滑ヲ期スルコトモ困難デハナイト云フ、政府ノ答辯ガアツタノデゴザイマス

第二ニハ漁村ニ於ケル産業組合ノ活動狀況ハドウカ、是等ノ産業組合ト漁業協同組合トノ關係ハ、將來ドウ云フコトニナルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府ハ産業組合ハ從來漁村ニ於テモ相當活動シテ、其成績ヲ擧ゲテ居ルノデアル、所デ今回漁業協同組合ガ貯金受入ヲ爲シ得ルコトトナツタト同時ニ、此際ニ於テ或ハ産業組合ノ事業ヲ漁業協同組合ニ移スコトモ出來、又從來通リ産業組合ハ産業組合ノ活動ニ任セテモ可ナリデアル、ソレ等ハソレノ地方ノ事情ニ即シテ、雙方連絡協調ヲ圖ツテ、漁村ノ振興ヲ圖ルヤウニ指導シタナラバ宜カラウト云フ答辯ガアツタノデゴザイマス

第三ニハ政府ハ漁村金融ノ改善ヲ圖ルト共ニ、漁村經濟ニ關スル根本的調査ヲ行ヒ、漁村ノ振興並ニ水産業ノ發展ニ付キ格段ノ努力ヲ拂フ必要ガアルガ、之ニ對スル

政府ノ考ハドウカト云フ質疑ガアリマシタ、之ニ對シ政府ハ、現在ニ於テモ種々努メテ居ルガ、將來ハ此御趣旨ニ從ウテ一層努力スルト云フコトヲ答辯シテ居ルノデアリマス

第四ニ漁村經營上必要缺クベカラザル漁業用ノ燃油、漁網用ノ綿絲並ニ染料等ニ付テハ、如何ナル對策ヲ講ジテ居ルカ、又將來ドウスル積リカト云フ質疑ガアッタノデゴザイマス、之ニ對シテ政府ハ、漁業用燃油ニ付テハ、從來其消費節約ニ付キ努力ヲ拂ッテ居リマスガ、漁業者ニ必要ナル燃油ニ付テハ、節約ヲ圖ル一面不足ヲ來サナイヤウニシ、將來ノ對策ニ付テモ十分ニ考慮ヲスルト云フコトデゴザイマシタ、尙ホ綿糸及ビ染料ニ付テハ、ソレノ考慮ヲ約シタ次第デゴザイマス

最後ニ産業組合ノ自治監査法案ニ關シマシテハ、自治監査ノ趣旨ニ付テ能ク説明セラレタイト云フ質問ガアッタノデゴザイマスガ、之ニ對シテ政府當局カラ、官廳ノ監査ハ主トシテ一般産業組合監督ノ見地カラ行フノデアツテ、自治監査ハ當該組合ノ立場ニ於テ、或ハ又組合ノ希望ニ依リ行フノデアツテ、兩々相俟ッテ完全ナル監督ヲ行ハントスルモノデアアル、又監査員ハ産業組合ニ理解アル人デアルト共ニ、監査ハ相當専門ノ技能ヲ必要トスルガ故ニ、サウ云フ方面ノ適任者ヲ選ブヤウニシタイ、是等監査員ニ對シテハ、嚴重ナル監督ヲ加ヘテ、監査上萬遺漏ナキヲ期シタイノデアルト云フ返答

ガアッタノデゴザイマス

次デ討論ニ入りマシテ、民政黨ノ喜多壯一郎君カラ原案賛成ノ上、三ツノ附帶決議ヲ附スル動議ガ提出セラレタノデゴザイマス、政友會ノ田代君ガ之ニ賛成シ、之ヲ起立ニ諮ヒマシタ所ガ、滿場一致ヲ以テ之ヲ可決セラレタノデゴザイマス、今其附帶決議ヲ申上ゲマスレバ、産業組合中央金庫法改正ニ對スル附帶決議トシテ

一 政府ハ今回ノ産業組合中央金庫法及漁業法ノ改正ニ伴ヒ漁村ノ實情ニ即シ漁村金融ノ圓滑ヲ圖ル爲十分ナル努力ヲ拂フト共ニ産業組合中央金庫ニ對シテモ特別ノ督勵ヲ加ヘラレ度キコト
漁業法改正ニ附セラレタル希望決議ハ

一 政府ハ漁村經濟ニ關スル根本的ノ調査ヲ行フト共ニ沿岸漁業ノ調整及培養ニ力ヲ用ヒ更ニ海洋漁業ノ發展ニ付テモ十分ナル調査研究ヲ行ヒ漁村振興並ニ水産業ノ發展ニ關シ諸般ノ積極的ノ施設ヲ行フト

二 燃料礦油市價ノ暴騰ハ水産業ノ前途ニ一重大脅威ヲ與ヘ漁村經濟ヲ破壊スルノ虞アリ政府ハ從來ノ礦油關稅免除廢止ノ對策ノ外ニ更ニ積極的ノ漁業用燃料對策ヲ樹立實行スヘキコト

此二ツノ附帶決議ガ附セラレタノデゴザイマス、以上ガ委員會ノ經過ヲ概要デゴザイマシテ、詳細ナルコトハ速記録ニ依ッテ御覽ヲ願ヒタウデゴザイマス、ドウゾ滿場ノ御贊成ヲ御願致ス次第デゴザイマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 五案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ五案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○服部崎市君 直チニ五案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ五案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

不動産融資及損失補償法中改正法律案
第二讀會(確定議)
産業組合中央金庫法中改正法律案
第二讀會(確定議)

漁業法中改正法律案 第二讀會(確定議)
産業組合中央金庫特別融通及損失補償法中改正法律案 第二讀會(確定議)
産業組合自治監査法案 第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、五案トモ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)——日程第一、職業紹介法改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス——厚生大臣木戸幸一君

第一 職業紹介法改正法律案(政府提出) 第一讀會
職業紹介法

第一條 政府ハ勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ル爲本法ニ依リ職業紹介事業ヲ管掌ス

第二條 何人ト雖モ職業紹介事業ヲ行フコトヲ得ズ

第三條 政府ハ職業紹介事業ニ併セテ職業指導及必要ニ應ジ職業輔導其ノ他職業紹介ニ關スル事項ヲ行フモノトス
前項ノ規定ニ依ル職業紹介及職業指導ハ之ヲ無料トス

第四條 政府ハ前條ニ規定スル事業ヲ行フ爲職業紹介所ヲ設置ス
職業紹介所ノ業務ヲ補助セシムル爲職業紹介所ニ聯絡委員ヲ置ク
職業紹介所及聯絡委員ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 市町村長(勅令ヲ以テ指定スル市ニ在リテハ區長)ハ命令ノ定ムル所ニ依リ職業紹介所ノ業務ノ一部ヲ行フ

第六條 第三條ニ規定スル事業ニ關シ職業紹介委員會ヲ置ク
職業紹介委員會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條 職業紹介所及聯絡委員ニ關スル費用ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ道府縣ヲシテ其ノ一部ヲ負擔セシムルモノトス

地方長官必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依リ道府縣ノ負擔スル費用ノ一部ヲ市町村ヲシテ負擔セシムルコトヲ得

第八條 勞務供給事業ヲ行ハントスル者又ハ勞務者ヲ雇傭スル爲メ勞務者ノ募集ヲ行ハントスル者ニシテ命令ノ定ムルモノハ地方長官(東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監トス)ノ許可ヲ受クベシ

第九條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
一 第二條ノ規定ニ違反シ有料又ハ營利ヲ目的トスル職業紹介事業ヲ行ヒタル者
二 第八條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケズシテ有料又ハ營利ヲ目的トスル勞務供給事業ヲ行ヒタル者

第十條 第八條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケズシテ勞務者ノ募集ヲ行ヒタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留ニ處ス

第十一條 法人又ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十二條 本法ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニシテ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條 前二條ノ場合ニ於テハ懲役又ハ拘留ノ刑ニ處スルコトヲ得ズ
第十四條 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準ズベキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準ズベキモノニ之ヲ適用ス

第十五條 第二條ノ規定ハ主務大臣ノ指定スル職業ノ職業紹介事業ニハ之ヲ適用セズ
前項ノ職業紹介事業ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條 本法ハ船員職業紹介事業ニハ之ヲ適用セズ
附則
第十七條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 從前ノ規定ニ依リ設置シタル職業紹介所ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ職業紹介委員會ニ關スル規定ヲ除キ仍從前ノ例ニ依ル
第十九條 地方長官ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前條ノ職業紹介所ノ廢止ヲ命ズルコトヲ得

第二十條 本法施行ノ際現ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケ職業紹介所ヲ設置スル者ハ

命令ノ定ムル所ニ依リ當分ノ内無料ノ職業紹介事業ヲ行フコトヲ得
第二十一條 本法施行ノ際現ニ行政官廳ノ許可ヲ受ケ有料又ハ營利ヲ目的トスル職業紹介事業ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ引續キ其ノ事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ職業紹介事業ノ施設ヲ相續ニ因リ承繼シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ地方長官(東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監トス)ノ許可ヲ受ケ其ノ事業ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相續開始ノ日ヨリ一月以内ニ許可ヲ申請スベシ

前項ノ者ハ前項申請ニ對スル許可又ハ不許可ノ處分アル迄其ノ事業ヲ行フコトヲ得
第二十二條 本法施行ノ際現ニ第八條ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ勞務供給事業又ハ勞務者ノ募集ヲ行フ者ハ本法施行後二月以内ニ地方長官(東京府ニ在リテハ東京府知事及警視總監トス)ニ許可ヲ申請スベシ

前項ノ者ハ前項ノ申請ニ對スル許可又ハ不許可ノ處分アル迄其ノ事業又ハ募集ヲ行フコトヲ得

○國務大臣(侯爵木戶幸一君) 只今議題トナリマシタ職業紹介法改正法律案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ御説明致シマス
我國現下ノ情勢ニ觀マサルニ、國家ノ遂

行スル諸政策ニ順應セシムル爲メ、勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ルコトガ、極メテ緊要デアルト考ヘルノデアリマス、今次事變下ニ於ケル當面ノ問題ト致シマシテハ、一方ニ於テ軍需勞務ノ充足ヲ敏速的確ナラシムルト共ニ、他方ニ於テハ事變ニ伴フテ生ズル職業轉換等ヲ圓滑ナラシメ、克ク長期對戰ニ堪ヘ得ルノ措置ガ必要デアリマスノミナラズ、歸還又ハ傷痍軍人等ノ職業斡旋ニ付テモ、其萬全ヲ期スルノ用意ガナケレバナリマセヌ、又今後ノ問題ト致シマシテハ、生産力ノ擴充計畫遂行ノ爲ニモ、所要ノ勞働力ヲ適當ニ供給スルノ要ガアリ、更ニ事變後ニ於テモ勞務ノ調整ニ付テ十分ノ配慮ガ必要デアルト考ヘラル、ノデアリマス、

而シテ是ガ爲ニハ職業紹介機關ヲシテ、其機能ヲ十分發揮セシメマシテ、國家ノ行ハントスル諸政策ニ順應シツ、一方ニ於テハ國民各人ノ資質ト事情等ヲ稽ヘ、成ベク其適職ニ就カシムルト共ニ、之ヲ需ムル側ニ對シテハ、成ベク適材ヲ圓滑ニ供給シ、以テ是ガ配置ノ適正ト需給ノ圓滑トヲ圖ルヤウ、之ヲ運用スルコトガ最モ肝要デアルト

信ズルノデアリマス、併ナガラ職業紹介機關ヲシテ、斯ノ如キ機能ヲ十分ニ發揮セシメマス爲ニハ、其紹介網ヲ全國的ニ分布シ、且ツ其内容ヲ充實スルト共ニ、是ガ連絡統制ノ組織ヲ強化シ、眞ニ全國ノ機關ヲ打ツテ一丸トシ、統一アル活動ヲ爲シ得ルヤウ、之ヲ整備擴充スルコトガ必要デアリマス、

然ルニ現在ノ公益職業紹介制度ハ、大正十

年ニ是ガ制定ヲ見タノデアリマシテ、其當時ニ於キマシテハ、職業紹介事業ハ主トシテ失業者ニ對スル救済ト云フ立場ニ於テ、是等ノ職業斡旋ヲ爲スト云フ程度デアッタノデアリマス、其後公益職業紹介事業モ一段ト發展シテ參リマシテ、今日ニ於キマシテハ、唯單ナル救済的機關タルニ止マラズ、國防、産業其他各方面ノ勞務需要ニ對シテ、其勞務者ヲ斡旋スルヤウニ相成リマシテ、所謂勞務ノ需給調整機關タルノ地歩ヲ築キツ、アルノデアリマスガ、現在ノ制度ニ於キマシテハ、其經營ヲ市町村等ノ地方公共團體ニ委ネテ居ル關係上、其普及ノ點ニ於テ、其活動力ノ點ニ於テ、將又其連絡統制ノ點ニ於テ、種々缺陷不便ガアリ、本事業ノ機能ヲ十分ニ發揮シ得ナイ實情ニアリマシテ、斯ノ如キ制度ヲ以テ致シマシテハ、到底現下ノ要求ニ即應スルコトガ出來ナイト考ヘルノデアリマス、政府ニ於キマシテハ、以上申上デマシタヤウナ時勢ノ要求ト、職業紹介制度ノ缺陷トニ鑑ミマシテ、現行ノ職業紹介制度ヲ改メ、職業紹介事業ヲ政府自ラ管掌シ、是ガ機關ヲ整備擴充シ、以テ現下並ニ將來ノ時局ニ對處セント致シマシテ、茲ニ本改正法律案ヲ提出スルニ至リタ次第デアリマス

和十三年度追加豫算案ニ計上シ、御協賛ヲ願フ豫定トナツテ居リマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——村瀨武男君
(村瀨武男君登壇)

○村瀨武男君 只今上程サレマシタ職業紹介法改正法律案ニ付キマシテ、私ハ簡單ニ而モ要領ダケヲ若干質問ラシテ見タイト思フノデアリマス、本法案ハ只今厚生大臣カラモ御話ガアリマシタ如ク、勞務ノ圓滑ナル調整ヲ圖ラウト云フ趣旨ニ外ナラスノデアリマス、之ニ對シマシテ私共モ贊意ヲ表シマスルガ、併ナガラ從來アリマシタ所ノ公設紹介所、或ハ私設紹介所、是等ノモノト對比致シマシテ、又今後國營トシテ之ヲ行ヒマスル上ニ於テ、果シテ所期ノ目的ヲ遂行シ得ルカドウカト云フコトニ付キマシテ伺ッテ見タイト思フノデアリマス

先ヅ第一ニ之ニ當リマスル人ハ、國營トナリマスル以上ハ即チ官吏デアリマスガ、兎角今日マデノ事績ヲ見マスルノニ、民間ノ事業ヲ取上ゲマシテ、國營ニ委譲致シマシタ曉ニ於キマシテハ、決シテ其能率ヲ増進シテ居ラスノデアリマス、寧ロ減退ノ事實ヲ示シテ居ルコトハ、是亦政府ニ於カレマシテモ御承知ノコトデナイカト思フノデアリマス、殊ニ此職業紹介所ノ如キハ、一々人ニ當リマスル關係上、從來ノ官吏ノ頭ノ持主デアアル、即チ融通ノ利カナイ人ガ其衝ニ當リマシテ、果シテ其效果ヲ收メルコト

本改正法律案ニ於キマシテハ、職業紹介事業ノ政府管掌ニ關スル事項ヲ規定致シマシタ外、民間ニ於ケル職業紹介事業、並ニ是ガ類似事業等ニ付テ若干ノ規制ヲ加ヘル規定ヲモ設ケタノデアリマス、尙ホ本改正法律案實施ニ要スル經費ニ關シマシテハ、昭

ガ出來ルカドウカ、是ガ第一疑ヲ插ム理由デアリマス

次ニ伺ヒタイト思ヒマスルコトハ、是マデモ公設、私設ノ職業紹介所ニ從事致シテ居リマスル方々ガ、非常ニ熱心ニ、而モ公平ニ扱ッテヤラウト云フ氣持ハ、十分ニハツキリシテ居リマスルケレドモ、動モ致シマスルト云フト、産業資本家ノ爲ニ便宜ヲ圖ッテ、求職者ノ爲ニハ満足ノ行カナイヤウナ取扱ラシタ事實モ亦少クナイノデアリマス、斯ウ云フ點ニ付キマシテハ、恐ラク今申上ゲマシタ如キ堅イ頭ノ持主ノ官吏ガ之ニ當ルト致シマシタナラバ、今日以上ノ弊害ハ免レルコトガ出來ナイノデハナイカ、之ニ對シマシテ政府ノ所見ヲ承リタイト共ニ、今回ノ職業紹介所ニ任命致シマスル所ノ官吏、是ハ從來ノ文官任用令ナンカニ拘泥シナイデ、眞ニ人物本位ニ依ッテ、是ナラバ此職ニ當ッテ差支ノナイ人間デアルト云フコトヲ、選定致シマスル上ニ、特別ノ方法ヲ御考ニナツテ居ラレルカドウカ、此點ヲ承ッテ見タイト思フノデアリマス

次ニ本法案ノ實施ニ當リマシテ、其費用ノ一部ヲ道府縣若クハ市町村ニ負擔セシメルヤウニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此事業ハ只今御説ノ如ク、眞ニ國家ヲ一丸ト致シマシタ勞資ノ協調ヲ保タントスル爲ノモノデアアルナラバ、全部國庫ニ於テ負擔スベキモノデハナイカ、貧弱ナ町村ニ無理ニ之ヲ負擔セシムル必要ハナイデハナイカ(ヒヤヒヤ)之ニ對シマシテ一ツ御意見ヲ承ッテ見タイト思フノデアリマス

ソレカラ只今モ御話ガアリマシタガ、マダ豫算ガ提出致シテアリマセヌカラ、之ヲ伺フコトハドウカト思ヒマスケレドモ、中央地方ノ連絡統制、斯ウ云フ機關ノ整備ニ對シマシテハ、何レ豫算ヲ提出スルト云フダケノ御話デハ、承服ガ致シ難イノデアリマスガ、之ニ對シマスル大體ノ御意見ヲ承ッテ見タイト思フ、聞ク所ニ依リマス、現在全國ニ七百三十ノ職業紹介所ガアルサウデアリマスガ、是ガ國營トナツタ曉ニ於キマシテ、是ハ事實カドウカ知リマセヌガ、私ノ仄聞致シマシタ所ニ依リマス、殆下半數ニ減スト云フヤウナ御意見デアラシク聞及ンデ居ルノデアリマスガ、折角今日マデ地方ノ人々ガ、其地方々々ニ依ッテ便利ヲ得テ居ルニモ拘リマセズ、之ヲ半減致シマスルト云フコトニ於テノ不便ガ、甚ダ少クナイト思フノデアリマス、之ニ對シマスル御意見ヲ承リマス、尙又民營事業ト致シマシテ、從來全國ニ行ッテ居リマスル所ノ簡所ハ、二千二百ニ餘ル多數ノ職業紹介所ヲ持ッテ居ルノデアリマス、法文ニ依リマス、民營ノ如キモノハ繼續シテヤルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマスケレドモ、實際問題ト致シマシテ、自然消滅ノ途ヲ辿ルヨリ外ニ方法ハナイノデアリマス、之ヲ全國ニ行ヒマスル曉ニハ、如何ニ存続ヲ認メマシテモ、實際ノ價值トシテ存続ノ値打ガナイ、自然消滅スルヨリ外ニナイノデアリマス、折角認メマス以上ハ、國營ト民營ト其處ニ何カノ區別ヲ立テマシテ、存続シ得ル方法ヲ考ヘテヤル必要ハナイノデ

アリマスカ、之ニ對スル當局ノ御意思ヲ承テ見タイト思ヒマス

ソレカラ是ハ杞憂カモ存ジマセヌガ、職業紹介法ノ第一條ニ勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ル爲トアリマシガ、將來ニ於キマシテ政府ハ勞働統制ノヤウナモノヲ施行シヨウト云フ御考ガアルカドウカ、ソレカラ只今モ御話ガアツクデアリマシガ、出征兵士ノ復員、或ハ傷痍軍人ノ就職、是等ニ付キマシテ、今日マデモ政府ハ屢、十分ニ斡旋ノ勞ヲ執ルト云フ御話ハ聞イテ居ルデアリマス、又現在モ是等ニ對シテ相當留意サレテ居ルヤウナ御意見ヲ承テ、タノデアリマシガ、併シ既ニハヤ傷痍軍人ノ中デ求職ヲ頼ンデ出テ居ル人モ相當アルヤウデアリマス、唯口デ斡旋ヲスルトカ、或ハ適當ニ配慮スルト言フダケデハ、私共ハ贊成出來ナイノデアリマス、要スルニ現在既ニサウ云フ者ガアリト致シマスレバ、是等ニ對シテ政府ハ、今果シテ何ヲ爲サレテ居ルカヲ承テ置キタイノデアリマス

職業紹介法ニ依ッテ、入營者ノ前職者ハ退營ト同時ニ再ビ採用サレコトニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是モ此法ノ内容ヲ見マスト、五十人以上ノ勞務者ノ居ル所ニ限ッテ居ルヤウデアリマス、所ガ五十人以上ト云フコトニナリマスト、殆ド都會地デナケレバ見ルコトガ出來ヌノデアリマス、之ヲ五十人以下デモ、或ハ又前職者デナイ退營者ニ對シマシテモ、其就職ヲ斡旋スルト云フ風ニ法律ヲ改正ナサル意思ガアルカドウカ、若シ改正スルコトハ出來ナイガ、斯

様ナ方法ガアルト云フコトデアリマスレバ、ソレヲ承テ置キタイノデアリマス、私ノ質問ハ以上デアリマスガ、之ニ對スル御答辯ヲ煩シタイト思フノデアリマス(拍手)

(國務大臣侯爵木戸幸一君登壇)

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 村瀬サンノ御質問ニ御答フ申上ゲマス、第一ノ御尋ハ、今回此職業紹介所ガ國營トナリマスレバ、職員ハ官吏トナル、隨ヒマシテ融通ガ利カズ、一層今日弊害ト認メラレル點ガ助長サレヤシナイカト云フ御尋デアリマシタガ、政府ニ於キマシテモ、此職業紹介所ノ職員ニ付キマシテハ十分ノ注意ヲ拂ヒマシテ、斯ノ如キ弊害ノナイヤウニ取扱フ爲ニ、是ガ任用ニ付キマシテモ、自由ナル任用ヲ致シタイト考ヘテ居リマスルシ、又現在職業紹介所職員トナッテ居リマスル者ハ、出來得ル限り此方面ニ任用スル方針デ考慮致シテ居ル次第デアリマス

ソレカラ第二ノ國營トナル以上ハ、費用ハ國家ガ全部國費ヲ以テ負擔スベキデアアル

デハナイカト云フ御尋デアリマシタガ、其點ハ國營デアリマスルカ一應左様ニ考ヘラ

レマスルガ、從來トモ此點ニ付キマシテ

ハ、地方公共團體ニ於テ相當ノ負擔ヲ致シ

テ居ルノデアリマスルシ、今回之ヲ國營ト

致シマシテモ、又地方ノ需給調整ト云フヤ

ウナ、特殊ナ事業モ行フ次第デアリマスカ

ラ、ソレ等ノ事情ヲ參酌致シマシテ、費用

ノ一部ヲ負擔サセルコトニ致シタノデアリ

マス、而シテ其費用ノ負擔ニ付キマシテハ、

只今御話ノヤウニ貧弱ナル町村等ニ付キマ

シテハ、特ニ其實情ヲ考慮シテ見タイト考ヘテ居リマス

ソレカラ豫算ニ付テノ御尋デアリマシタガ、豫算ハ今日マダ提案スル運ビニ至ッテ居リマセヌ、大體平年六百万圓ノ豫算ヲ使フ積リデ居リマス、而シテ經常費ニ於テ二分ノ一ヅ、國費ト地方費デ負擔ヲ致シマシテ、臨時費ハ大體ニ於キマシテ國費ガ四分ノ三、地方費ガ四分ノ一位ノ割合ニ分ケル積リデ居リマス、ソレカラ現在職業紹介所ハ七百餘箇所アルデアリマスガ、之ヲ國營ニ致シマス

ト、大體四百程度ニ致ス考デ居リマス、御話ノヤウニ斯ク致シマスルト、或ル部分ニ

於テハ非常ニ不便ヲ感ジハシナイカト云フ

御尋デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ、

實ハ七百ノ中ニハ相當形バカリノモノデア

アツタリ、殆ド利用サレナイ部分モアルノデ

アリマシテ、是等ノ實情ハ十分當局ニ於キ

マシテモ調査致シマシテ、一方聯絡委員會

等ノ機能ヲモ活用致シマシテ、圓滑ニ運用

致シタイト考ヘテ居リマス

其次ノ御尋ハ、營利職業紹介事業ガ自然

ニ消滅シヤシナイカト云フコトデアッタ

存ジマスルガ、職業紹介事業ヲ國家ノ一手

デ取扱フト云フコトニ致シマスレバ、自然

其傾向ヲ持ッテ參リマスルガ、併シ特別ノモ

ノニ付テハ、ヤハリ民間ニ委ネナケレバナ

ラスカト考ヘテ居リマス

最後ニ勞働統制ヲ致ス考ハナイノカト云フ

御尋デアリマシタ、此點ニ付キマシテハ、

職業紹介事業ハ勞務ノ適正ナル配置ヲ爲ス

モノデアリマシテ、個人ノ自由意思ヲ制限

スル積リハナイノデアリマス、隨ヒマシテ

所謂眞ノ勞働統制ハ今日ノ所ナル積リハゴ

ザイマセヌ、又歸郷致シマシタ軍人及ビ傷

痍軍人ノ就職保護ニ付キマシテハ、此職業

紹介網ガ完備致シマスレバ、無論此方面ニ

於テ十分ノ活動ヲ致シマスルハ勿論デアリ

マスガ、傷痍軍人及ビ復員致シマシタル軍

人ニ付キマシテハ、其他ノ方法ニ於キマシ

テモ、十分盡力スル積リデ居リマシテ、此方

ハ更ニ豫算其他ヲ要求致シマシテ、傷痍軍

人ノ保護ニ當ラウト考ヘテ居リマス、尙ホ

復員致シマシタ軍人ニ付キマシテハ、本年

度ニ於テモ若干ノ費用ヲ増シマシテ、所謂

失業ヲ致シマセヌヤウニ、主トシテ生業補

助ト云フヤウナ方面ニ向ッテハ、相當ノ盡力

ヲ地方廳ニ於テ致シテ居ル筈デアリマス、

ソレカラ入營者職業保障法ハ、御趣旨ノ點

ハ御同感デアリマスルノデ、目下此法律改

正ヲ致スヤ否ヤニ付テハ、研究致シテ居ル

ヤウナ次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 村瀬君、宜シウゴザ

イマスカ、……世耕弘一君

(世耕弘一君登壇)

○世耕弘一君 私ハ只今上程サレマシタ職

業紹介法ニ付テ、極ク簡單ニ政府ニ質問ヲ

致シタイト思フノデアリマス、先ヅ本案ノ

第一條ニ規定致シテ居リマスル「政府ハ勞務

ノ適正ナル配置ヲ圖ル」ト云フ文句デアリマ

スガ、勞務ノ適正ナル配置ト云フコトヲ、

此文面カラ解釋致シマスルト、即チ勞務ノ

將來ニ於ケル統制デアリマス、ソコデ大ナ

ル疑問ヲ吾々々持ツノデアリマスガ、先ノ

同志モ説明サレテ居リマシタガ、政府ハ將來勞働ノ統制ヲヤル意思ガアルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ツタ、言葉ハ違フカモ知レマセヌガ、此案ノ内容カラ持ッテ參リマスルト、少クトモ勞働管理ノ下心アリト云フコトハ喝破スルコトガ出來ルノデアリマス、此點ニ對シテ私ハ更ニ突ッ込ンダ御説明ヲ仰ギタイ

第一條デモウ一點伺ッテ置キタイコトハ、勞務ノ範圍デアリマス、卑近ナ例カラ申シマスルナラバ僕婢ノ端ニ至ルマデ、政府ハ此適正ナル配置ノ中ニ加ヘヤウトスルノデアリカドウカ、簡單ナ言葉デ申シマスルナラバ、女中ノ口入マデモ政府ガヤルノカト云フコトヲ御尋致シタイノデアリマス、嘗テ露西亞ニ於テ勞務ノ統制ヲヤツタ時ニハ、所謂一般民間ノ家庭ニ雇ハレテ居ル所ノ女中、或ハ「ボーイ」ノ端ニ至ルマデ、政府ノ管理ニ移ツタコトガアルノデアリマス、其結果ハ之ヲ更ニ警察權ニ利用致シマシテ、「スパイ」網ノ根本ヲ之ニ引イタ實例ガアルノデアリマス、私ハサウ云フヤウナ進ンダ所マデ御考ノ上ニヤラレタトハ承知致シテ居リマセヌガ、疑問ノ起ル點ガ茲ニ生ズルノデアリマス、此點ニ付テハツキリシタ御答ガ願ヒタイ、勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ルト云フコトニナリマスルト、勢ヒ勞働管理ト云フ所ニ及バナクチャナラヌ、又同時ニ産業ノ國家管理ト云フ所マデ行カケレバ徹底シナイノデアリマス、此點ニ對シテ政府ノ御所感ヲ伺ッテ置キタイ、更ニモウ一ツ御伺シタイコトハ、先ノ質問者モ述ベテ居ラレ

マシタガ、所謂國營ノ職業紹介所、言葉ヲ換ヘテ申シマスルナラバ、官吏ノ御世話ニナルコトデアリマス、民間ノ通則ト致シマシテ、官吏ノ親切ト云フコトニ付テハ、可ナリノ疑問ガアルノデアリマス、特ニ職業ノ紹介ト云フコトハ、親切ガ先ツ根本デナクチャナラヌ、果シテ此點ニ對シテ如何ナル任用方法ヲ以テ之ニ充テルカト云フコトヲ、ハツキリ御答辯ガ願ヒタイノデアリマス

第二條ニハ更ニ「何人ト雖モ職業紹介事業ヲ行フコトヲ得ズ」ト規定シテ居リマス、此條文ヲ見マシテ、國營ト云フコトガハツキリ申上ゲルコトガ出來ルノデアリマスガ、昭和七年ノ第十六回ノ國際勞働會議ニ於テ、所謂有料ノ職業紹介ト云フコトハ廢止シヨウト云フ案ニ對シマシテ、政府ガ日本ノ全國産業聯合會ニ諮ラセテ、其回答ハ反對ノ決議ガサレタノデアリマス、尙又昭和十年ニ樞密院デ此問題ガ論議サレタ時ニ、時ノ後藤内相ハ斯ウ云フコトヲ言ウテ居ルノデアリマス、我國ニ於テハ既ニ有料職業紹介所次第ニ改善セラレ、其機能ヲ發揮シ居リ、公營無料紹介所ト竝行シテ其業務ニ當ッテ居ル故ニ、特ニ條約ノ御諮詢ヲ奏請スルニ及バナイト云フコトヲ、政府ヲ代表シテ意見ヲ述べラレタニ對シテ、ソレヲ採用サルテ否決ニナツタノデアリマス、僅カ兩三年ノ中ニ國內ノ情勢、政府ノ御考ガ斯ク變化スルト云フコトハ、私ハアリ得ベキコトヂヤナイト思フノデアリマス、此點ニ付テノ實情ヲ御説明願ヒタイノデアリマス

ソレカラ第三條ニ規定シテ居ルコトニ付テ、極ク簡單ニ御尋シテ置キマスガ、「職業指導及必要ニ應ジ職業補導其ノ他職業紹介ニ關シ」ト云フコトニナツテ居リマスガ、此内容ハドウカ、從來地方ノ縣ノ社會課アタリデヤツテ居ル程度ノ職業指導竝ニ補導デアツタナラバ、寧ろ弊害ガアツテ益ナシト私ハ思ッテ居リマス、之ニ對シテ如何ナル方法ヲ御執リニナルノデアアルカ、此點ニ付テ一點御尋致シテ置キタイコトハ、前ノ質問者モ言ウテ居リマシタガ、所謂戰傷者ノ就職ヲドウ解決付ケルカト云フコトデアリマス、私ハ歐洲大戰ノ例カラ見マシテ、歐洲大戰ノ獨逸ノ例ヲ見マスルト、戰傷者約七十万ノ中デ一割、即チ七万ガ不具者デアツタノデアリマス、又英佛米ノ實例カラ見マシテモ、此名譽ノ不具者トナラレタ所ノ人達ノ將來ノ生活ノ保障ト云フコトハ言フ迄モナク、之ヲソレノ適當ナル所ノ立場ニ愉快ニ働カシメルト云フコトハ、今日ノ厚生省ノ重大ナ御取扱ニナル點デアラウト思フノデアリマス、此點ニ付テハ既ニ著手シテ居ラナクチャナラヌ、學者ノ說ニ依リマスルト、歐洲大戰當時ニ於テハ、既ニ入院シテ居ル當時カラ、如何ニシテ之ヲ職ニ就ケルカ、如何ニ再教育ヲスルカト云フコトニ苦心サレテ居ルノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ如何ナル所ノ方策ト御所信ガアルカト云フコトヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

更ニモウ一點ハ、第四條ノ職業紹介所聯絡委員デアリマス、此職業紹介所ノ聯絡委員ト云フコトハ、用ヒ方ニ依ッテハ相當問題ニナル、大體資格ハ如何ナル程度ノ資格ヲ有スルカ、幾人位ノ人ヲ採用セントスルカ、私ノ聞ク所ニ依リマスルト、四百人程度ト云フコトヲ申シテ居リマスガ、果シテ此四百人ヲ以テ今日ノ本法案ノ實施以後ノ活動ヲ圓滿ナラシメルカト云フコトニ付テハ多クノ疑惑ヲ持ツノデアリマス

ソレカラ次ニ御尋致シタイコトハ、第七條ニ規定シテ居リマスル所ノ、職業紹介所及ビ聯絡委員ニ關スル費用ノ一部ヲ、道府縣竝ニ都合ニ依ッテハ市町村ニ負擔セシムルト云フコトデアリマス、先程大臣カラノ御説明デハ、凡ソ六百万圓ト云フコトノ御話ガアツタヤウデアリマス、此六百万圓ノ中デ、二百万圓ヲ地方ニ負擔セシメルト云フヤウニ私ハ承知致シテ居リマスガ、果シテサウカ、苟モ國營職業紹介所デアルトスルナラバ、一部分ヲ地方ニ負擔セシメルト云フコトハ、ソレ自體ガ矛盾デナイカ、殊ニ地方財政ノ困窮ナ今日ニ於テ、斯ノ如キコトハ果シテ妥當ナリヤ否ヤト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、私ハ此點ニ付テ斯ウ云フコトガ言ヘルト思フノデアリマス、從來民間デ職業ヲ取扱ッテ居ルモノガ、昭和十二年度ノ統計ニ依リマスルト五百万デアリマス、公立其他デ取扱ッテ居ルモノガ約八十万デアリマスガ、民間ノ一人ノ取扱ガ頭割リ約三圓デアアル、三圓ト假定致シマスルト、漏レ聞ク所ニ依リマスルト、百五十万ノ人員ヲ處理シヨウト云フ御考ノヤウデアリマスガ、若シサウダトスレバ、民間デ之ヲ取扱ハシメタナラバ、四百五十万圓デ片ガ

付クノデアリマス、政府ハ七百箇所ノ現在ノ數ヲ四百箇所ニ減ラシテ、而モ六百萬圓ノ豫算ヲ持ツト云フコトハ、私ハ時局柄少シ贅澤過ギルト思フデアリマス、若シ之ヲ眞ニ民情ニ即シテヤルトスルナレバ、此費用ノ外ニ更ニ民間ノ從來ノ職業紹介業者ニ補助金、或ハ其他ノ費用ヲ増額セシメテ實ヲ結バシメルコトガ、寧ロ私ハ妥當デナイカト言ヒタイノデアリマス

更ニ御尋致シタイコトハ、第八條ニ勞務供給事業ヲ行ハントスル者、又ハ勞務者ヲ雇傭ヲ爲ス爲ニ募集ヲ行ハントスル者ハ、命令ノ定ムル所ニ依リ云々ト書イテ居リマス、此命令ノ内容ヲ簡單ニ承テ置キタイト思フノデアリマス

長クナリマスルカラ次ハ簡單ニ御尋シテ置キマス、第十五條ニ於キマシテ「主務大臣ノ指定スル職業ノ職業紹介事業ニハ之ヲ適用セズ」ト云フ條項ガアリマス、此職業ノ職業紹介事業ト云フノハ、如何ナル内容ヲ指スノデアルカ、私ノ承知致シテ居ル範圍ニ依リマスルト、是ハ所謂藝酌婦其他ヲ指スノダト思フデアリマス、若シ藝酌婦ノミヲ此中ニ限定シタルナレバ、其理由如何ト云フコトヲ御尋シテ置キタイノデアリマス、藝酌婦其他ノ職業紹介ニハ、可ナリ世間デ非難ガアルノデアリマス、若シ職業紹介所ガ國策上重大問題デアルトスルナレバ、斯ノ如キ事ハ政府自ラヤルノガ寧ロ妥當ナリト私ハ信ズルノデアリマス、然ラザレバ理論ハ一貫シナイノデアリマス、此點ニ付テ如何ナル理由デアアルカト云フ

コトヲ御尋致シタイノデアリマス、若シサウデナイトスルナレバ、私ハ少クトモ此規定ノ中ニ、一般國民ノ家庭ニ使用スル女中竝ニ其他ノ僕婢、或ハ中小商工業者ガ使フ所ノ見習、社會的ニ特ニ弊害ノナイ點、サウ云フヤウナモノヲシテ、此條項ノ中デ例外規定トシテ取扱ハセルト云フナラバ、マダソコニ意味ガ含マレルコトガ出來ルト思フデアリマス、此點ニ付テ政府ノ御所信ヲ伺ヒタイノデアリマス、殊ニ先ノ質問者モ言ウテ居リマシタガ、此規定ハ即チ從來ノ紹介業者壓迫ノ規定ナリト云フコトヲ説明サレテ居リマシタガ、私モ同感デアリマス、今昭和十二年度ノ統計ヲ見マスルト、一般民間デ取扱タモノガ五十万人、其五十万人ノ中ノ所謂藝酌婦ノ取扱數ハ、約一割ノ五万人ト見テ差支ナイノデアリマス、五十万人取扱テ居ッタ業者ガ五十万人ニ職業ガ限定サレタ場合ニ、生活ハ如何ニシテ立テテ行クカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、私ハ特ニ此案ヲ見マシテ、痛感スルコトガアルノデアリマス、大體近來ノ政府ノ立案スル所ノ立法ハ、一般民情ヲ酌マナイ傾向ガアリマス、國民ノ生活狀態ニ對シテ極メテ不親切デアルト私ハ言ヒタイ、此意味ハ取モ直サズ、近來ノ立法ハ下僚或ハ屬僚ガ立案シテ、大臣ガ首判ヲ捺ス結果デヤナイカ

（拍手）斯ウ云フコトガ言ヒタイノデアリマス、寧ロ大臣ガ國策上是ガ必要ナリトシテ下僚ニ命ジテコソ、初メテ私ハ立法ノ精神ガ活キテ來ルト思フデアリマス、斯ノ如キ實例ハ本議會ニハ特ニ甚シイコトヲ遺憾

ニ思フノデアリマス（拍手）斯ウ云フコトヲ此間ノ此議場ニ於テモ吾々ハミス／＼見セ付ケラレタ、其爲ニ却テ大臣ガ説明ガ出來ナクテ、下僚ニ説明ヲサセナクテハナラヌト云フヤウナコトハ、私ノ申上ゲル實例ヲ茲ニ保證スルモノデアルト思フデアリマス、斯ノ如キコトハ今後慎シク貫ヒタイト私ハ思フ、是ハ國民ノ聲デアリマス

更ニモウ一點御尋致シタイコトハ、前ノ質問者モ説明ガアツクヤウニ思ヒマスガ、本法ノ官制ヲ如何ナル組織ニ於テ爲スカ、私ハ寧ロ從來ノヤウナヤリ方ヲセズニ、是ハ外局トシマシテ、主要都市ニハ事務局ヲ置イテ、更ニ各地方ノ自治體ト連絡ヲ圖ツテ、以テ圓滿ニ活用スル、一方從來ノ營業者ニハ能ク政府ノ意ヲ體シテ、十二分ニ社會機關トシテ活躍セシムルヤウニ、便益ヲ與ヘルト云フコトヲ骨子ニシテ置イテ貫ヒタイト云フコトヲ希望シマス

更ニ本法ト勞働團體トノ關係ヲ將來ドウ調和シテ行クカ、加盟權ヲドウスルカト云フ問題デアリマス、更ニ景氣ノ好イ時ハ宜イガ、失業群ガ襲來シテ來タ場合ニ、此組織ヲ以テ十分喰ヒ止メラレルカドウカ、此點ニ付テ政府ハ如何ナル對策抱負ヲ持ッテ居ルカ（失業保險ヲ拵ヘマス）ト呼フ者アリマス

更ニ私ハ最後ノ結論ト致シマシテ申上ゲタイコトハ、此際二百數十年ノ歴史ヲ持ッテ居ル所ノ、從來ノ紹介業者ヲ壓迫スルコトナク、之ヲ助長セシムルコトニシ、從來ノ

機關ヲ十分發達セシムルヤウ、寧ロ政府ハ指導監督ノ立前ニ立ツヤウニシナケレバ、失業對策ハ完全ヲ期シ得ルモノデナイト云フコトヲ私ハ斷言シテ置キマス（ヒヤヒヤ）又萬一從來ノ機關ヲ無視スルヤウナ、廢止スルヤウナ結果ニ至レバ、結局一方デ失業者ヲ拵ヘテ、一方デ就職サセルト云フヤウナ、矛盾ナ結果ガ現レルト云フコトハ、此第十八條ノ規定ヲ考ヘテモ十分察知スルコトガ出來ルノデアリマス、以上ノ諸點ニ付キマシテ、政府ノ御所信ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

（國務大臣侯爵木戶幸一君發聲）
○國務大臣（侯爵木戶幸一君） 世耕サンニ御答申上ゲマス、非常ニ澤山ノ項目ガアリマスカラ、或ハ漏レガアルカモ知レマセヌガ、第一ノ御尋ノ點ハ、先程村瀬サンニモ御答申上ゲタコトデアリマスガ、此職業紹介事業ヲ國營ト致シマシタコトハ、御話ノ通り勞務ノ配置ヲ適正ナラシムルト云フコトガ目的デアリマシテ、之ニ依リマシテ勞務ノ需給ヲ圓滑ナラシムルヤウニ致スコトガ其目的デアリマス、而シテ何處マデモ個人ノ自由意思ハ尊重致シマシテ、其上ニ立ッテ之ヲ斡旋指導致シマスル考デアリマスルカラ、今後所謂勞働統制ヲヤル、或ハ勞働管理ヲヤリ、延イテハ産業管理ヲヤルノデア

ルカト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、左様ナ考ハ今日政府トシテハ持ッテ居ラナイノデアリマス
ソレカラ第二ハ、此職業紹介事業ニ於テハ所謂女中デアルトカ、僕婢等ニマデ世話ヲ

燒クノカト云フコトデアリマシタガ、其點ハ現在ノ職業紹介所ニ於テモ是ハ扱フテ居ルノデアリマシテ、其範圍ニ於テ今後トモ扱フ考デ居リマス

ソレカラ第三ハ、職業紹介ノ官吏任用ノ方法ニ付テノ御尋デアリマシタガ、是ハ先程村瀨サンニモ御答致シマシタヤウニ、御話ノ通り此仕事ハ直接所謂民間ノ諸君ト接觸ヲ保テ參リマスルコトデアリマスシ、

最モ親切ニ扱ハナケレバナラス點ニ付テハ、全ク御同感デアアルノデアリマシテ、其意味ニ於キマシテ、現在ノ從事員ハ勿論成ベク之ヲ採用スル考デ居リマスルシ、又其任用ニ付キマシテモ、極メテ自由ナ考ヲ以テ之ニ處シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス

ソレカラ職業ノ指導、補導ト云フコトニ付テノ御尋デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ、現在ハ大都市ノ職業紹介所ニ於テハ、「タイプライター」デアルトカ、又算盤デアルトカ、其他補導シテ居ルヤウデアリマスガ、今日アノ程度デハ不十分デアリマスノデ、今後此機能ガ擴充致シマスレバ、相當ノ仕事ヲ輔導致シテ行ク考デ居リマス

ソレカラ傷痍軍人ノ對策ニ付キマシテノ御尋デアリマシテ、最早段々病院カラ出ルヤウナ人モアルノデ、ソレ等ニ對スル對策ハ至急考ヘテヤラナケレバナラスト云フ御尋デアリマシタガ、全ク御同感デアリマスシ、又厚生省ト致シマシテモ、既ニ二十年度ノ追加豫算トシテ、入院中ニ職業指導ヲ爲ス爲ノ若干ノ經費ヲ要求中デゴザイマ

シテ、可決サレマスレバ、ソレ等ニ付テハ早速著手スル考デ居リマス

ソレカラ聯絡委員ニ付キマシテハ、只今計畫致シテ居リマスノハ、市町村ニ於キマシテ青年團ノ團長デアルトカ、或ハ小學校ノ教員、或ハ方面委員ト云ツクヤウナ人々ヲ、一町村ニ約五人位ノ割デ配置致シマシテ、是等ガ町村長ト共ニ相協力シテ連絡ヲ取ツテ行ク考ニ致シテ居リマス

ソレカラ費用ノ負擔ニ付キマシテハ、大體御話ノヤウナ區分ニナルト存ジマスルガ、之ニ付キマシテハ、先程村瀨サンニ御答致シマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、若干地方團體モ負擔ヲ致スノガ至當ト考ヘテ、斯様ニ致シタ次第デアリマス

ソレカラ從來ノ職業紹介者ヲ壓迫スル結果ニナツテ、今日マデ五十万ノ者ヲ扱フテ居タモノガ、五万ニナルト云フヤウナ御話デアリマシタガ、政府ガ考ヘテ居リマスルノハ、從來ノモノハ許可ニ依リマシテ之ヲ認メテ行クノデアリマシテ、而シテ其認メテ居ル間ニ於キマシテハ、特ニ其扱フモノハ制限致シマセヌノデアリマスルカラ、所謂藝者酌婦ト云フモノニノミ限定サレルノデナク、僕婢、女中其他ノ關係モ扱フコトニナル譯デアリマス、隨ヒマシテ、極端ニ事業ガ衰微致シマシテ、失業ヲ起スト云フヤウナコトハ、成ベク無イヤウニ扱フテ行キタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ不景氣時代ガ到來シタ場合ノ對策ガアルカト云フ御尋デアリマスルガ、不景氣時代ニ於テモ、此職業紹介機關ノ活動

ニ俟ツモノガ少クナイノデアリマスルガ、是ダケデハ直チニ不景氣時代ニ對處スルコトノ困難ナ事態ハ勿論出テ來ルカト考ヘラレマス、其場合ニハ失業者救濟事業ヲ起ストカ、色々ノ點ニ於テ、其時ニ處シテ適當ナル方策ヲ講ジテ行キタイト考ヘテ居リマス

大體以上ノヤウナ點デアッタト存ジマスルガ、尙ホ漏レマシタ點ニ付キマシテ、細カイ點ハ委員會等ニ於キマシテ十分御説明致シタイト考ヘマス

○世耕弘一君 大體大臣ノ御説明デ了承致シマシタ、何レ適當ナ機會ニ又發言ヲスルコトニ致シマス

○議長(小山松壽君) 田中邦治君 (田中邦治君登壇)

○田中邦治君 職業紹介法改正法律案ノ上程ニ當リマシテ、既ニ前質問者ニ依リマシテ、大體私ノ問ハントスル所ハ盡キテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ事重大法案デアリマスルノデ、一面角度ヲ變ヘマシテ、尙又厚生大臣ノ御答辯ニ満足シナイモノモアルノデ、多少重複ノ嫌ハアリマスルガ、極メテ簡單ナガラ二三質問シタイト思フ者デアリマス

第一ニ伺ヒタイトノハ、村瀨議員ノ質問ノ御答辯中、木戸厚生大臣ハ、在來ノ口入業即チ民營職業紹介所ハ、本案ニ依ッテ相當減シツ、行クノハ已ムヲ得ヌモノデアルト思フガ、併ナガラ特別ノモノニ限ッテ民間ニ委ヌル積リデアルト云フ風ナ御答辯デアリマシタガ、其特別ノモノトハ如何ナルモノ

デアリマスルカ、承リタイトノデアリマス、第二ニ伺ヒタイトノハ費用ノ點デアリマス、是モ村瀨議員ノ質問ニ對シテ御答辯ガアリマシタガ、私ハ満足シナイカラ承リタイトデアリマスルガ、此費用負擔ニ關シマシテハ、現在市町村營行ハレテアリマスル公營職業紹介所ハ、言フ迄モナク建築費ノ二分ノ一ハ國庫負擔デアリマシタガ、經營費ハ僅カ六分ノ一ニ過ギナイノデアッタノデアリマス、斯ル少額ノ經費デアッテ、而モ地方費多端ノ折柄デアッテ、此社會制度ノ上ニ最モ必要ナ職業紹介ト云フ事業ガ、十分ニ其機能ヲ發揮出來ナイ憾ガアッタノデアリマス、併ナガラ此職業紹介ト云フ制度カラ行キマシテ、社會的「サービス」ヲ致シマスル關係上、自己ノ市町村區域以外ノ取扱件數ハ二三倍ツ、ニモ何時モ激増サレツ、アルト云フ實情デアッテ、甚ダ不合理千萬デアッタノデアリマス、茲ニ確メテ置キタイトノハ、此費用負擔ノコトデアリマスルガ、本法ニ依リマシテ名ハ國營ト云フコトニナリマスルガ、其内容ノ經費負擔ニ於キマシテハ、相當額地方費ニ轉嫁セシメラレルモノデハナイカト案ズル者デアリマス、政府ハ此法案ニ依リマシテ府縣町村ヘ如何ナル程度ノ費用負擔ヲセシメマスルカ、其内容ヲ承リタイトデアリマス

又是モ既ニ御答辯ニナツテ、稍、我が意ヲ得テ居リマスルガ、第三ニ確メテ置キタイトノハ、在來ノ公營職業紹介所ノ吏員ノ身分ニ付テデアリマス、國營紹介所トナリマスレバ、勿論國ノ官吏ガ其任ニ當ルノデアリマ

シテ、可決サレマスレバ、ソレ等ニ付テハ早速著手スル考デ居リマス

ソレカラ聯絡委員ニ付キマシテハ、只今計畫致シテ居リマスノハ、市町村ニ於キマシテ青年團ノ團長デアルトカ、或ハ小學校ノ教員、或ハ方面委員ト云ツクヤウナ人々ヲ、一町村ニ約五人位ノ割デ配置致シマシテ、是等ガ町村長ト共ニ相協力シテ連絡ヲ取ツテ行ク考ニ致シテ居リマス

ソレカラ費用ノ負擔ニ付キマシテハ、大體御話ノヤウナ區分ニナルト存ジマスルガ、之ニ付キマシテハ、先程村瀨サンニ御答致シマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、若干地方團體モ負擔ヲ致スノガ至當ト考ヘテ、斯様ニ致シタ次第デアリマス

○議長(小山松壽君) 田中邦治君 (田中邦治君登壇)

○田中邦治君 職業紹介法改正法律案ノ上程ニ當リマシテ、既ニ前質問者ニ依リマシテ、大體私ノ問ハントスル所ハ盡キテ居ルノデアリマスルガ、併ナガラ事重大法案デアリマスルノデ、一面角度ヲ變ヘマシテ、尙又厚生大臣ノ御答辯ニ満足シナイモノモアルノデ、多少重複ノ嫌ハアリマスルガ、極メテ簡單ナガラ二三質問シタイト思フ者デアリマス

第一ニ伺ヒタイトノハ、村瀨議員ノ質問ノ御答辯中、木戸厚生大臣ハ、在來ノ口入業即チ民營職業紹介所ハ、本案ニ依ッテ相當減シツ、行クノハ已ムヲ得ヌモノデアルト思フガ、併ナガラ特別ノモノニ限ッテ民間ニ委ヌル積リデアルト云フ風ナ御答辯デアリマシタガ、其特別ノモノトハ如何ナルモノ

デアリマスルカ、承リタイトノデアリマス、第二ニ伺ヒタイトノハ費用ノ點デアリマス、是モ村瀨議員ノ質問ニ對シテ御答辯ガアリマシタガ、私ハ満足シナイカラ承リタイトデアリマスルガ、此費用負擔ニ關シマシテハ、現在市町村營行ハレテアリマスル公營職業紹介所ハ、言フ迄モナク建築費ノ二分ノ一ハ國庫負擔デアリマシタガ、經營費ハ僅カ六分ノ一ニ過ギナイノデアッタノデアリマス、斯ル少額ノ經費デアッテ、而モ地方費多端ノ折柄デアッテ、此社會制度ノ上ニ最モ必要ナ職業紹介ト云フ事業ガ、十分ニ其機能ヲ發揮出來ナイ憾ガアッタノデアリマス、併ナガラ此職業紹介ト云フ制度カラ行キマシテ、社會的「サービス」ヲ致シマスル關係上、自己ノ市町村區域以外ノ取扱件數ハ二三倍ツ、ニモ何時モ激増サレツ、アルト云フ實情デアッテ、甚ダ不合理千萬デアッタノデアリマス、茲ニ確メテ置キタイトノハ、此費用負擔ノコトデアリマスルガ、本法ニ依リマシテ名ハ國營ト云フコトニナリマスルガ、其内容ノ經費負擔ニ於キマシテハ、相當額地方費ニ轉嫁セシメラレルモノデハナイカト案ズル者デアリマス、政府ハ此法案ニ依リマシテ府縣町村ヘ如何ナル程度ノ費用負擔ヲセシメマスルカ、其内容ヲ承リタイトデアリマス

又是モ既ニ御答辯ニナツテ、稍、我が意ヲ得テ居リマスルガ、第三ニ確メテ置キタイトノハ、在來ノ公營職業紹介所ノ吏員ノ身分ニ付テデアリマス、國營紹介所トナリマスレバ、勿論國ノ官吏ガ其任ニ當ルノデアリマ

シテ、可決サレマスレバ、ソレ等ニ付テハ早速著手スル考デ居リマス

ソレカラ聯絡委員ニ付キマシテハ、只今計畫致シテ居リマスノハ、市町村ニ於キマシテ青年團ノ團長デアルトカ、或ハ小學校ノ教員、或ハ方面委員ト云ツクヤウナ人々ヲ、一町村ニ約五人位ノ割デ配置致シマシテ、是等ガ町村長ト共ニ相協力シテ連絡ヲ取ツテ行ク考ニ致シテ居リマス

スルガ、現在多クノ是等就職シテ居リマス
ル吏員ハ其地方々々ニ依ッテ極メテ適任者
ヲ之ニ充テ、アルノデアリマス、併ナガラ
學力其他官吏トシテノ資格ヲ有スル者ガ甚
ダ少イノデアリマス、是ガ國營トナッテ官吏
ト云フ身分ヲ具ヘル時ニ於テ、相當ナル人
員ノ淘汰ヲセラレハセヌカト云ウテ、必ズ
ヤ戦々兢兢タル者ガ、其從業吏員ニアルモ
ノト確信スル者デアリマスルカラ、是ニ於
テ私ハ斯ル際ハ在來ノ吏員其儘是非採用セ
ラレンコトヲ望ム者デアリマスルガ、之ニ
對スル大臣ノ御意見ハ如何デアリマスカ、
承ッテ置キタイノデアリマス

次ニ町村長ニ職業紹介ノ一部ヲ行ハシム
ルト云フコトガアリマスガ、其町村長ニ行
ハシムル一部トハ、如何ナル程度デアリマ
スカ、是モ承ッテ置キマス

序デアリマスルガ、聯絡委員ノコトニ付テ只
今モ御答辯ガアリマシテ、聯絡委員ハ方面委
員若クハ青年團員ト云フヤウナ者ヲ採用シテ、
連絡統制ヲ圖ルト言ハレテ居リマスルガ、方
面委員ニシテ、其他ノ者ヲ使用スルト云フコ
トニナリマス、極メテ少額ナル手當ニ依ッ
テ、是等ノ人ノ活動ヲ望ム者デアリマス、
現在私モ多クノ方面委員ノ活動振リヲ見テ
居リマスガ、方面委員ノ名ガ欲シサニ甘ン
ジテ其職責ニ就キマスガ、實際ニ其役目ヲ
果ス者ハ十分ノ一ノ程度モナイト私ハ認メ
テ居リマス、サウ云フ人ノ手ニ於テ此紹介
機關ノ連絡ヲ旨ク圖ラレマスカドウカト云
フコトヲ案ズル者デアリマス、其聯絡委員
ニ對スル手當ト云フモノハ、全體トノ位豫

算ニ計上セラレル御積リデアリマスカ、是
モ承ッテ置キタイノデアリマス、以上ニ互ッ
テ大臣ノ御答辯ヲ煩ハシタリノデアリマス
(國務大臣侯爵木戸幸一君登壇)

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 田中サンニ
御答申上ゲマス、大體先程來ノ御質問ニ於
テ御答申上ゲマシタ所デ、御諒解ヲ願ヒタ
イト存ズルノデアリマスガ、民營ノ營利又
ハ有料ノ職業紹介事業ハ、今後特別ノモノ
ヲ殘シテ置クト申上ゲマシタノハ、大體藝
妓酌婦等ヲ扱ッテ居ルモノヲ殘シテ居ルノデ
アリマス、而シテ其他ニ於キマシテモ、從
來カラ營業致シテ居リマスモノニ付テハ、
經過的ニ之ヲ認メテ行キマシテ、之ヲ直チニ
禁止シテ行クト云フ趣旨デハナイノデアリ
マス、ソレカラ費用ノ負擔ニ付キマシテハ、
先程申上ゲマシタヤウニ、地方費ノ負擔ハ
大體二百万圓程度デアリマス、而シテ是ハ
全體ノ費用カラ見マス、大體經常費、臨
時費ヲ合セマシテ、其割合ハ三分ノ一程度
デアリマス、詳細ハ委員會ニ於テ十分御説
明致シタイト存ジマス、ソレカラ現在ノ職
業紹介所ニ使ハレテ居リマス職員ニ付キマ
シテモ、先程申上ゲマシタヤウニ、御話ノ
通りニ此仕事ハ必シモ學問デアルトカ云フ
點ガ重點デハナイノデアリマシテ、地方ニ
接觸致シマシテ、熱心ニ親切ニ扱フベキ人
間ヲ採用スル考デアリマスカラ、御話ノヤ
ウナ意味ニ於キマシテ、現在ノ職員ヲ採用
致シマスニ付テハ、十分其特別ノ事情ヲ考
慮スル考デ居リマス、ソレカラ町村長ニ行
ハセマス一部ト云フモノハ、大體ニ於テ地

方ニ於キマシテ求職ノ斡旋ヲ致シマスコト
ガ主デアリマシテ、求職ノ希望ヲ受次ギマ
シタリ、或ハ求人ヲ周知シタリ、身元調査
ヲスルト云フヤウナコトヲ頼ムコトヲ致ス
ノデアリマス、ソレカラ聯絡委員ノ手當ト
云フヤウナコトニ付キマシテハ、尙ホ其他
ニモ細カイトゴザイマスルカラ、何レ
委員會デ十分御説明致シタイト考ヘテ居リ
マス

○田中邦治君 簡單デスカラ此席カラ御許
願ヒマス

○議長(小山松壽君) 宜シウゴザイマス

○田中邦治君 極メテ簡單ナ御答辯デ満足
シマセヌ者デアリマスガ、委員會デト云フ
コトデアリマスカラ、萬一私委員ニナリマ
セヌケレバ、他ノ委員ノ方ニ依ッテ自分ノ質
サント思フコトヲ質シタイト思ヒマスカ
ラ、之ヲ以チマシテ質問ハ打切りマス

○議長(小山松壽君) 瀧澤七郎君

(瀧澤七郎君登壇)

○瀧澤七郎君 我國ノ職業紹介事業ガ單ニ
慈善事業ノ如キ失業救済ヨリ進ミマシテ、
此第一條ニアルガ如ク、勞務ノ適正ナル配
置ヲ圖ル爲ニ、政府ガ此事業ヲ行フコトニ
ナツタト云フコトハ、我國職業紹介事業ニ
一大劃期ヲ來スモノト私ハ信ズルノデアリ
マス、是ハ職業紹介事業ノ發達過程ニ於キ
マスル當然ノコトデアリマセウガ、私思フ
ニ昨春來ノ生産擴充問題、及ビ日支事變ニ
因ッテ一層之ヲ強化シナケレバナラナクナッ
テ、今日提案サレタノデアルト思フノデア
リマス、サウシテ本事業ノ目的デアリマス

勞務ノ適正ナル配置トハ、如何ナルコトデ
アルカト云フコトニ付テハ、只今厚生大臣
ヨリ御話ニナッテ、私モ其説明ニ同感デア
リマスガ、從來ノヤウナ單ニ個人的ノ適材
適所ニ就職斡旋ヲスルト云フコトノミデナ
ク、國家ノ行ハントスル國防、産業、社會
上ノ政策ニ順應シテ、各人ノ資質ニ應ジテ
適當ニ職ヲ與ヘルト云フコトハ、洵ニ結構
ナコトデアルト存ジテ居リマス、是ハ從來
ノ慈善事業ノ如キ失業救済ノ職業紹介事業
ニ比スレバ、本當ニ一歩ヲ進メタモノデア
リ、又今日ノ我が國情ニ於テハ、ドウシテ
モ是デナケレバナラヌト考ヘテ同感ヲ致シ
テ居ル者デアリマス、サウデアリマスルケ
レドモ、如何ニ目的ガ宜クテモ、亦二百万
圓ノ費用ヲ六百万圓ニ致シマシテモ、是ガ
運用ヲ誤リマスルナラバ、制度ノ強化完備
ニ反比例致シマシテ、却テ惡弊ヲ生ズル虞
ガアリマスルガ、之ニ付テ厚生大臣ハ如何
ナル覺悟ヲ持ッテ居ラシヤルカト云フコト
ヲ、先以テ御問スルノデアリマス

更ニ私ハ此六百万圓ノ費用モ、厚生省ニ
於テハ初メ七百万圓トシテ、紹介所ヲ減ラ
サナイト云フ考ヲ持ッテ居ラシヤッタヤウニ
聞イテ居リマスガ、豫算ノ關係上御減シニ
ナツタノデアアルカ、本當ニ七百万圓ノモノガ
六百万圓デ間ニ合フト云フ御考ヲ以テ爲サ
レタノデアアルカ、其點ヲ伺フノデアリマス、
而シテ此事ヲ新聞紙上其他デ見マスルト、
紹介所ノ事業ノ費用ハアルガ、中央ニ於ケ
ル一大機關ガナイ、地方ニ於ケル機關モナ
イ、其費用モナイト云フコトデアリマスガ、

之ヲ以テ十分ニ此事業ヲ遂行スルコトガ出來ルノデアリマスルカ、之ヲ御伺致シマス、此費用ヲ全部國家ノ負擔トスルト云フコトニ付テハ、私モ其意見ノ持主デアリマスルガ、更ニ此際御伺致シテ置キマスルノハ、東京市ノ如キハ日露戰爭後、即チ明治四十四年ノ不況ニ際シテ職業紹介所ヲ設立致シマシタガ、之ニ從事シテ居ル者モ今日ニ至リテハ隨分古イノデアリマス、尙ホ又東京市ノ如キハ紹介所設立ニ當リテ、二分ノ一ノ補助金ヲ受ケテ居リマシテ、其時ノ借金ハ今政府ニ返シツ、アルノデアリマスルガ、此紹介所ヲ國營ニセラレタ場合ニ、此借金ハ其儘政府デ御引取下サルモノデアアルカ如何カト云フコトヲ御伺スルノデアリマス

只今前質問者ハ皆口ヲ揃ヘテ、特別任用ノ途ヲ開イテ、職業紹介ノ運営ヲ圓滑ニセヨト云フコトデ、私モ此點同感デアリマスルガ、更ニ此際雲ノ上人ニ近イ厚生大臣ニ、何故ニ官吏、役人ガ斯ウ云フ仕事ノ世話ヲスルコトニ不適當デアアルカト云フコトヲ、一言申上ゲテ御參考ニ供シタイト思フノデアリマス、我國ノ役人、官僚ト申シマセウカ、是等ハ今日概ネ親ノ財産ニ依ッテ大學ニ入ッテ勉強ラシテ、官吏ノ試験ヲ受ケテ、ソレカラ月給ヲ貰ッテ、段々經上ッテ行ッテ、尙ホ妻ヲ貰フニモ親ノ厄介ニナラナケレバナラナイト云フ者ガ此役人デアリマス、是等ノ役人ハ丁度八階ノ窓カラ屋根ノ上ヲ見テ、社會ヲ見テ居ルノダ、屋根裏ノ事情ヲ知ラズ、所謂基礎工事ナドハ何モ知ラナイ人達ガ、此仕事ヲヤッテ居ルノデアアルカラ、圓滑

ナル紹介事業ナドニハ、最モ適シナイモノデアルト云フコトヲ私ハ申上ゲルノデアリマス、而シテ更ニ今日此機會ニ於テ一言申上ゲマズレバ、只今ノヤウナ人達ハ、本當ニ温室デ作ッタ葡萄ノヤウナモノデ、見タ所ハ宜イガ、嘴ニ締メテ味ガナイ、或ハ人工孵化ノ金魚ノヤウナモノデ、食用ニハナラナイ、是ガ役人ナノダ、是ガ官僚ナノダ(拍手)今日之ヲ眞似シヨウト我國ノ官僚ハ考ヘテ居ルノダガ、例ヘバ黒「シャツ」黨ノ「ムッソリー」ニ致シマシテモ、身ヲ貧家ヨリ起シテ天下ノ宰相トナツタ、指導者「ヒットラー」ニ於キマシテモ、アノ十六歳ニ孤兒トナツテ以來、孤軍奮闘今日ノ地位ヲ得タ、之ヲ我が日本ニ比ベテ見タナラバ、先ヅ太閤秀吉ガ少年ノ頃、一箇年百何十箇所ノ家ニ奉公ラシタト云フコトガ、太閤秀吉ニナツテカラ天下ノ政治ヲ執ル時ニ、其行フ所ガ、今日「ヒットラー」ガ行ヒ、「ムッソリー」ノ行フヤウニ、吾々民衆ノ琴線ニ觸レテ來ルカラ、此人ガ大偉人トナルノデアリマス、之ヲ夢ミテ日本ガ此眞似ラシクナント云フコトガ、金魚ヤ温室ノ果物ニ出來ルモノデハナイト云フコトヲ、先以テ御參考ニ申上ゲテ置キマス、是ガ即チ私共ハ特別任用ニ當リテ、本當ニ心カラ考ヘテ戴キタイト云フコトデアリマス

ソレカラ労働紹介ラスル上ニ於キマシテ、賃銀ノコトニ及ビマスルカラ、其結果工場其他使用人ニ對シテ労働條件ヲ職業紹介所ノ力ヲ以テ變更セシメルヤウナ考ヲ以テ、此職業紹介所法ヲ御作りニナツタカ否ヤト

云フコトヲ伺ッテ置キタイノデアリマス 次ニ政府ニ於キマシテハ職業ノ輔導機關ヲ設ケラレルト云フコトデアリマスルガ、之ニ對シテハドウ云フ方法ヲ以テ爲サイマスカ、本當ニ職業輔導機關ヲ以テ熟練工ヲ養成スルガ如キコトヲ考ヘテ居ラシヤルナラバ、五箇月ヤ六箇月デ熟練工ヲ得ルガ如キハ絕對出來難イコトデアアルガ、職業輔導ノ方針、精神ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレニ關シテ私ガ御參考マデニ申上ゲテ置キマスルコトハ、我國デ古來親方徒弟ノ制度ガ長ク存立シテ居リマシタガ、一朝工場法ヲ施行ニ依リマシテ、此制度ヲ破壊セラレマシタケレドモ、之ニ代ルベキ何等ノ方法ヲ以テセラレナカッタ結果、今日産業擴充ノ上ニ付テ中堅トナル本當ノ熟練工ヲ得ルコトガ困難デアルト云フコトヲ御認メニナリマスルカ、御認メニナリマシタナラバ、此制度ニ對シテドウ云フ考ヲ持ッテ居ラシヤルカト云フコトヲ御伺致スノデアリマス、今日英吉利ニ於キマシテモ、労働者ノ徒弟制度ニハ思フ深ク致シテ、是ハ傳統的ニ、例ヘバ約束ラシテ仕事ヲ見習ニ入ッテ中途ニ出タ者ハ、如何ニ其人ハ技倆ガアリマシテモ、何處ノ工場ヘ行ッテモ職工トシテ働キマセズデ、單ニ賃銀ノ安イ働キ手トシテ使ッテ居リマス、最近亞米利加ニ於キマシテモ、鑄物協會ニ於キマシテハ、四年間ノ制度ヲ以テ徒弟修養ノ機關ヲ作ッテ居ル、是等ニ對シテ職業輔導ノ上カラ見テ、厚生大臣ハドシナ風ノ考ヲ持ッテ居ラシヤルカト云フコトヲ伺ヒマス

更ニ先程傷病兵ノ歸還後ノ教育機關ニ付テノ考ヘ方ヲ、世耕君ヨリ御聽ニナリ、大臣ヨリ御答辯ガアリマシテ、追加豫算デ幾分ノ費用ヲ取ルト云フ御話デアリマスガ、世耕サンノ御話ニモアリマシタケレドモ、戰後獨逸ニ於キマシテハ、命令ヲ以テ百人ノ工場ニ對シテハ癡兵四人ヲ、即チ二十五人ニ對シテ一人ノ癡兵ヲ使フコトヲ強制命令ラシテ使ハセタカラ、其工場ノ門衛ノ如キハ、多クハ片腕ガナイ者ガ之ニ加ハッテ居ッタノデアリマス、又只今ドウ云フ考ヲ以テ追加豫算ヲ御取リニナツテ、指導獎勵セラレルカ知レマセヌケレドモ、戰後獨逸ニ於ケル兩眼ヲ失シタ者百四十四人、「シーメンズ」——我國ニ於テハ特有有名ニナツタ、アノ「シーメンズ」ノ工場ニ於テハ、工場自身ガ之ヲ教育ヲ致シマシテ、全國ノ工場ニ配付致シマシタ、「シーメンズ」工場而モ一人ノ盲人ガ三臺ノ「ボール」盤ヲ使ッテ居ル、之ニ對シテ電車ヲ無賃ニスルトカ、或ハソレニ對シテ尙盲人ノ教育バカリデハアリマセヌ、「セバード」種ノ犬ヲ飼ヒマシテ道案内ラスト云フ位ニ徹底シテ居ル、而モ其費用ハ國庫負擔ニアラズシテ、會社ニ負擔セシメテ、其教育ヲ行ハシメタト云フコトガアル、之ニ對シテ只今豫算ヲ御取リニナルト云フガ、是等ノ教育ニ關シテハ眞ニドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ御伺致スノデアリマス、桂庵、口入業ニ對シテハ、前質問者ノ御意見ニ同感デアリマス

最後ニ先程ノ御質疑者ガ、現在紹介所ニ從事シテ居ル者ヲ國ノ紹介所ニ使フト云フコト、ソレニ對シテ大臣ヨリ御趣旨ヲ諒トスルト云フ御話ガアツテ、必ズ私ハ使ツテ戴クモノナリト信ジテハ居リマスガ、尙ホ當ニ使ツテ貰フダケデハ困ル場合ガアリマス、只今申上ゲマシタ通り、東京市ノ如キハ四十四年カラ此事業ヲ致シテ居リマス、長イ間其職員ヲ居リマス、將ニ恩給年限ニ達セントスル前ニ、若シ此職ヲ失フコトガアリマシタナラバ、單ニ使ツテ貰フト云フバカリデハアリマセズデ、此恩給年限ニ達シヨウト云フ人達ニ對シテモ、相當ノ考ヲ以テ使ツテ戴カナケレバナリマセズガ、是等ニ對スル御考ヲ承リタイト思ヒマス、以上ノ點ニ付キマシテ懇切丁寧ノ御答辯ヲ承リタイノデアリマス(拍手)

(國務大臣侯爵木戸幸一君登壇)

○國務大臣(侯爵木戸幸一君) 瀧澤君ニ御答ヲ致シマス、第一ニ御尋ノ點ハ、此國營ノ案方運用ヲ誤レバ非常ナ惡弊ヲ貽スガ、厚生大臣トシテ如何ナル考ヲ持ツテ居ルカト云フ御尋デアリマシタガ、此點ハ御尤デアリマシテ、此運用ヲ誤リマスナラバ、非常ナ弊害ヲ來スノデアリマス、而シテ此職員ノ活動其他ニ付キマシテ、只今色々官吏ニ付テノ御話モアリマシタガ、ソレ等ノ點ハ十分考慮ヲシテ遺憾ナク運用シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ、現在七百餘箇所アリマスル職業紹介所ヲ四百トシタル理由ハ、豫算ガ少イ爲デアアルカト云フ御尋デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ豫

算ノ爲デハナイノデアリマシテ、從來トモ七百ノ中ニハ、可ナリ地方的ニ既ニ活動ヲ致シテ居ラナイ部分モアリマス、ソレ等ノ點、其他交通機關等ノ關係モアリマスノデ、本案ヲ作成致シマスルニ付テハ相當地方ノ實情等ヲ調査致シマシテ、四百ニ決定致シタ次第ナノデアリマス、ソレカラ中央ノ機關ガナイノデ不十分デハナイカト云フ御尋デアツト存ジマスルガ、此點ハ今後此機能ヲ強化致シマシテ參リマスル場合ニ、當然連絡機關ト致シマシテハ、現在ノ狀況デハ私ハ不十分デアアルカトモ考ヘテ居リマスガ、是ハ將來ノ問題トシテ十分考究致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ市町村ノ職業紹介所ノ建築起債ノ未償還ニ對シテ、國ニ於テ引受ケルカドウカト云フ御尋デアリマスガ、此點ハ既ニ二分ノ一ノ補助ヲ致シテ居リマス關係モアリマシテ、今日トシテハ成

ベク無償提供ヲ希望シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ此職業紹介所ガ國營トナリマスニ付キマシテハ、職業ヲ斡旋致シマスル場合ニ、勞働條件等ヲ變革サセルト云フヤウナコトハナイカト云フ御尋デアリマスガ、左様ナ意味ニ於テハ之ヲ運用致サナイデ、オ五ニ求職者モ求人者モ自由ナル立場ニ於テ、互ノ利益ヲ求メルト云フコトニ重點ヲ置イテ居リマスノデ、職業紹介所ガ自ラ勞働條件ニ付テ註文ヲ付ケル、或ハ之ヲ變革スルト云フヤウナ點ハ考ヘテ居リマセズ、ソレカラ補導機關ノ點デアリマスガ、此點モ先程モ御話致シマシタヤウニ、大都市ノ職業紹介所ニ於テハ、若干極メテ輕微ナモノヲヤツテ居リマス、是

ハ將來漸次擴張致シマシテ、十分ノ補導機能ヲ發揮シタイト思ヒマスルガ、只今直チニ熟練工ノ養成ト云フ所マデ行キ得ナイデアラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ徒弟ノ制度ニ對シマシテノ御考ハ、御尤デアリマシテ、我國モ亦此徒弟ノ保護ノ點ハ、可ナリ閑却サレテ居ルヤウニ考ヘマス、而シテ此點ハ重要ナ事柄デアリマスカラ、今後トモ十分研究致シテ、善處シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ現在ノ職員ハ勿論是ハ大體先程カラ御答申シマシタヤウニ、特別ノ事情ノナイ限りニハ引受ケルノデアリマスガ、尙ホ御話ノ通り既ニ相當ノ年月ヲ經テ居リマシテ、恩給等ノ問題モ或ル一部分ニアルコトハ、承知致シテ居ルノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテハ、折角ソレ等ノ者ニ不利益ヲ與ヘナイヤウニ、十分ニ考究致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ最後ニ

歸還軍人及ビ傷痍軍人ニ對スル方策デアリマスガ、此點ハ今日ノ所デハ、マダ強制雇傭ト云フ問題ニ付テ確ナル方策ヲ持ツテ居リマセズガ、慎重ニ考究致シタイト考ヘテ居リマス、尙ホ先程申シマシタ豫算ノ内容ハ、此病院ニ入ッテ居リマス者ノ職業ノ指導ヲ致ス者ヲ派遣シ、或ハ精神的ニ是等ヲ補導致シマスヤウナ人ヲ充員致シマシテ、是等ノ相談ニ應ジ、又慰安ニ當ラセルト云フコトヲ只今考ヘテ居リマス、尙ホ十三年度ノ豫算ニ於キマシテハ、更ニ傷痍軍人其他ニ付キマシテ、モウ少シ病院ノ設置デアルトカ、或ハ療養所デアルトカト云フヤウナ點ニ付キマシテモ計畫致シテ、目下是ガ

豫算ニ付テハ、提案ノ準備ヲ致シテ居ル狀況デゴザイマス(拍手)

○瀧澤七郎君 簡單デアリマスルカラ此席カラ御許ヲ願ヒマス

○議長(小山松壽君) 宜シウゴザイマス

○瀧澤七郎君 只今厚生大臣ノ御答辯ハ、殆ド全部調査研究ト云フコトデ、マア大臣ニハ今日マデ深イ御研究ガナイヤウニ思ヒマスカラ、此點ハ委員會ニ讓リマスガ、一點此場合ニ申上ゲテ置キマスルコトハ、二分ノ一ノ補助金ヲ受ケタカラ、後ハ無償提供ト云フコトヲ考ヘテ居ルト云フコトデア

○議長(小山松壽君) 川村保太郎君

(川村保太郎君登壇)

○川村保太郎君 職業紹介所ノ國營ノ問題ニ付キマシテハ、私共ノ多年ノ主張デアリマス、隨テ私ハ此問題ニ付テ敢テ異議ヲ唱ヘル譯デハナイノデゴザイマスガ、私共數年來職業紹介所ノ國營ヲ主張シテ參リマシタノハ、主トシテ失業對策ノ爲ニ紹介所ヲ國營ニスベシト云フコトヲ、主張シテ參タノデアリマス、今度ハ紹介所ガ國營ニナルノデ、是ハ結構ナヤウデアリマスケレドモ、今日ハ勞働市場ノ情勢ガ全然一變シテ居ル、失業者ノ爲ノ對策ト云フヨリモ、先程大臣カラモ御説明ガアリマシタヤウニ、寧ロ時局關係ノ生産力擴充ノ爲ニ、所謂勞働力ヲ

充足シヨウト云フ目的ノ爲ニ、今度ハ國營ニナルノデアリマス、私ハソレデアルガ爲ニ異議ヲ唱ヘル譯デハゴザイマセヌガ、一種ノ皮肉ヲ感ズル、但シ今日ハ軍需産業ノ生産力充實ト云フコトハ、國策上ハ絶對ニ必要デゴザイマスカラ、是ハ是非ヤツテ戴カケレバナラヌノデアリマスガ、私ハソレニ關聯致シマシテ、左ノ五點ニ付テ御伺ヒシタイト考ヘマス

前以テ御斷リ致シテ置キマスガ、前ノ質問者ト、多クノ點ニ於テ私ハ見解ヲ異ニスルノデ、反對ノ意見ヲ有スルコトハ私ハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、先ツ第一ニ私ハ職業紹介所ノ運営ニ付テ大臣ニ御伺ヒシタイ、先程ノ答辯ノ中ニハ、私ハ甚ダ不滿トスル所モアルノデアリマスガ、申ス迄モナク今度ノ國營ハ、労働力ノ充足ノ爲ニ各市町村ニ聯絡委員ヲ置イテ、所謂人ヲ集メヨウト云フ譯デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、求職者ノ開拓網ヲ完備シヨウト云フノガ、一ツノ眼目デアリマス、労働力充足ノ爲ニ、勿論必要デアリマスガ、私ハソレニ付テハ是非一ツ御考ヲ願ハナケレバナラヌ點ガアル、ソレハドウ云フ點カト申シマスルト、紹介所デ紹介スル場合ニハ、第一ニ此労働條件ノ適正ヲ期シテ貰ハナケレバナラヌト私ハ考ヘ

フナラバ、是ハ恰度駈出シノ箴基ト有段者ト對等デ基ヲ打タセルノト同ジデアリマシテ、勝負ニハナラナイ、サウ云フ自由取引ハ百害アツテ一利ナシト私ハ考ヘル、此點ニ付テ先程大臣カラ御答辯ハアリマシタケレドモ、尙ホ一ツ御一考ヲ煩シタイト私ハ考ヘル

異ラヌト云フ風ナコトニナルノデアアル、私ハ此點ニ付テ一ツ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘル、紹介シテカラ後ニモ、十分ニソレ等ノ労働者ノ保護ノ問題ニ付テハ、考ヘナクテハナラヌト思フ、私ノ知ツテ居リマス工場ニ斯ウ云フノガアル、名前ヲ申上ゲテモ宜イノデアリマスガ、ソレハ遠慮シテ置キマスケレドモ、労働者仲間デハ鬼工場ト言ハレテ居ル、年中職工ヲ募集シテ居ル、年中職業紹介所ヘ申込シテ、人ヲ紹介シテ貰ッテ居ルノデアリマスガ、使ヒ方ガ酷ナ爲ニ、問題ニナラナイヤウナ惡イ條件ヲ課スル爲ニ、ドン／＼罷メテ行ク、幾ラ罷メテ行ッテ是ハ差支ガナイノデアリマシテ、紹介所ハ無料ダカラ紹介所ニ頼ンデ、ドン／＼人ヲ送ッテ貰ヒ、年中表ニ職工募集ノ看板ヲ掛ケテ居ル、ソウシテ入ッテ來ル者ハ只今申シマシタヤウナ惡イ條件デ、イヂメ出スト云フ風ナコトヲヤツテ居ル、若シ斯ウ云フヤウナモノガ、今後モ尙且ツ跋扈スルト云フコトニナリマスナラバ、是亦紹介所ハ百害アツテ一利ナシト云フコトニナル、労働者仲間デハ之ヲ鬼工場ト稱シテ居リマシテ、アレハ鬼工場ダカラ、ア、云フ所ニ行カヌヤウニシロト言ッテ、オ五ニ口カラ口ヘ傳ヘテ居ルノデアリマスガ、紹介所ハヤハリドン／＼其處ニ人ヲ送ッテ居ル、斯ウ云フ風ナ鬼工場ノ手先ニナラナイヤウニ、一ツ御注意ヲ願ハナクテハナラヌト私ハ考ヘル、労働條件ガ適正ヲ期シテ居ルカドウカ、或ハ紹介後ニモ十分ナ保護ヲ受ケテ居ルカドウカト云フ風ナコトハ、

所謂此自由取引ノ形ニナツテ、一ツノ自然ノ形ト云フモノガ、ソコニ生ジテ來ルノデアリマスガ、ソレヲ量ラナイデ、聯絡委員ヲ置イテ、ドン／＼人ヲ集メルト云フ風ナコトニナリマス、茲ニ私ハ政府ガ仲／＼入ッテ、適正ナル條件ヲ設定シテ戴クノデナケレバ、公平デナイト考ヘル、申ス迄モゴザイマセヌガ、労働力ハ、只今委員會デ問題ニナツテ居リマスル電力ト同ジデアリマシテ、「ストック」ノ出來ナイモノデアリマス、殊ニ労働者ハ常ニ貧乏デアリマス、否デモ應デモドンナ惡イ條件ニデモ應ジナケレバナラヌ、労働力ハ「ストック」ガ出來ナイカラ、隨テ投資ヲシナケレバナラヌ、況ヤ自分ハ貧乏ダカラ、ドンナ惡イ條件デモ甘ンジナケレバナラヌト云フヤウナ弱イ立場ニ置カレテ居ル、傭主ノ方ハ常ニ經濟的ニ有利ナ地位ヲ占メテ居ル、ダカラ今日ノ條件其モノハ、決シテ公正ナモノデハナイ、況ヤ今度ノハ聯絡委員ヲ置イテ、澤山ナ労働者ヲ農村カラ集メテ來ルト云フコトニナリマスレバ、勢ヒ労働條件ヲ低下サセルカ、若クハ低下サセナクテモ、労働條件ノ向上ヲ阻碍スルコトハ明デアリマス、私ハ紹介所ヲ國營ニスルト云フナラバ、此間ニ立ッテ適正ナル條件ヲ設定スルヤウニ努力スルト云フノデナケレバ、紹介所國營ノ意義ヲ成サヌト私ハ考ヘル（拍手）此點デハ労働者ト傭主ト間ノ自由取引ニ委セテ置クコトハ、適當デナイト私ハ考ヘル、先程カラモ申シマシタヤウニ、經濟上ノ弱者ト經濟上ノ強者、ソレヲ自由取引ニ委セテ置クト云

モウ一ツ是非トモ御考慮ヲ願ハナケレバナラヌト思ヒマスコトハ、紹介シテカラ後ニ尙且ツソレ等ノ人達ニ付テノ保護ノ問題ニ付テ、御考ヲ願ハナクテハナラヌト私ハ考ヘル、申上ゲル迄モゴザイマセヌガ、労働力ハ他ノ商品ト異リ、労働者ノ肉體ト引離シテ考ヘルコトノ出來ナイ問題デアアル、只今問題ニナツテ居リマスル電力ハ、發電所ガ山ノ中ニアリマシテモ、電力ダケ都會デ賣ルコトガ出來ル、ケレドモ労働力ハサウデハナイ、労働者ノ體ヲ現場ニ持ッテ行カナケレバナラヌ、ソコデ今度ハ聯絡委員ヲ作ッテ、ドン／＼人ヲ集メテ來テ紹介シヨウト云フノデアリマスガ、若シ此間ニ十分ナル御考慮ヲ煩スノデナケレバ、今度ハ恰度國營紹介所ガ會社ノ募集員ノ代リヲ無料デヤルノト同ジコトニナル（拍手）サウ云フ風ナコトデ恐ラク聯絡委員ハドンナ所デ仕事ヲスルノカ、ドンナ所デドンナ條件デ働クノカ分ラナイ人ガ、農村ニ於テ人ヲ集メ、サウシテ盲目ノ儘都會ニ連レテ來テ、斯ウ云フ條件デ此處デ働ケト云フ風ニ、無理ニ強制サレルト云フヤウナコトニナリマスナラバ、先程申上ゲマシタヤウニ此紹介機關ガ、恰度會社ノ惡辣ナ募集員ノ代理ヲヤルノト

ハ此點ニ付テ一ツ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘル、紹介シテカラ後ニモ、十分ニソレ等ノ労働者ノ保護ノ問題ニ付テハ、考ヘナクテハナラヌト思フ、私ノ知ツテ居リマス工場ニ斯ウ云フノガアル、名前ヲ申上ゲテモ宜イノデアリマスガ、ソレハ遠慮シテ置キマスケレドモ、労働者仲間デハ鬼工場ト言ハレテ居ル、年中職工ヲ募集シテ居ル、年中職業紹介所ヘ申込シテ、人ヲ紹介シテ貰ッテ居ルノデアリマスガ、使ヒ方ガ酷ナ爲ニ、問題ニナラナイヤウナ惡イ條件ヲ課スル爲ニ、ドン／＼罷メテ行ク、幾ラ罷メテ行ッテ是ハ差支ガナイノデアリマシテ、紹介所ハ無料ダカラ紹介所ニ頼ンデ、ドン／＼人ヲ送ッテ貰ヒ、年中表ニ職工募集ノ看板ヲ掛ケテ居ル、ソウシテ入ッテ來ル者ハ只今申シマシタヤウナ惡イ條件デ、イヂメ出スト云フ風ナコトヲヤツテ居ル、若シ斯ウ云フヤウナモノガ、今後モ尙且ツ跋扈スルト云フコトニナリマスナラバ、是亦紹介所ハ百害アツテ一利ナシト云フコトニナル、労働者仲間デハ之ヲ鬼工場ト稱シテ居リマシテ、アレハ鬼工場ダカラ、ア、云フ所ニ行カヌヤウニシロト言ッテ、オ五ニ口カラ口ヘ傳ヘテ居ルノデアリマスガ、紹介所ハヤハリドン／＼其處ニ人ヲ送ッテ居ル、斯ウ云フ風ナ鬼工場ノ手先ニナラナイヤウニ、一ツ御注意ヲ願ハナクテハナラヌト私ハ考ヘル、労働條件ガ適正ヲ期シテ居ルカドウカ、或ハ紹介後ニモ十分ナ保護ヲ受ケテ居ルカドウカト云フ風ナコトハ、

ハ此點ニ付テ一ツ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘル、紹介シテカラ後ニモ、十分ニソレ等ノ労働者ノ保護ノ問題ニ付テハ、考ヘナクテハナラヌト思フ、私ノ知ツテ居リマス工場ニ斯ウ云フノガアル、名前ヲ申上ゲテモ宜イノデアリマスガ、ソレハ遠慮シテ置キマスケレドモ、労働者仲間デハ鬼工場ト言ハレテ居ル、年中職工ヲ募集シテ居ル、年中職業紹介所ヘ申込シテ、人ヲ紹介シテ貰ッテ居ルノデアリマスガ、使ヒ方ガ酷ナ爲ニ、問題ニナラナイヤウナ惡イ條件ヲ課スル爲ニ、ドン／＼罷メテ行ク、幾ラ罷メテ行ッテ是ハ差支ガナイノデアリマシテ、紹介所ハ無料ダカラ紹介所ニ頼ンデ、ドン／＼人ヲ送ッテ貰ヒ、年中表ニ職工募集ノ看板ヲ掛ケテ居ル、ソウシテ入ッテ來ル者ハ只今申シマシタヤウナ惡イ條件デ、イヂメ出スト云フ風ナコトヲヤツテ居ル、若シ斯ウ云フヤウナモノガ、今後モ尙且ツ跋扈スルト云フコトニナリマスナラバ、是亦紹介所ハ百害アツテ一利ナシト云フコトニナル、労働者仲間デハ之ヲ鬼工場ト稱シテ居リマシテ、アレハ鬼工場ダカラ、ア、云フ所ニ行カヌヤウニシロト言ッテ、オ五ニ口カラ口ヘ傳ヘテ居ルノデアリマスガ、紹介所ハヤハリドン／＼其處ニ人ヲ送ッテ居ル、斯ウ云フ風ナ鬼工場ノ手先ニナラナイヤウニ、一ツ御注意ヲ願ハナクテハナラヌト私ハ考ヘル、労働條件ガ適正ヲ期シテ居ルカドウカ、或ハ紹介後ニモ十分ナ保護ヲ受ケテ居ルカドウカト云フ風ナコトハ、

充足シヨウト云フ目的ノ爲ニ、今度ハ國營ニナルノデアリマス、私ハソレデアルガ爲ニ異議ヲ唱ヘル譯デハゴザイマセヌガ、一種ノ皮肉ヲ感ズル、但シ今日ハ軍需産業ノ生産力充實ト云フコトハ、國策上ハ絶對ニ必要デゴザイマスカラ、是ハ是非ヤツテ戴カケレバナラヌノデアリマスガ、私ハソレニ關聯致シマシテ、左ノ五點ニ付テ御伺ヒシタイト考ヘマス

前以テ御斷リ致シテ置キマスガ、前ノ質問者ト、多クノ點ニ於テ私ハ見解ヲ異ニスルノデ、反對ノ意見ヲ有スルコトハ私ハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、先ツ第一ニ私ハ職業紹介所ノ運営ニ付テ大臣ニ御伺ヒシタイ、先程ノ答辯ノ中ニハ、私ハ甚ダ不滿トスル所モアルノデアリマスガ、申ス迄モナク今度ノ國營ハ、労働力ノ充足ノ爲ニ各市町村ニ聯絡委員ヲ置イテ、所謂人ヲ集メヨウト云フ譯デアリマス、言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、求職者ノ開拓網ヲ完備シヨウト云フノガ、一ツノ眼目デアリマス、労働力充足ノ爲ニ、勿論必要デアリマスガ、私ハソレニ付テハ是非一ツ御考ヲ願ハナケレバナラヌ點ガアル、ソレハドウ云フ點カト申シマスルト、紹介所デ紹介スル場合ニハ、第一ニ此労働條件ノ適正ヲ期シテ貰ハナケレバナラヌト私ハ考ヘ

フナラバ、是ハ恰度駈出シノ箴基ト有段者ト對等デ基ヲ打タセルノト同ジデアリマシテ、勝負ニハナラナイ、サウ云フ自由取引ハ百害アツテ一利ナシト私ハ考ヘル、此點ニ付テ先程大臣カラ御答辯ハアリマシタケレドモ、尙ホ一ツ御一考ヲ煩シタイト私ハ考ヘル

異ラヌト云フ風ナコトニナルノデアアル、私ハ此點ニ付テ一ツ特ニ御考慮ヲ願ヒタイト考ヘル、紹介シテカラ後ニモ、十分ニソレ等ノ労働者ノ保護ノ問題ニ付テハ、考ヘナクテハナラヌト思フ、私ノ知ツテ居リマス工場ニ斯ウ云フノガアル、名前ヲ申上ゲテモ宜イノデアリマスガ、ソレハ遠慮シテ置キマスケレドモ、労働者仲間デハ鬼工場ト言ハレテ居ル、年中職工ヲ募集シテ居ル、年中職業紹介所ヘ申込シテ、人ヲ紹介シテ貰ッテ居ルノデアリマスガ、使ヒ方ガ酷ナ爲ニ、問題ニナラナイヤウナ惡イ條件ヲ課スル爲ニ、ドン／＼罷メテ行ク、幾ラ罷メテ行ッテ是ハ差支ガナイノデアリマシテ、紹介所ハ無料ダカラ紹介所ニ頼ンデ、ドン／＼人ヲ送ッテ貰ヒ、年中表ニ職工募集ノ看板ヲ掛ケテ居ル、ソウシテ入ッテ來ル者ハ只今申シマシタヤウナ惡イ條件デ、イヂメ出スト云フ風ナコトヲヤツテ居ル、若シ斯ウ云フヤウナモノガ、今後モ尙且ツ跋扈スルト云フコトニナリマスナラバ、是亦紹介所ハ百害アツテ一利ナシト云フコトニナル、労働者仲間デハ之ヲ鬼工場ト稱シテ居リマシテ、アレハ鬼工場ダカラ、ア、云フ所ニ行カヌヤウニシロト言ッテ、オ五ニ口カラ口ヘ傳ヘテ居ルノデアリマスガ、紹介所ハヤハリドン／＼其處ニ人ヲ送ッテ居ル、斯ウ云フ風ナ鬼工場ノ手先ニナラナイヤウニ、一ツ御注意ヲ願ハナクテハナラヌト私ハ考ヘル、労働條件ガ適正ヲ期シテ居ルカドウカ、或ハ紹介後ニモ十分ナ保護ヲ受ケテ居ルカドウカト云フ風ナコトハ、

紹介所カラ紹介サレタ人ノ勤績年數ヲ見レバ、一番能ク分ル、紹介所カラ紹介サレタ人ノ勤績年數ハ平均短イ、私ノ極ク狭イ範圍ノ調査ニ依リマシテモ、平均五箇月シカ勤メテハ居ラス、若シ是ガ個人紹介カ何カデアレバ、紹介シテ貰フタ人ノ額モアルモノダカラ、餘リ無理ナ使ヒ方ヲスルコトモ出來ナイト云フ風ナコトニナリマシテ、大體満足スベキ條件ノ下ニ、働クコトガ出來ルノデアリマスガ、紹介所ニハソレガ無イ爲ニ、傭主ガ無理ナ使ヒ方ヲスルコト云フコトニナリマシテ、永續シナイデ、ドン／＼罷メテ行ク、罷メテ行クテ差支ヘナイ、紹介所ハ無料ダカラ幾ラデモ其處カラ紹介シテ貰ヘルト云フコトニナリマシタナラバ、紹介所ノ存在ガ却テ是ハ有害ナリト申サナケレバナラヌト私ハ考ヘル(拍手)此點ニ於キマシテ果シテ紹介後ニモ相當ナル保護ヲシテヤル所ノ御考ガアルカドウカラ御伺シタイト私ハ考ヘル

其次ニハ臨時雇ノ問題デアリマス、御承知ノ通り最近ハ、臨時雇ト云フ風ナ者ガ非常ニ殖エマシテ、是ハ傭主ノ立場カラ申シマスナラバ、臨時雇ト云フ制度モ、強チ之ヲ絶滅スル譯ニハ行クマイト思フ、ホンノ十日カ、二十日カ或ハ一月位、臨時ニ人ガ欲シイト云フ風ナ場合モアラウト思ヒマスカラ、私ハ之ヲ全然禁止セヨトハ申シマセヌガ、併シ今日ハ此制度ガ段々悪用サレマシテ、到ル處臨時職工デ氾濫シテ居ルト云フ状態デアリマス、御承知ノ通り臨時デナク常備ト云フコトニナリマス、罷メサス時ニハ退職手當モヤラナケレバナ

ラヌ、或ハ健康保險ニモ入ラサナケレバナラヌ、色々勞働者保護ノ問題ガ生ジテ参リマスカラ、名前ハ臨時雇デ、事實上ニ於テハ二年、三年、或ハ五年、八年ト云フ長イ期間使ッテ居ルト云フ風ナ例ガ、是ハ随分アルノデアリマス、斯ウ云フコトニナッテ参リマス、百ノ勞働立法ガ出來テモ、是ハ晝餅ニ歸シテ何ニモナラヌノミナラズ、今日勞働力ガ拂底シテ居ルト云フ所ノ大キナ原因ノ一ツハ、此臨時雇制度デア、私共ノ知ッテ居ル範圍ニ於キマシテモ、多クノ熟練職工デ失業シテ居ル者ガアル、數年前ニ失業シタノデアアルカラ、今日デハ何等カノ生活手段ヲ得テ居ルノデアリマスガ、是等ノ者ニ、モウ一度工場ニ歸レト言ッテモ、馬鹿々々シイ、臨時雇ノ惡イ條件デハ、今更歸ル譯ニハ行カヌト云フノデ歸ラナイ、私ハ此點ヲ改善スルニアラズンバ、國策ノ線ニ沿ウタ本當ノ生産力ノ充實ハ出來ナイト考ヘル、其點カラ職業紹介所ヲ國營ニ爲サルノハ結構デアリマスガ、ソレト關聯シテ、臨時雇ノ制度ニ何等カノ制限ヲ加ヘル御考ヘナイカドウカ、少クトモ一定ノ期間ヲ決メテ、ソレ以上引續イテ使ッテ居ル場合ハ形式ハ臨時デアッテモ、ヤハリ相當ナ保護立法ヲ、適用スルト云フヤウナ制度ヲ設ケルノデナケレバ此問題ハ解決シナイト私ハ考ヘル、其點ニ於キマスル臨時雇ノ問題ニ付テ、厚生大臣ハ如何ナル御考ヲ持ッテ居ラレルカラ御伺シタイト私ハ考ヘル

モウ一ツハ日傭人夫、是モ臨時雇ト同ジデアリマシテ、御承知ノ通り供給人夫ト申シマシテ、人夫名義デ以テドン／＼ト人ヲ入レテ居ル、是ハ所謂人夫供給業者ト云フ者ガ人ヲ入レルノデアリマスガ、甚シイ場合ニハ人夫供給業者デナクテモ、ヤハリ今日マデ公營紹介所ガ人夫供給業者ノ代理ヲ致シマシテ、日傭人夫ノ形式デ以テ、繼續シテ同一ノ工場ニ、毎日人ヲ送ッテ居ルト云フ例ガ澤山アル、私ハ是非ハ一ツ御止メ願ヒタイト考ヘル、一體吾々ノ常識ニ依レバ、千人ノ人間ノ働イテ居ル機械工場ニ於テ、五百人以上ガ人夫ダト云フヤウナ筈棒ナ話ハアリ得ナイ、而モ今日ハサウ云フ風ナ所ガ澤山アル、旋盤ヲ使ッたり、鑪ヲ使ッたりスル立派ナ熟練職工ヲ、日傭人夫ノ形式デ、或ハ勞務供給業者カラ、或ハ公營職業紹介所カラ人ヲ送ッテ貰ッテ、使ッテ居ルト云フ例ガ澤山アルノデアリマス、斯ウ云フコトガ若シ増長サレテ行クナラバ、紹介所ノ運営ヲ誤ッテ、是カラ先モ斯ウ云フコトヲヤッテ行クト云フナラバ、是亦私ハ紹介所ノ國營ガ、却テ百害アッテ一利ナシト云フコトニナルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ一體厚生大臣ハ、如何ナル御考ヲ持ッテ御居デニナルカ、私ハ御伺シタイト考ヘル

其次ニ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、失業保險ノ問題デアリマス、前ニモ申シマシタヤウニ、此法案ノ眼目ハ、求職者開拓ノ網ヲ強化シヨウ、サウシテドン／＼ト人ヲ集メヨウト云フノガ、此法案ノ一ツノ目的デアリマス、私ハソレハ宜シイガ、今日國策ノ線ニ沿ウテ勞働力ヲ充實スル爲ニ、農村カラ人ヲドン／＼集メテ、或ハ職業教育ヲヤリ、色々ナ方法デ以テ生産力ヲ充實シヨウト云フノハ結構デアリマスガ、一體此次ニ戰爭ガ濟ンデ不景氣ガ來テ、戰時産業ハ閉鎖シナケレバナラヌ、事業ハ停止シナケレバナラヌ、戦線カラハドン／＼歸ッテ來ルト云フ譯デ、再ビ失業問題ガ激化致シテ参リマシタ際ニ、一體其際ノ對策ヲ如何ニ御考ニナッテ居ルノカト云フコトヲ御尋シタイト思フ、集メルダケハ集メルガ、今度ハ散ズル所ノ手段ヲ持ッテ居ラス、集メルダケハ集メルガ、失業シタ時ニハ捨テ、置クト云フノデハ、私ハ國民ニ對シテ極メテ無責任ナヤリ方ダト言ハザルヲ得ナイト思フ(拍手)散ズル時ノ對策ヲ持ッテ居ルノカドウカ、私ハ此點ハ是非共一ツ此職業紹介ノ國營ニ關聯シテ、失業保險ヲ作ッテ貰ハナケレバナラヌト考ヘル、先程世耕君ノ御質問ノ中ニ、失業保險ハ外國ニ於テ失敗シテ居ルト云フヤウナ御話ガゴザイマシタガ、例ヘバ英國デ失敗シタト云フノハ、ソレニハ理由ガアル、御承知ノ通り英國デ失業保險ガ最初出來タノハ千九百十六年、併シ其時ハ極ク少數ノ軍需工業ノ熟練職工ダケヲ保險ニ入レテ居ッタ、而シテ本當ニ之ヲ擴大シテ、一般勞働者ニ失業保險ヲ適用スルコトニナッタノハ千九百二十年デアリマス、即チ失業業者ガ氾濫スルヤウニナッテカラ、遽ニ失業保險ヲ適用シタノデアリマスカラ、是ハ旨ク行カナイノガ當然デアリマス(拍手)千九百十六年ニ、多クノ勞働者ガ皆就職シテ居ル際ニ、之ヲ失業保險ニ入レテ置ケバ、莫大ナル積立金ガ出來ルベキデアッタノデ

アリマス、ソレヲヤラナイデ、失業者ガ汎濫シテ來テカラ失業保險ヲ作ツタノデアリマスカラ、是ハ死ニ掛ツテ居ル人ヲ生命保險ニ入レタト同ジデアル(拍手)此例ヲ持ツテ來テ、外國デハ失敗シタカラ、日本デハヤルベカラズト言フナラバ、是ハ誤レルモ甚シキモノデアルト思フ、寧ろ失業保險ヲヤルナラバ、今日ガ絶好ノ「チャンス」デアル(拍手)失業者ノ非常ニ少イ今日、失業保險ハ入レテ、サウシテ此好況時代ニ相當ナ積立金ヲ積ンデ置クナラバ、私ハ次ニ不況ガ來タ所決シテ困ラヌト思フ、之ヲ考ヘナイデ、英國ナドデ戰爭ガ濟ンデ失業者ガ汎濫シテ來テカラ失業保險ヲ作ツテ、澤山ナ國費ヲ使ツタ案ガ失敗ガカラト云フコトハ、是ハ私ハ誤レルノ甚シキモノダト考ヘル、其點カラ申上ゲマシテ、私ハ失業保險ハ是非共作ツテ貰ハナケレバナラヌト思フ、若シ作ルナラバ、今日ガ絶好ノ「チャンス」ダト云フ風ニ考ヘマスガ、此點ニ付テ厚生大臣ハ如何ナル御考ヲ持ツテオ居デニナルカト云フコトヲ御伺シタイト私ハ考ヘル

「其次ニ私ノ御伺致シタイト思ヒマスコトハ、復員ノ問題デアリマス、御承知ノ通り今日動員サレテ居ル人ハ百万ト言ハレテ居リマスガ、是等ノ人ガ戰爭ガ濟ンデ歸ッテ來ルト云フ風ナコトニナリマス、是ハ非常ニ大問題デアリマス、嘗テ「ロイド・ジョーヂ」ハ用意ナクシテ平和ニ入ルト云フコトハ、用意ナクシテ戰爭ニ入ルヨリモ尙ホ危險ダト言ツテ居ル、ソレ等ノ用意ナクシテ百万ノ人ガ歸ッテ來ル、戰時産業ハ停止シ

ナケレバナラス、國內ノ國民生活上ニ一變化ヲ來スト云フ風ナコトニナリマスナラバ、是ハ用意ナクシテ戰爭ニ入ルヨリモ、尙ホ危險ダト言ハレテ居ルノデアリマス、私ハ此點ニ付キマシテモ、是等ノ人達ガ歸ッテ來テ——今日命ヲ捧ゲテ戰爭ニ行ツテ居ル人達ガ歸ッテ來テ、其仕事ニ困ルト云フヤウナコトニナリマスナラバ、吾々ハ同胞ニ對シテモ申譯ガナイ話デアリマス、是等ニ付テ一體如何ナル對策ヲ持ツテオ居デニナルカ、今日勿論職業保障法ト云フモノガゴザイマス、職業保障法ハゴザイマスケレドモ、是ハ一ツノ道德法デアリマシテ、傭主ガソレヲ守ラナイカラト云ツテ、之ニ對シテハ制裁ガナイ、元働イテ居ク所デ假ニ使ハナクテモ、之ニ對シテ制裁ガナイト云フ風ナコトニナツテ居リマスカラ、果シテ是ガ旨ク行クカドウカ分リマセヌ、職業保障法ノ適用ハ、御承知ノ通り五十人以上ノ工場ト云フコトニナツテ居リマシテ、大部分ノ人ハ適用ヲ受ケルコトガ出來ナイコトニナルノデアリマスガ、第一ソレ等ノ點ニ付テ此際如何ナル對策ヲ持ツテオ居デニナルカ(拍手)私ハ之ヲ強制的ニ使ハシメルコトニスルコトガ、最モ必要デアルト思フ、サウシテ又前ノ質問者カラモ御話ガアリマシタヤウニ、假ニソレ等ノ人ガ片輪ニナツテ居ツテモ、何等カノ方法ヲ以テ之ヲ使ハシメルト云フコトモ、勿論必要ダト思ヒマスガ、反對ニソレ等ノ人ヲ雇備スル爲ニ、今迄働イテ居ッタ人ヲ今度ハ解雇スルト云フ問題モ亦起ツテ來ル譯デアリマス、私ハ此解雇ノ問

題ニ付テモ、適當ナル統制ヲ加ヘル必要ガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘマスノデ、是等ノ點ニ付テ對策ガアルナラバ、是非トモ一ツ御伺致シタイト考ヘル

モウ一ツ御伺致シタイト思ヒマスコトハ、營利職業紹介業者ノ問題デアリマス、是モ私ハ遺憾ナガラ多クノ前ノ質問者ト意見ヲ異ニスルノデアリマス、私ハ此營利職業紹介事業ハ禁止シテ貰ヒタイト思フ、今壓迫スル虞ハナイカト云フ風ナ御話ガアリマシタガ、私ハ營利職業紹介業者ハ遠慮ナク禁ズルガ宜シイト思フ、ソレヲ單ニ壓迫スルバカリデナク、出來ルナラバ之ヲ禁止シテ宜シイト私ハ考ヘル(拍手)營利ノ目的ヲ以テ仕事ノ紹介ヲシテ居ル者ガ、今日如何ナルコトヲヤツテ居ルカ、多クノ弊害ヲ貽シテ居ルコトハ、前ノ質問者モ御認メニナツタ通りデアリマス、私ハ此問題ニ付キマシテハ、多クノ例ヲ舉ゲルコトガ出來ルノデアリマスガ、ソレハ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスシ、成、ベク簡單ニ致シタイト思ヒマスカラ略シテ置キマスガ、唯先程厚生大臣カラ、特殊ノ職業ノ紹介ニ付テハ之ヲ民間ニ委シテ置クコトガ、或ル場合ニハ適當ト考ヘルト云フ御話ガアリマシタガ、是ハ多分藝妓、酌婦ノ紹介ト云フモノハ、是ハ國營紹介所デヤル譯ニハ行カヌ、ダカラ是ハ民間ニ委シテ置カウト云フ御趣旨ダラウト考ヘルガ、ナニモ國營デヤル必要ハナイデハナイカ、國營デヤラナイデ宜イバカリデナク、民間ノ方ニ禁止シテモ宜シイト考ヘル、無理ニサウ云フコトヲ紹介シナケレバナラヌコトハナイ

ノデハナイカ、ノミナラズ國營ノ紹介所デヤルト云フコトニナリマシタナラバ、マサカ國營ノ紹介所ニ藝妓ノ紹介ヲ頼ンデ來ル者ハアルマイ、私ハサウ云フ風ナ點カラ、ア、云フ風ナ職業ヲ漸次根絶セシメル爲ニモ、是非トモ營利職業紹介所ハ廢メタ方ガ宜シイト考ヘル(拍手)御承知ノ通り、會社ノ募集人ト稱スル者ガ農村ヘ參リマシテ、何モ分ラヌ者ヲ騙シテ隨分連レテ來ルト云フ例モ澤山アル、或ハ其他人夫ノ供給業者ナドニ致シマシテモ、殆ド本人ニ對シテ旨イ事ヅクメノコトヲ言ツテ連レテ來テ、金儲ケノ目的ニ使フ例モ隨分アルノデアリマス、私ハ是非トモ斯ウ云フモノハ寧ろ禁止シテ戴キタイト考ヘル(拍手)

最後ニモウ一點御伺致シタイト思ヒマスコトハ、紹介所ガ國營ニナルト、是ガ官僚化スル虞ハナイカト云フ風ナコトハ、是ハ私共モ同感デアリマス、一體職業紹介事業ガ慈善事業デアッタ間ハ、是ハ一ツノ社會事業デアルト云フヤウナ考デ、非常ニ此問題ニ對シテ獻身的ナ努力ヲスルト云フ傾向ガアツタ、私ハ是カラ先モサウデナケレバナラヌト考ヘルノデアリマスガ、職業紹介事業ガ慈善事業ノ範圍ヲ脱シテ、今日ハ産業ニ一ツノ協力ヲスルト云フヤウナ重要ナ機關ニナツテ參リマシタ際、今日マデ是ガ公營デ行ハレテ居リマシタ間ニモ、トモスレバ是ガ官僚化スル傾向ガアツタ、私ハサウ云フ點カラ致シマシテ、是ガ國營ニナリ、國家ノオ役人ダト云フヤウナ考デ、斯ウ云フ事ニ携ハラレルコトニナツタナラバ、是ハ傭主ニ致

シマシテモ、傭人ニ致シマシテモ、其爲ニ迷惑ヲ感ズルコト多大ナモノガアルト私ハ考ヘル、單ニ職業紹介ニハ限リマセスガ、斯ウ云フ風ナ社會事業ニ對シテハ、之ヲ一ツノ天職ト考ヘテ、獻身ノ此事業ニ從事スルヤウナ人が必要ナリデアリマス（拍手）敢テ是ハ學問ハ要ラヌノデアリマス、大學ヲ出テ居ルコトヲ必要トシマセヌ、問題ハ之ヲ天職ト考ヘテヤルト云フヤウナ人が必要ナリデアリマス、此點ニ付テモ是非トモ一ツ御考ヲ願ハナクテハナラヌト私ハ考ヘル、私ハソレ等ノ點デ、所謂官僚化ヲ防止スル爲ニ、委員會制度ヲ設ケルト云フ風ナ御話モアルト思ヒマスガ、委員會ト云フ風ナモノガ出來タ所デ、私ハ多クノ期待ヲ持ツコトハ出來ナイ、外國ノ職業紹介委員會ハ實際ニ働イテ居リマスケレドモ、日本ノ職業紹介委員會ト云フ風ナモノガ假ニ出來マシタ所デ、是ハ有名無實デアリマス、今日マデニモ職業紹介委員ト云フ風ナモノガ任命サレテ、労働者側ハ或ハ資本家側カラ委員會ガ任命サレテ居リマスケレドモ、是ハホソノ一年ニ一遍カソコラ形式のナ委員會ヲ開クダケデアリマス、私ハコンナ事デハ何ニモナラヌト思フ、總テノ職業紹介所ニ委員會ガ常任トシテ、本當ニ其事業ニ從事スルヤウニスルノデナケレバ、職業紹介委員會ノ意義ヲ成サナイト私ハ考ヘル（拍手）一體外國ノ委員會ハソレナノデアアル、是ナドモ失業保險ガ出來レバ、ドウデモサウ云フ風ニ、常任ノ委員ト云フ風ナモノガ專屬デ居ッテ、色々世話ヲシナケレバナラヌト云フ

コトニナルノデアリマス、例ヘバ英國ニ於キマシテモ、佛蘭西ニ於キマシテモ、労働條件ヲ設定スル上ニ於テ、或ハ紹介後ノソレ等ノ人ノ保護ノ問題ニ付テ、或ハ此人ニ失業保險ノ手當金ヲヤルノガ適當デアルカドウカト云フ風ナ判斷スル上ニ於テ、此ノ職業紹介委員ト云フ風ナモノガ、重大ナ働キヲ爲シテ居ルノデアリマスガ、日本デハサウ云フ風ナ御考ハ毛頭ナイ、日本ノ委員會ト云フノハ、アレハ國際條約ノ關係上外國ノ眞似ヲシタモノニ過ギナイ、有名無實デアリマス、斯ウ云フ風ナコトデハ何等ノ意義ヲ成サヌト思ヒマスノデ、私ハ官僚化ヲ防止スル爲ニハ、是非トモ委員會制度ヲ充實シナクテハナラヌ、常任ノ委員ヲ置イテ、サウシテ此事業ニ本當ニ當テシ協力セシメルヤウニスルノデナケレバ、意義ヲ成サヌト考ヘルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付テ厚生大臣ハ如何ナル御考デアアルカト云フコトヲ御伺シタイト考ヘルノデアリマス、私ノ質問ハ以上六點、是等ニ付テ出來得ルダケ親切ナル御答辯ヲ願ヘルナラバ、結構ダト思ヒマス（拍手）

〔國務大臣侯爵木戶幸一君登壇〕

○國務大臣（侯爵木戶幸一君） 川村サンニ御答ヲ致シマス、第一ノ御尋ハ、職業紹介所ニ今後聯絡委員ヲ置イテ、市町村カラ労働者ヲ募集シテ來ル、隨テ是ガ擧集メヲスルト云フヤウナ形ニナル結果、所謂會社ノ募集員云々ノヤウナ狀況デ、労働條件ノ適正ヲ期スルコトガ出來ナイコトニナルノデアリナイカト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、勿論政府ガ考ヘテ居リマスル點モ、聯絡委員ハ求職者ト求人者ノ間ノ連絡ヲ圖ルノラ目的ト致シテ居ルノデアリマシテ、必シモ地方カラ擧集メテ労働市場ニ提供スルト云フヤウナコトヲ、職能ト致スモノデハナイノデアリマス、而シテ今回ノ法案ニ依リマシテ、中央及ビ各府縣ニハ職業紹介委員會ヲ置キマシテ、民間ノ實情ヲ反映スルヤウニ之ヲ運営致シテ、斯ノ如キ弊害ノナイコトヲ期シテ居ル次第デアリマス、而シテ就職後ニ於テ適當ナ保護ヲ與ヘルト云フ問題ニ付キマシテモ、全ク御同感デアリマシテ、此職業紹介所ガ出來マシテ、漸次機能ヲ發揮致シマスルニ於テハ、労働者ガ就職シマシタ後ニモ、此保護施設ヲ致シマスコトニ付テハ、其施設ヲ助長發達サセテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ臨時雇、日傭人夫等ノ制度ニ付キマシテ、實情ニ付テ色々御話ガアリマシテ、悪用セラレテ居ルカノ如キ御話ガアリマシタガ、斯ノ如キコトハ紹介所ガ國營トナリ、其機能ヲ發揮致シマスレバ、十分注意致シマシテ、是正シテ行キタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ不況ノ對策ト致シマシテ、如何ナル策ヲ持ッテ居ルカト云フ御尋デアリマシタガ、此點ハ先程モ御答致シタト存ジマスガ、勿論不況ニナリマシテ失業者ガ出テ參リマスル時ニハ、之ノ責任ヲ回避スルヤウナ考ハ、政府トシテハ毛頭ナイノデアリマシテ、失業救濟事業其他ノ實施ニ依リマシテ之ヲ救濟シ、適當ノ職業ニ就ケテ行キタイト考ヘテ居リマスガ、失業保險制度ニ付キマシテハ、我國ノ國情ニ鑑ミマシテ、尙ホ慎重ニ考慮

ヲ要スル點ガ少クナイト考ヘテ居リマスノデ、今後當局ト致シマシテモ、十分考究致シタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ復員對策ト致シマシテハ、先程モ御答致シマシタガ、現在ノ所強制雇傭ニ付テハ、尙ホ慎重考慮ヲ要スル點ガアリマスガ、差當リ入營者職業保障法ニ依リマシテ、之ヲ活用致シマシテ、從來ノ雇傭主等ニ勸誘ヲシ、又公團體其他ノ方面ニ付テハ、傷痍軍人等ノ採用等ニ付キマシテ、十分連絡ヲ取ッテ之ニ當リタイト考ヘテ居リマス、尙ホ保障法ニ付キマシテモ、今日現行ノ程度デハ不十分ナ點モアリマスノデ、其點ハ目下關係方面ト研究ヲ致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ營利職業紹介所ヲ禁止シタ方ガ宜イデハナイカト云フ御話ガアリマシタガ、此點ハ先程モ御答致シマシタヤウニ、今日政府ト致シマシテハ、特別ノモノヲ扱ハセル點モアリマスシ、又從來長ク其仕事ニ當ッテ居リマシク關係等ガアリマスノデ、先程御話致シマシタヤウニ、許可ニ依ッテ永續サセテ行ク考デアリマス、ソレカラ職業紹介所ガ官僚化スルト云フ意味ニ於キマシテ、獻身的ニ天職トシテ之ニ當ルベキ人ヲ使ハナケレバナラヌデハナイカト云フ御尋デアリマシタガ、其點ハ先程來屢、申上ゲマスヤウニ、此紹介所ノ仕事ノ性質カラ申シマシテ、全ク御同感デアリマス、是等ノ採用ニ付テハ、可ナリ自由ナ裁量ヲ用ヒテ人ヲ採用シテ行キタイト考ヘテ居リマス、尙ホ委員會ノ運用ガ兎角形式的ニ流レルト云フ御話デアリマシタガ、此點ハ十分注意致シマシテ、委

員會其モノニ依ッテ十分地方ノ實情等ヲ反映シテ、誤リナキヲ期シテ行キタイト考ヘテ居リマス(拍手)

○川村保太郎君 尙ホ色々御伺致シタイ點モアリマスガ、別ノ機會ニ譲リマシテ、私ハ之ヲ以テ打切りマス

○議長(小山松壽君) 是ニテ質疑ハ終局致シマシタ、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、社會事業法案外二件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○服部崎市君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際日程第三ヲ繰上ゲ上程シ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレマシタ、日程第三、農業保險法案ノ第一讀會ヲ開キマス——農林大臣有馬頼寧君

第三 農業保險法案(政府提出)第一讀會

農業保險法案

農業保險法

第一章 農業保險

第一條 市農會又ハ町村農會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケ風水害其ノ他ノ災害ニ因リ會員ノ被ル農作物ノ收穫上ノ損失及小作料ノ取得上ノ損失ニ付共濟金ノ交付ヲ爲ス事業(共濟事業)ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ共濟事業ヲ行フ市農會又ハ町村農會ハ之ニ因リ會員ニ對シテ負フ共濟責任ニ付相互保險ヲ爲ス目的ヲ以テ農業保險組合ヲ設立スルコトヲ得

共濟責任ノ保險ニ付セラレベキ共濟ノ目的タル農作物及小作料、共濟事故並ニ共濟責任期間ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 養蠶業ニ關スル共濟施設ヲ行フ養蠶實行組合ニシテ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノハ前條第二項ノ規定ニ依ル農業保險組合ノ設立者又ハ組合員タルコトヲ得

第三條 農業保險組合ハ法人トス

第四條 農業保險組合ノ區域ハ郡又ハ郡市ノ區域ニ依ル但シ特別ノ事由アルトキハ此ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

前項ノ規定ニ於テ郡トアルハ北海道ニ在リテハ北海道廳支廳長管轄區域トス

第五條 農業保險組合ハ其ノ名稱中ニ農業保險組合ナル文字ヲ用フベシ

農業保險組合ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ農業保險組合ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

トヲ得ズ

第六條 本法ニ依リ登記スベキ事項ハ其ノ事實ノ生ジタル後三週間以内ニ之ヲ各事務所ノ所在地ニ於テ登記スベシ登記スベキ事項ニシテ行政官廳ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

本法ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第七條 農業保險組合ニハ所得稅及營業收益稅ヲ課セズ

第八條 農業保險組合ガ本法ニ基キテ爲ス登記ニ付テハ登録稅ヲ課セズ

第九條 本法ニ依ル農業保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ

第十條 農業保險組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ豫メ區域ヲ定メ其ノ區域内ニ於テ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ理事及監事ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ創立總會ノ決議ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條 農業保險組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 區域
- 四 事務所ノ所在地
- 五 保險スベキ共濟責任

六 保險料率

七 準備金ノ積立及管理ノ方法

八 共濟基金ニ關スル規定

九 剩餘金處分及不足金填補ノ方法

十 組合員タル資格ニ關スル規定

十一 組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定

十二 事業執行ニ關スル規定

十三 役員ニ關スル規定

十四 組合ガ公告ヲ爲ス方法

十五 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第十二條 主務大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合ノ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ニ組合ヲ設立スベキコトヲ命ジ又ハ組合ノ區域内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ヲシテ其ノ組合ノ組合員タルシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者命令ノ定ムル所ニ依リ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條 農業保險組合ハ設立ノ認可アリタル時又ハ前條第二項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

前條ノ規定ニ依ル組合ノ設立アリタルトキハ其ノ組合ノ區域内ニ於テ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ハ其ノ組合ノ組合員トス

第十四條 農業保險組合ノ設立アリタル

トキハ設立ノ登記ヲ爲スベシ
登記スベキ事項左ノ如シ

一 第十一條第一號乃至第三號、第十四號及第十五號ニ掲ゲタル事項

二 事務所

三 成立ノ年月日

四 理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ掲ゲタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ

第十五條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合ノ行フ保險ニ付セラルベキ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ノ總テニ付共濟ヲ行フコトヲ要ス

第十六條 農業保險組合ノ組合員タル市農會又ハ町村農會及養蠶實行組合ハ其ノ地區ガ重複スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ同一地區内ノ同一ノ共濟ノ目的ニ付重複シテ組合ノ保險ニ付スルコトヲ得ズ

第十七條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付組織員ニ對シテ負フ共濟責任ノ總テヲ保險ニ付スベシ

第十八條 農業保險組合ノ組合員ハ定額ノ保險料ヲ釀出スルコトヲ要ス

第十九條 農業保險組合ハ第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及同項ノ共濟

ノ目的タル小作物ノ生ズル小作地ノ農作物ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ一定ノ割合以上ノ被害アリタル場合ニ限り其ノ被害程度ニ應ジテ定メタル保險金ヲ組合員ニ對シ支拂フモノトス

第二十條 農業保險組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ支拂ニ不足ヲ生ズルトキハ保險金額ヲ削減スルコトヲ得

第二十一條 農業保險組合ノ組合員ハ組合ニ釀出スベキ保險料ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十二條 農業保險組合ノ組合員保險料ノ拂込ヲ遲滞シタルトキハ組合ハ其ノ遲滞期間中ニ生ジタル事故ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第二十三條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及同項ノ共濟ノ目的タル小作物ノ生ズル小作地ノ農作物ニ付耕作細目書ヲ提出スベシ

組合員惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ前項ノ耕作細目書ノ提出ヲ怠リ又ハ之ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキハ組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第二十四條 農業保險組合ノ組合員ハ第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及同項ノ共濟ノ目的タル小作物ノ生ズル小作地ノ農作物ニ付通常爲スベキ肥培管理其ノ他損害防止ニ付指導ヲ爲スベシ

組合員惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ組合ノ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第二十五條 農業保險組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ損害ノ防止ニ關シ必要ナル施設ヲ爲スコトヲ得

第二十六條 農業保險組合ハ組合員ヲシテ損害ノ防止ノ爲テニ必要ナル處置ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合員ノ負擔シタル費用ハ組合ノ負擔トス

組合員前項ノ規定ニ依ル組合ノ指示ニ從ハザルトキハ組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第二十七條 農業保險組合ハ損害ノ防止又ハ損害ノ評價ノ爲ニ必要アルトキハ何時ニモ組合員ノ組織員ノ耕作スル土地ニ立入り又ハ其ノ耕作及收穫ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得

第二十八條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ヲ以テ定ムル事故發生シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ組合ニ通知スベシ

組合員ハ第一條第三項ノ共濟ノ目的タル農作物及同項ノ共濟ノ目的タル小作物ノ生ズル小作地ノ農作物ニ付共濟金ノ支拂ヲ爲スベキ損害アリト認メタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ遲滞ナク其ノ旨ヲ組合ニ通知スベシ

組合員前二項ノ規定ニ違反シタルトキハ組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第二十九條 農業保險組合ノ組合員ノ支拂フ共濟金ノ額ハ組合ヨリ支拂ハレタル保險金ノ額ヲ下ラザルコトヲ要ス

第三十條 農業保險組合ノ組合員ハ第二十二條、第二十三條第二項、第二十四條第二項、第二十六條第二項又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ノ支拂ヲ受ケザルトキト雖モ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ組織員ノ責ニ歸スベキ事由ナキ限り共濟金ヲ支拂フコトヲ要ス

ハ組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十一條 耕地ノ所有者ガ農業保險組合ノ組合員ヨリ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ共濟金ノ額ニ相當スル部分ノ小作物ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

他人ノ土地ニ付耕作ヲ營ム者ガ組合員ヨリ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルモ之ニ因リ其ノ土地ニ付權利ヲ有スル者トノ間ノ權利義務ニ影響ヲ及ボスコトナシ

第三十二條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ農業保險組合ヲシテ組合員ノ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ關スル共濟金支拂ノ義務ニ代ヘ組合員ノ組織員ニ對シ保險金ヲ支拂ハシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ組合ハ組合員ニ對スル保險金支拂ノ義務ヲ免ル

第三十三條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十四條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十五條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十六條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十七條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十八條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十九條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第四十條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第四十一條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第四十二條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第四十三條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第四十四條 農業保險組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付共濟金ノ支拂ヲ受ケタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ保險金ノ全部又ハ一部ニ付支拂ヲ責ラ免ルルコトヲ得

第三十三條 農業保險組合ノ組合員ガ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ付支拂フ共濟金ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第三十四條 農業保險組合ヨリ保險金ノ支拂ヲ受クル權利及組合ノ組合員ヨリ共濟金ノ支拂ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ズ

第三十五條 商法第三百九十七條、第三百九十九條、第四百條、第四百三條第一項及第四百十七條ノ規定ハ農業保險ニ之ヲ準用ス

第九條及商法第四百十七條ノ規定ハ農業保險組合ノ組合員ガ第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ關シ共濟事業又ハ共濟施設ヲ行フ場合ニ之ヲ準用ス

第三十六條 農業保險組合ハ保險事業ヲ行フノ外命令ノ定ムル所ニ依リ總會ノ議決ヲ經テ行政官廳ノ認可ヲ受ケ共濟基金ヲ積立テ組合員ニ對シ共濟金ノ交付ヲ爲ス事業ヲ行フコトヲ得

第九條及第三十四條並ニ商法第四百十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テハ組合員ノ組合ヨリ交付セラルル共濟金ヲ組織員ニ交付スル爲之ニ關スル規程ヲ設ケ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第九條、第二十九條及第三十三條並ニ商法第四百十七條ノ規定ハ前項ノ規程ニ基キ組合員ガ共濟金ノ交付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第三十七條 農業保險組合ニハ理事及監

事ヲ置ク

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員タル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任ス但シ設立當時ノ理事及監事ハ第三十八條ノ場合ヲ除クノ外創立總會ニ於テ組合員タルベキ資格ヲ有スル法人ノ役員ノ中ヨリ之ヲ選任スベシ

特別ノ事由アルトキハ組合ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ前項ニ該當セザル者ヨリ理事又ハ監事ヲ選任スルコトヲ得

第三十八條 主務大臣第十二條第二項ノ規定ニ依リ定款ヲ作成シタルトキハ農業保險組合ノ理事及監事ヲ命ズ

第三十九條 理事ハ定款及總會ノ決議録ヲ各事務所ニ備置キ且命令ノ定ムル所ニ依リ組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備置クベシ

第四十條 理事ハ通常總會ノ會日ヨリ一週間前ニ財産目録、貸借對照表、事業報告書、損益計算書及剩餘金處分案又ハ不足金填補案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フベシ

第四十一條 農業保險組合ノ組合員及組合ノ債權者ハ前二條ノ書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第四十二條 農業保險組合ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ監事組合ヲ代表ス

理事缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三月ヲ超ユルコトヲ得ズ

廳ハ假ニ理事ヲ選任スルコトヲ得

第四十三條 農業保險組合ノ組合員ハ總會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付議決權總數ノ十分ノ一ヲ超エザル範圍内ニ於テ二箇以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第四十四條 農業保險組合ノ組合員ハ書面又ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ハ組合員タルコトヲ要ス代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ提出スベシ

第四十五條 總會ノ招集ノ手續又ハ決議ノ方法ガ法令又ハ定款ノ規定ニ違反スルトキハ農業保險組合ノ組合員ハ決議ノ日ヨリ一月以内ニ其ノ決議ノ無効ノ宣告ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

商法第六十三條第二項第三項及第六十三條ノ四ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十六條 農業保險組合ノ事業年度ハ一年トス

第四十七條 農業保險組合ハ每事業年度ノ終ニ於テ存スル農業保險ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ責任準備金ヲ積立ツベシ

第四十八條 農業保險組合ハ不足金ノ填補ニ備フル爲毎事業年度ノ剩餘金中ヨリ命令ノ定ムル所ニ依リ準備金ヲ積立ツベシ

第四十九條 農業保險組合ノ組合員命令ノ定ムル所ニ依リ一定年間自己ノ責ニ歸スベキ事由ナクシテ組合ヨリ保險金ノ支拂ヲ受ケザルトキ又ハ支拂ヲ受ケタル保險金ガ一定額ニ滿タザルトキハ組合ハ組合員ニ對シ保險料ノ一部ニ相當スル金額ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

商法第四百十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十條 第三十六條第一項ノ共濟基金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合ノ每事業年度ノ剩餘金ノ一部及組合員ヨリ徵收シタル共濟掛金ヲ以テ之ニ充ツ

前項ノ共濟基金ハ共濟金又ハ前條ノ拂戻金ノ支拂其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ他ノ費用ニ充ツルコトヲ得ズ

第五十一條 農業保險組合ハ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ正當ノ事由ナクシテ組合員ト爲ルコトヲ拒ムコトヲ得ズ

第五十二條 農業保險組合ノ組合員タル法人ニ付合併又ハ分割アリタルトキハ合併後存続スル者ニシテ組合員タラザルモノ又ハ合併若ハ分割ニ因リテ設立シタル者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ組合ニ加入シタルモノト看做ス

第五十三條 地區ノ重複スル市農會又ハ町村農會及養蠶實行組合ハ協議ノ上主務大臣ノ認可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ一方ガ農業保險及第三十六條

依リ其ノ一方ガ農業保險及第三十六條

第一項ノ規定ニ依ル事業ニ關シテ有スル權利義務ヲ承繼スルコトヲ得

第五十四條 農業保險組合ノ組合員ハ左ノ事由ニ因リテ組合ヨリ脱退ス

一 第一條第三項ノ共濟ノ目的及共濟事故ニ關スル共濟事業又ハ共濟施設ノ廢止

二 解散又ハ合併若ハ分割ニ因ル消滅

第五十五條 農業保險組合ノ組合員ハ組合ヲ脱退シタルトキト雖モ脱退ノ日ノ屬スル事業年度ノ保險金額ノ削減ニ關シテハ其ノ義務ヲ免ルルコトヲ得ズ

第五十六條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合ノ組合員ノ支拂フベキ保險料ノ一部ヲ負擔ス

第五十七條 行政官廳ハ農業保險組合ニ對シ組合ノ事業又ハ財産ニ關スル報告ヲ爲サシメ、組合ノ事業又ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第五十八條 農業保險組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲若ハ決議方法令若ハ定款ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スルノ虞アルトキハ行政官廳ハ決議ヲ取消シ、理事若ハ監事ヲ解任シ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第五十九條 農業保險組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

一 定款ニ定メタル事由ノ發生

二 總會ノ決議

三 組合ノ合併

四 組合ノ破産

五 行政官廳ノ解散ノ命令
解散及合併ノ決議ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六十條 農業保險組合ガ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間以内ニ財産目録及貸借對照表ヲ作ルベシ

組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アラバ一定期間内ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スベシ但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

債權者前項ノ期間内ニ合併ニ對シテ異議ヲ述ベザリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者ガ異議ヲ述ベタルトキハ組合ハ合併前ノ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スベシ

第二項又ハ前項ノ規定ニ違反シテ爲シタル合併ハ之ヲ無効トス

第六十一條 農業保險組合ガ解散シタルトキハ合併ノ場合ヲ除クノ外保險關係ハ終了ス

前項ノ場合ニ於テハ組合ハ未ダ經過セザル期間ニ對シ保險料ヲ拂戻スベシ

第六十二條 農業保險組合ガ解散シタルトキハ合併及破産ニ因ル場合ヲ除クノ外清算人ノ氏名及住所並ニ解散ノ原因及年月日ノ登記ヲ爲スベシ但シ行政官廳ノ命令ニ因リ解散シタルトキハ解散

ノ原因及其ノ年月日ノ登記ヲ爲スコトヲ要セス

前項ノ規定ニ依リ登記シタル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ其ノ登記ヲ爲スベシ

第六十三條 行政官廳農業保險組合ノ解散ヲ命ジタルトキハ解散ノ原因及其ノ年月日ノ登記ヲ囑託スベシ

登記所ハ前項ノ囑託ニ因リテ其ノ登記ヲ爲スベシ

第六十四條 設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ定款並ニ理事及監事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第六十五條 事務所ノ新設、移轉其ノ他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、其ノ職務ヲ行フ監事又ハ清算人ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ但シ合併ニ因ル變更ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第六十六條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ總會ノ決議録及第六十條ノ手續ヲ爲シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第六十七條 民法第四十四條第一項、第四十五條第二項第三項、第四十八條、第五十條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第五十九條、第六十條、第六十一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十六條、第七十條及第七十三條乃至第八十三條、非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條、第三十七條ノ二、第二百二十二條、第三百六條乃至第三百三十八條、第四百二十二條乃至第五百一十一條ノ六、第五百四十四條乃至第五百七十七條、第七十五條、第七十六條、第七十七條、第七十八條及第九十五條ノ二並ニ産業組合法第二十三條、第二十七條、第二十八條、第三十一條、第三十三條、第三十四條ノ二、第三十二條、第三十六條、第三十九條、第六十五條、第六十六條第一項、第六十七條、第七十條、第七十四條ノ二第一項、第九十六條、第九十七條及第四百四條ノ規定ハ農業保險組合ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十五條第三項、第四十八條第一項及第七十七條ノ規定中一週間トアルハ三週間トシ産業組合法第二十八條（同法第三十九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）中四分ノ三トアルハ三分ノ二トシ同法第三十九條及第六十五條中地方長官トアルハ行政官廳トス

第六十八條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第六十六條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第六十六條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第六十六條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第六十六條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第六十六條 合併ニ因ル解散ノ登記ハ解散シタルトキノ理事及監事ノ全員ノ申請ニ依リテ之ヲ爲スベシ

申請書ニハ申請人ノ資格ヲ證スル書面及登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スベシ但シ前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル申請人ガ同一登記所ニ前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第二章 農業再保險

第六十八條 本法ニ依ル農業保險ノ再保險事業ハ農業保險組合會及政府之ヲ行フ

第六十九條 農業保險組合ハ農業保險組合聯合會ヲ設立スベシ

第七十條 農業保險組合ガ農業保險ノ引受ヲ爲シタルトキハ之ニ因リテ農業保險組合聯合會ト組合トノ間ニ再保險關係成立スルモノトス

第七十一條 農業再保險ノ再保險金額ハリテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ元受保險金額ノ一定割合ニ相當スル金額トシ政府ノ行フ再保險ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ聯合會ノ總再保險金額中異常災害ニ對應スル金額トス

再保險料ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十二條 政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合聯合會ノ農業保險組合ニ對スル支拂再保險金ガ聯合會ノ總再保險金額中ノ一定額ヲ超過シタル場合ニ於テ再保險金ヲ支拂フモノトス

第七十三條 農業保險組合ハ農業保險ノ引受ヲ爲シタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ農業保險組合聯合會ニ對シテ其

ノ旨ヲ通知スベシ
聯合會ハ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ニ對シテ其ノ旨ヲ通知スベシ

第七十四條 左ノ場合ニ於テハ農業保險組合聯合會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ再保險金ノ全部又ハ一部ノ支拂ノ責ニ任ゼズ

一 農業保險組合ガ法令又ハ定款ニ違反シテ保險金ヲ支拂ヒタルトキ

二 組合ガ損害額ヲ不當ニ認定シテ保險金ヲ支拂ヒタルトキ

三 組合ガ不正ノ目的ヲ以テ前條ノ規定ニ依ル通知ヲ怠リ又ハ不實ノ通知ヲ爲シタルトキ

前項ノ規定ハ政府ノ行フ農業再保險ニ之ヲ準用ス

第七十五條 農業保險組合聯合會成立シタルトキハ其ノ區域内ノ農業保險組合ハ其ノ聯合會ノ會員トス

第七十六條 農業保險組合ハ解散ニ因リ農業保險組合聯合會ヨリ脱退ス

第七十七條 農業保險組合ガ再保險ニ關スル事項ニ付農業保險組合聯合會ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ道府縣農業再保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス

聯合會ガ再保險ニ關スル事項ニ付政府ニ對シテ民事訴訟ヲ提起スルニハ農業再保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス

再保險審査會ノ審査ヲ經ルコトヲ要ス
前二項ノ審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關

シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス
農業再保險審査會及道府縣農業再保險審査會ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十八條 第三條、第五條、第七條乃至第十二條、第十三條第一項、第十四條、第三十七條乃至第四十八條、第五十七條乃至第五十九條、第六十一條乃至第六十三條、第六十四條第一項第二項及第六十五條、民法第四十四條第一項、第四十五條第二項第三項、第四十八條、第五十條、第五十二條第二項、第五十三條乃至第五十五條、第五十九條、第六十條、第六十一條第一項、第六十二條、第六十四條、第六十六條、第七十條及第七十三條乃至第八十三條、非訟事件手續法第三十五條第二項、第三十六條、第三十七條ノ二、第二百二十二條、第二百二十六條乃至第三百三十八條、第四百二十二條乃至第五百一十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十七條、第五百七十五條、第五百七十六條、第七百七十八條及第九十五條ノ二並ニ產業組

合法第二十三條、第二十七條、第二十八條、第三十一條、第三十三條、第三十四條ノ二第二項、第三十六條、第三十九條、第六十五條、第七十條、第七十四條ノ二第一項、第九十六條、第九十七條及第四百四條ノ規定ハ農業保險組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ民法第四十五條第三項、第四十八條第一項及第七十七條ノ規定中一週間トアルハ三週間ト

シ產業組合法第二十八條(同法第三十九條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)中四分ノ三トアルハ三分ノ二トシ同法第三十九條及第六十五條中地方長官トアルハ行政官廳トシ第五十九條及第六十五條並ニ產業組合法第六十五條ノ規定中組合ノ合併ニ關スル規定ヲ除ク

商法第三百九十一條ノ規定ハ農業保險組合聯合會ノ行フ農業再保險ニ之ヲ準用ス

第二十八條第二項第三項及第三十四條並ニ商法第三百九十七條、第三百九十九條、第四百條及第四百十七條ノ規定ハ農業再保險ニ之ヲ準用ス

第三章 罰則

第七十九條 左ノ場合ニ於テハ農業保險組合又ハ農業保險組合聯合會ノ理事、監事又ハ清算人ヲ五百圓以上五百圓以下ノ過料ニ處ス

一 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケザルベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二 本法ニ依ル登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

三 行政官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四 本法ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告ヲ差出サズ又ハ其ノ檢査ヲ拒ミ其ノ他行政官廳ノ命令若ハ處分ニ從ハザルトキ

五 本法ニ依ル總會ノ招集ヲ怠リタルトキ

六 組合又ハ聯合會ノ目的ニ非ザル事業ヲ爲シタルトキ

七 本法ニ依リ事務所ニ備置クベキ書類ヲ備ヘズ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

八 本法ニ違反シテ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ

九 第四十七條(第七十八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)、第五十條及第六十條ノ規定ニ違反シタルトキ

十 本法ニ依ル公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

十一 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シテ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ處分ヲ爲シタルトキ

十二 法令又ハ定款ニ違反シテ剩餘金ヲ處分シ又ハ保險金額ヲ削減シタルトキ

第八十條 第五條第二項(第七十八條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ノ規定ニ違反シタル者八十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第八十一條 非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附則
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(國務大臣伯爵有馬頼寧君登壇)

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 只今議題トナツテ居リマス 農業保險法案ニ付テ御説明

致シタイト思ヒマス、申ス迄モナク農業ハ自然界ノ影響ヲ受ケルコトガ極メテ多イ産業デアリマシテ、特ニ我國ノ農業ハ氣象上、地理上ノ關係カラ、農作物ノ災害其他農業上ノ災害ハ、年々全國ニ互ツテ頻發シ、其損害額モ頗ル多額ニ上ツテ居ル實情デアリマス、之ヲ過去ノ統計カラ見マスルト、農作物ノ災害ノミニ付テ見マシテモ、年々被害面積ハ百万町歩、其損害額ハ一億圓餘ニ達シテ居ルデアリマス、然ルニ我國ノ農業經營ハ其規模極メテ小サク、一戸當リ耕作面積ハ一町歩餘ニ過ギズ、隨テ農家ノ經濟モ餘裕少ク、彈力性ヲ缺イテ居リマスノ

デ、一タビ災害ガ發生致シマシタ場合、其損失ニ堪ヘルコトハ頗ル困難デアリマシテ、直接農家ノ經濟、農家ノ生活ニ非常ナ脅威ヲ與フルコトトナル譯デアリマス、即チ農家ノ收入源泉ガ失ハル、爲メ、翌年ノ農業生産ニ支障ヲ來シ、農業生産力ニ影響スル所大ナルモノガアリ、又農家ノ負債ヲ増加セシムルコトトモナルデアリマス、政府ト致シマシテモ、從來災害ガ廣範圍ニ互リ、又ハ被害程度ガ著シイ場合ニハ其都度各種ノ救濟ヲ行ツテ來テハ居リマスガ、年々之ヲ臨機應急ノ措置ノミニ委ヌルコトハ、何ト申シマシテモ不十分ト言ハネバナラスノデアリマシテ、現下ノ農村事情ニ鑑ミ、農業災害ニ對シテハ、是ガ救濟施設ニ付制度化致シマスコトガ、極メテ緊要ト考ヘラレルノデアリマシテ、此爲ニ今般農業保險制度ヲ樹立シテ、一定災害ニ因ル損害ノ填補輕減ヲ圖リ、農業經營、農家經濟ヲ安定セシ

メ、以テ農業生産力ノ維持増進ト、農村ノ經濟更生トニ資セントスルデアリマス、本案ノ要旨ハ、農業保險ノ元受保險事業ハ相互組合タル農業保險組合ヲシテ之ヲ行ハシムルコトトシ、組合ハ市町村農會及ビ地方ノ實情ニ依リ、養蠶實行組合ヲ其組合員ト致シマシテ、組合員タル是等團體ノ行フ共濟事業ニ基ク共濟責任ニ付保險ヲ行ヒ、農家ハ共濟事業ヲ通ジテ保險ノ利益ヲ享受スルコトト致シタルデアリマス、更ニ農業保險ノ再保險事業ハ、農業保險組合ノ組織スル農業保險組合聯合會ヲシテ之ヲ行ハシメ、聯合會ノ行フ再保險ニ對シマシテハ、政府ガ更ニ再保險事業ヲ行フコトト致シテ居ルノデアリマス

以上ハ本案提出理由ノ大體デアリマスガ、何卒御審議ノ上御協賛アラントヲ希望スル次第デアリマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 質疑ノ通告ガアリマス、順次之ヲ許シマス——山本条吉君

(山本条吉君登壇)

○山本条吉君 私ハ只今御上程ニナリマシタ農業保險法案ニ對シマシテ、二三質疑ヲ試ミヨウトスルデアリマス、本案案ガ當議會ニ提案セラレマシタコトハ、全國三千萬農民ガ非常ナ期待ヲ以テ待ツテ居タコトヲ實行セラレタ結果ニナリマスノデ、恐ラク本案案ノ實施セラレマスルコトヲ、一日千秋ノ思ヒデ待ツテ居ルモノト信ズルノデアリマス、而シテ其法案提出ノ理由ヲ檢討致シマスルト、災害ノ損害ガ極メテ甚大デアルガ爲ニ、農家負債ノ原因ガ生ズルカラ、

之ヲ控除スル、而シテ以テ農家經濟ノ安定ヲ圖ルノデアルト云フコトニ歸著スルヤウデアリマスガ、茲ニ提案セラレマシタ法律案ニ依リマシテ、果シテ以上提案理由ノ如キ重大ナル目的ヲ貫徹スルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ對シテ、疑問ヲ持ツモノデアリマス、但シ本案案ニ依リマシテハ、未ダ保險料ト保險金トノ關係、被保險災害ノ程度ト保險金トノ關係等ノ一切ハ、命令ニ委任セラレテ居リマスノデ、其内容ヲ承知スルコトガ出來マセスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ、何レ委員會ニ於テ詳細質疑ヲ試ミルコトニ致シマシテ、私ハ現在ノ我國農村ノ實情カラ考ヘテ、本案案ニ依ル所謂保險組合制度ニ依ル農業保險ハ、未ダ我國ノ貧窮ニ陥ツテ居ル農村ヲ救済スルニハ不十分デアルト考ヘルモノデアリマス

即チ第一ニ私ノ御事致シタイ點ハ、政府ハ農業保險ヲ全部國營ニスル意思ガアルカナイカ、御承知ノ如ク現在ノ我國ノ農家ノ實情ハ、私ガ此處デ申上ゲルマデモナク、數十年ノ間農民救濟ヲ叫バレ、農村救濟ヲ叫バレテ居リマスケレドモ、未ダ農民ノ經濟安定ヲ來シタコト云フコトヲ聞カナイ、ソレト反對ニ貧、生活不安ノ状態ニ陥リツ、アルノデアリマス、其原因ヲ煎ジ詰メルト、結局收支ノ均衡ヲ得ナイト云フコトニ歸著スルノデアアル、收支ノ均衡ヲ得ザル原因ヲ更ニ探究スルト、結局不測ノ災害ニ因ル被害ニ依ツテ負ウタル債務ノ爲メデアツテ、之ニ依ツテ到底浮ビ上ルコトガ出來ナイ實情ニ立至ツテシマウノガ、多クノ農民ノ悲惨ナ

ル生活ノ原因ナノデアリマス、而シテ農家ノ最モ恐ルベキ災害ハ、他ノ事業ノ危険ニ比ベテ、甚シク危険率ガ多イノデアリマス、即チドノ事業ニモ事業上ノ危険ノアルコトハ申スマデモアリマセスケレドモ、社會ニ存在スル企業危険ハ、現在ノ科學ノ力ヲ以テシテ、或ル程度マデ之ヲ豫測スルコトガ出來ル、豫測スルコトガ出來ルカラシテ、之ニ對スル對策モ亦講ズルコトガ出來ル、然ルニ農業上ノ事業危険ハ、現在ノ科學ノ力デ到底豫測スルコトノ出來ナイ部分ガ、其大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、科學ノ力デ豫測スルコトガ假ニ出來タトシテモ、現在ノ農家ニ之ニ對應スルダケノ準備ヲサセル餘裕ガ經濟的ニ存スルヤ否ヤ、私ガ申上ゲル迄モナク、現在ノ農家ニハ其餘裕ガ全然存シナイ、隨テ此災害ニ對スル危險ヲ負擔スベキモノハ、當然國家全體觀ヨリスルモ、國家ガ之ヲ負擔スベキモノデアルト私ハ信ズルノデアリマス、國家ガ危險ヲ負擔スルト云フコトハ、取モ直サズ此保險法案ヲ國營ニスルト云フコトデアアル、即チ現在ノ此法案ニ依ルト、組合員ノ單位ガ市又ハ町村農會デアアル、其農會ノ事業、即チ共濟事業ノ資ニ供スル爲ニ保險組合ガ設立セラレ、然ルニ現在ノ市町村農會ハ、農民ヨリ農會費ヲ納メサセルコトスラ非常ナ困難ヲ來シテ居ル、農會費未納ノ爲ニ農會其モノノ存立スラ出來ナイヤウナ町村ガ、全國ニ大分存在スルコトヲ承知シテ居ルノデアリマス、此農會ヲ組合員トシテ、更ニ保險料ヲ農民ヨリ徵收シ、之ヲ保險組合

ニ支拂ハセテ、保險組合ハ更ニ再保險料ヲ支拂ハレル、斯ノ如キ制度ニ依ッテ如何ナル結果ヲ招來スルカト想像致シマスルニ、恐ラクハ現在ノ農民ガ果シテ其農業保險、即チ保險料ノ支拂ニ堪ヘラレルヤ否ヤ、是ガ此法案ヲシテ果シテ政府所期ノ目的ヲ達セシムルヤ否ヤ、最重大ナル點ト思料スル者デアリマス（拍手）若シ農民ガ保險料ノ支拂スラ不可能ナリトセバ、本法案ニ依ッテハ災害ニ罹ッテモ、悲シイ哉保險金ノ一部若クハ全部ヲ拂ッテ貰フコトガ出來ナイコトニナッテ居ル、故ニ私ハ先ヅ第一ニ御尋致シマスルノハ、本法案ノ如キ趣旨ニ於テ結構デアリマスルカ、唯其保險料ヲ免除シ、即チ國家ガ總テノ危險ヲ負擔シテ、國家全體觀ヨリ國營ノ農業保險制度樹立ノ意思アリヤ否ヤヲ伺ヒタイト思ヒマス

第二ハ、若シ政府ガ國營ノ農業保險制度確立ノ意思ナシトスルナラバ、又不可能ナリトスルナラバ、セメテ保險料ノ全額ヲ國家ガ之ヲ負擔スル意思アリヤ否ヤ、此點ヲ第二ニ御伺シタイト思ヒマス

第三ニハ、本法案ニ依リマシテハ、未ダ保險料ト保險金額トノ關係ガ明瞭デアリマセヌカラ、之ヲ窺フノ餘地ガアリマセヌガ、保險金額ヲ増大シテ、農民ノ五箇年平均ノ收益ヲ標準トシテ、ソレニ滿ツルマデ國家ガ危險負擔ヲ補助スル意思アリヤ否ヤ、即チ本法案ニ依リマシテ、保險料ト保險金トノ割合ガ不明確デアリマスルカラ分カリマセヌケレドモ、恐ラクハ本法案ノ趣旨ヨリ致シマシテ、到底平均收益ニ滿ツ

ルマデ國家ガ之ヲ補助スル意思ナキコトハ、明ニ窺ヒ知ルコトガ出來ルノデアリマス、斯ノ如キ狀態デハ災害ヲ被ツタ農民ノ、其年ニ於ケル收益ヲ平均率マデ補助スルニアラズンバ、所謂二階カラ目藥、飛行機ヨリ目藥程度ノ救済ニ過ギナクナッテシマッテ、到底保險ノ目的ヲ貫徹スルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、故ニ私ハ少クとも五箇年平均收益ニ滿ツル迄ハ、國家ガ如何ナル災害ニ當テモ、之ヲ補助スルダケノ準備ヲ必要トスルモノト考ヘルノデアリマス、故ニ本法案ニ於キマシテモ、此保險金ノ支拂ニ付テハ再々保險即チ國家ガ保險金ノ支拂ヲ爲ス場合ニ於テハ、少クとも此平均率ニ滿ツルダケノ補助ヲ爲ス御考アリヤ否ヤヲ御尋スル次第デアリマス

第四ニ、從來ノ新シク生ズル制度ニ付キマシテハ、其手續ノ煩雜ナル爲ニ、而シテ政府ノ監督ガ其宜シキヲ得ザル爲ニ、非常ナ弊害ヲ來シテ居ルコトハ、産業組合ノ例ニ付テモ、其他ノ政府事業ニ付テモ多々アルノデ、其實例ヲ申上ゲル必要ハナイ程存シテ居ルノデアリマス、ソコデ第四番目ニ、私ニ兎ニ角手續ヲ簡易ニシテ、實質上ノ效果ヲ得ルコトニ留意シ、嚴正公平ナル指導監督ヲ爲スコトニ付テノ手段方法ニ付テ、如何ナル對策ヲ持テ居ルカト云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、即チ本法案ノ如ク災害ノ救済ヲ目的トスル法案ニ付キマシテハ、急速ニ其災害救済ガ出來ナケレバ、半巴目的ヲ沒却シテシマフノデアリマス、即チ其災害ノ招來シタ時ニ、ソレガ異常災

害デアリ、國家ガ之ニ對シテ保險金ヲ支拂フ場合ノ如キニ立至リマシタ時ニ、從來ノ如ク政府ノ調査、政府ノ監督其宜シキヲ得ザル爲ニ長時日ヲ要シテ、爲ニ農民ノ悲惨ナル災害ノ救済ノ目的ノ半バヲ沒却シテシマフト云フヤウナコトハ、想像ニ難クナイノデアリマス、敢テ官僚獨善ヲ攻撃スル譯デハアリマセヌガ、兎ニ角本法案ノ如キ急速ヲ尊ブ救済ニ付テハ、只今質疑致シマシタ手續ノ簡易化ト、嚴正公平ナル指導監督ヲシテ、實質上ノ效果ヲ得ルニ付テノ特別ノ御考ヲ必要トスルモノト思フノデアリマス、故ニ此點ニ付テ對策アリヤ否ヤヲ御尋スル次第デアリマス

最後ニ農業保險制度ハ本法案ニ依ッテ曲リナリニモ出來マシタケレドモ、是ト相對シテ漁村ニ於ケル漁業保險ヲ設置スル意思ガ政府ニアリヤ否ヤ、現在ノ漁村ニ於テ漁業保險ノ必要ナルコトハ、今更私ガ此處デ喋々スル必要ハアリマセヌ、故ニ政府ハ此農業保險制度ノ確立ヲ圖ツタ同時ニ、近キ將來ニ於テ是非トモ漁業保險ノ制度確立ヲ期シテ貰ヒタイ、果シテ政府ハ之ニ對スル準備アリヤ否ヤヲ御尋致シタイノデアリマス、以上五點ニ付キマシテ直截簡明ナル御答辯アラントラ希望致シマス

〔議長退席、副議長著席〕
〔國務大臣伯爵有馬賴寧君登壇〕
○國務大臣（伯爵有馬賴寧君） 山本君ノ御質問ニ御答致シマス、第一ノ御尋ハ、農民ガ果シテ保險料ノ支拂ノ負擔ニ堪ヘ得ルカドウカ、保險ハ良イ制度デアアルケレドモ、

現在ノ日本ノ農村ノ實情カラ言ヘバ、農家ニ此負擔ヲサセルコトハ、可ナリ困難デハナイカト云フ御話デアリマス、隨テ國營トスル意思ハナイカト云フ第一ノ御尋デアリマスガ、私共モ其點ヲ深ク考ヘマシテ、保險金額ヲ多額ニ致シマスレバ、隨テ救済ノ目的ヲ達スル上カラ言ヘバ宜イノデアリマシテ、併シソレダケ保險料ヲ多ク拂ハナケレバナラヌト云フコトニナリマスルノデ、本法案ニ於キマシテハ、保險金額ヲ低額ニ致シテ、保險料ヲ出來ルダケ低ク致シマシテ、農家ノ負擔ヲ輕クスルト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、國營ト致シテ國ガ全部ノ負擔ヲ負フト云フコトニ付キマシテハ、是非常ニ重大ナコトニナリマスルシ、財政ノ關係モアリマシテ、今直チニ之ニ付テ考ヘル譯ニハ行カナイノデアリマス

第二點ノ保險料ノ金額ヲ國ガ負擔スル意思ガナイカト云フ御尋デアリマスガ、是モ只今申上ゲマシタコトト大體同ジコトデアリマシテ、保險金ノ支拂ニ付キマシテ、組合ニ對シテハ縣區域ノ聯合會ガ再保險ヲシ、更ニ國ガ其再保險ニ對シテ保險ヲスルト云フ制度ニ於キマシテ、國ハ相當ノ負擔ヲ致シ、其外保險ニ關スル事務費等ヲ國ガ負擔ヲシテ居ルト云フ程度デアリマシテ、是以上ノコトハ今日トシテハ行ヒ得ナイノデアリマス

第三ノ御尋ノ點ハ、保險金額ヲモット増大シテ、國家ガ補助シタラバ宜イダラウト思フガドウカト云フ御尋デアリマシテ、是モ前ノ一二ノ御尋ト關聯シテ居ルト思フノ

デアリマス、只今申上ゲマシタヤウニ、保險金額ヲ増大致シマスコトハ、國ガ負擔ヲスレバ無論結構デアリマスガ、併シ農家ノ負擔トシテハ保險料ガ多クナリマスノデ、ソレハ實施致シ兼ネルノデアリマス、而シテ一方國ガソレヲ全部補助スルト云フ譯ニハ、事實上參リ兼ネルノデアリマス

第四ノ手續ノ煩雜ト云フコトニ付キマシテハ、御話ハ至極御尤デアリマシテ、之ヲ實施致シマスル場合ニ、出來ルダケ簡易化致シマシテ行ッテ參リタイト思ヒマス、個人ヲ對象ニ致シマセズデ、市町村農會ト云フモノヲ組合員ニ致シテ居ルト云フコトモ、サウ云フ團體デアレバ總テノコトガ簡易ニ參リマスルシ、又保險金額ヲ低クスルト云フコトモ、簡易ニスル一ツノ方法デアルカト思ヒマス、指導ニ付キマシテハ勿論地方廳モアリマスルシ、農會ガヤルノデアリマシルカラ、ソレノ之ヲ指導シ、監督スルコトハ出來ルト思ヒマス

最後ニ漁業保險ノコトニ付キマシテハ、洵ニ御尤ナコトデアルト思フノデアリマス、御承知ノヤウニ漁船保險ハ既ニ行ッテ居リマスガ、漁業ト云フモノハ、御承知ノヤウニ非常ニ危險ノ多イモノデアリマスノデ、隨テ今直チニ之ニ保險制度ヲ布クト云フコトハ、相當考究ヲ致サナケレバナラナイト考ヘテ居リマス(拍手)

○副議長(金光康夫君) 泉國三郎君

(泉國三郎君登壇)

○泉國三郎君 本法案ハ曩ニ提出セラレマシタル農地調整法案ト共ニ、今期議會ニ於

ケル農林省關係ノ進歩的ニ大立法トシテ、敬意ヲ表スルニ寄デハナイノデアリマス、私ハ有馬農林大臣ハ近衛内閣ノ關係ノ中ニ於キマシテモ、最モ革新的「イデオロギー」ヲ持ッテ居リマスルモノト信ジテ、農村ノ爲ニ期待甚ダ大ナルモノガアッタノデアリマス、然ルニ私ハ本議會有ユル機會ヲ通ジテ、遂ニ農林大臣ノ農村ニ對スル基本的認識、及び其指導精神ノ何モノデアルカラ把握シ得ナカッタコトハ、私ノ最モ遺憾トスル所デアリマス、強ヒテ農林大臣ノ指導精神ヲ求ムルナラバ、ソレハ自作農主義デアルト言ヒ得ルカモ知レナイノデアリマス、農村ノ内部ニ於キマシテハ、土地ガ根本的問題デアアルコトハ争ハアリマセズ、併ナガラ資本主義經濟ノ組織ノ下ニ於キマシテハ、農村ト致シマシテハ土地問題、即チ農村内部ノ問題、災害保險ト云フガ如キ災害ノ問題ガ解決サレタト致シマシテモ、未ダ以テ農村問題ノ解決トハナラナイノデアリマス、現在ノ社會組織ノ下ニ於キマシテハ、人的資源、原料資源、食糧資源ノ生産地トシテ、最モ尊重サレナケレバナラナイ所ノ農村ガ、却テ安價ナル努力、原料食糧ノ供給地トシテ、斃テ再生産サレタル高價ナル商品ノ需要地、消費地トシテ、資本主義的搾取、收奪ヲ志ニセラレ、社會的、經濟的ニ從屬的立場ニ置カレル所ニ、資本主義生産ノ指導者タリ得ナイ所ニ、其處ニ農村ノ生活ノ永久不安ノ原因ガ存スルノデアリマス、隨テ内部的土地問題トカ、災害ノ問題ガ解決セラレマシテモ、ソレハ一時

ノ小康ハ得ラレマスルケレドモ、ヤハリ農村ハ永久ニ年ト共ニ窮乏ヘノ一路ヲ辿ルデアラウトハ、推測スルニ難クナイノデアリマス、現在ノ經濟機構ノ下ニ於テハ、農業經營ハ既ニ儲カラザル、利潤ヲ生ゼザル所ノ企業デアリマス、小作農ノ生活ガ其甚シイノハ言フ迄モアリマセズ、自作農ト雖モヤハリ苦シイノデアリマス、收支ノ計算ガ引合ッテ居ナイノデアリマス、或ハ地主ノ間ニモサウシタ者ガアルノデアリマス、少クトモ此農村問題ノ解決ハ、農村ノ永久恐慌カラ之ヲ救フコトハ、現在ノ資本主義制度ノ機構ニ、其根本ニ觸ル、コトナクシテハ、全ク不可能ナコトデアアルト私ハ信ジマス、併ナガラソレハ洵ニ至難ノ業デアリマス、甚至難ノ業ハ何人ニ依ッテ爲シテ遂ゲラレルカ、ソレコソ革新政策ノ遂行ヲ以テ立ツ所ノ、近衛内閣ノ下ニ於ケル有馬農林大臣自ラ爲サラナケレバナラナイ問題デアルト考ヘルノデアリマスルガ、農相ノ之ニ對スル所見如何(拍手)其農村ニ對スル基本的認識、其指導精神ニ付テノ腹藏ナキ御所見ヲ先以テ承リタイノデアリマス(拍手)

第二ニ伺ヒマスコトハ、本法案ノ目的、内容等ニ關スル問題デアリマス、思フニ農業保險法ノ目標トスル所ハ、農家收入ノ源泉ヲ確保スルコトヲ以テ最高ノ目的トシ、他ノ各種ノ農村政策ト相俟ッテ農業生産力ノ維持増進ヲ圖リ、負債ノ原因ヲ防除シ、農業經營ヲ安定セシメ、以テ國家ノ爲ニ人的資源、食糧資源タル農村ヲシテ、不安ナカラシムルモノデナケレバナラヌト思フノデ

アリマス、然ルニ本法案ヲ一瞥致シマシナラバ、其内容甚シク不整備且ツ貧弱ナルニ一驚ヲ禁ジ得ナイモノガアリマス、其最モ甚シキ例ノ一ツハ、農業保險制度ノ構成ニ付キ、市町村農會ヲシテ共濟事業ヲ行ハシメル、郡ノ區域ヲ以テ、農業保險組合ヲシテ市町村農會ノ共濟責任ニ付テノ保險ヲ爲サシメル、此點デアリマス、私達ガ思ヒマスルノニ、農業保險ノ理想ハ農民ノ收穫ニ對スル損失ノ全部ヲ補償スル、即チ收穫保險ニアラザレバ、未ダ以テ全シト云フ譯ニハ參ラヌノデアリマス(拍手)各國ノ歴史ニ見マシテモ、農業保險ハ、自然的災害ヲ綜合的ニ觀察シテ、一括シテ保險事故ト爲ス所ノ一般收穫保險ト、各個ノ災害ヲ目標トシマス所ノ個別災害收穫保險、其二ツノ別ハアリマシテモ、其被保險利益ハ收穫ニアル、收穫ガ災害ニ因ッテ損傷セシメラレマシタル場合ニ、其損傷ヲ補填セシメラル、コトガ大體ノ例デアリマス、農民ハ災害ニ拘ラズ、斯クシテ初メテ平年作ト同様ナル收入ヲ得テ、次年度ノ再生産ヲ用意スルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ本日御提案ニナリマシタ所ノ法案ハ、世界ニ類例ノ少イ共濟制度デアリマス、共濟制度ヲ基本トスル所ノ法案デアリマス、此制度ノ下ニ於キマシテハ、災害ニ因ル全損失ガ補填セラレ、ニハアラズシテ、單ニ其一部分ガ共濟セラル、ニ過ギナイノデアリマス、何程ノモノガ共濟セラレマスルカハ、此法案ノ中ニハ見エヌノデアリマスルケレドモ、恐ラク收穫ノ爲ニ投下サレタ所ノ、生産費ニ充タナイ少イモノ

デアラウコトハ、推測スルニ難クハナイノデアリマス、若シ災害ヲ受クル者ガ組合員中ニ二三名ニ過ギナイ場合ニ於キマシテハ、他ノ組合員ニ經濟力ガ未ダアルノデアリマスカラ、有無相通スルコトニ依ッテ農村ノ經濟ハ成立チマセウ、併ナガラ若シ組合ノ全員ガ災害ヲ受ケタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、全組合員ガ何レモ生産ノ爲ニ投下シマシタ所ノ資本ヨリ少イ共濟金ヲ受ケテ、ドウシテ農村ノ經濟ガ成立チ、農民ノ生活ガ維持セラレテ、所謂農家收入ノ源泉ヲ確保シ得ルト云ハレマスルカ(拍手)殊ニ此法案ノ第二十條ニ依リマシテ「保險金ノ支拂ニ不足ヲ生ズルトキハ保險金額ヲ削減スルコトヲ得」拂フニ足リナカクナラバ、拂ハナクテモ宜イト云フ法律ヲ拵ヘヨウトシテ居ルノデアリマシテ、此法案ノ缺陷ガ茲ニ暴露セラレテ居リマス、政府ハ何故ニ收穫保險制度ノ樹立ニ努力セズシテ、本法案ノ如キ半端ノモノヲ提案シタカ、政府ノ豫想スル共濟金ハ反當リ何程ヲ豫想スルカ、吾々ノ得心ノ行ク迄御説明ガ願ヒタイノデアリマス、我國ヲ凡ソ南北ニ兩分シテ、概觀致シマスナラバ、概ネ南ニ位置スル地方ハ旱魃、風害ノ甚シキアリ、北ニ位置スル地方ハ氣溫低キニ失シ、爲ニ稻作等ニ決定的打撃ヲ與フル所謂冷害、若クハ雪害ノ被害ヲ受ケマスルコトハ、是レ農民ノ避ケ得ザル所ノ災害ノ一ツデアリマス、殊ニ東北地方ニ於キマシテハ、遠キ歴史ヲ緝ク迄モナク、明治以來既ニ八回ノ大凶作ニ遭遇シテ、平均八年ニ一度ト云フ周期的災害ノ前ニハ、

農民ノ勞苦殆ド酬イラレズ、益、其經濟ヲ窮乏ノドシ底ニ追込ミツ、アルコトハ、洵ニ痛惜ノ極ミデアリマス(拍手)殊ニ昭和九年ノ冷害ニ至リマシテハ、想起スルガ今尙ホ慘然タルモノガアルノデアリマス、雪ニ於テモ然リデアリマス、昨年十二月ノ降雪量ハ、コ、四十年來ノ大雪デアルト謂ハレテ居リマス、此災害ハ東北農民ガ怠惰逸樂ノ爲ニ求メタノデアリマセヌ、耕作技術ヲ誤ッタ爲ニ招來シタモノデモゴザイマセヌ、孜孜營々トシテ朝ニ星ヲ戴キ、夕ニ月ヲ踏ンデ刻苦勉勵、尙且ツ免レ得ザル所ノモノデアリマス(拍手)斯ル災害コソハ國家ガ之ヲ第一義的ニ補償シ、革新政策ノ一環トシテ本議會ニ提出シタ所ノ此法案ニ、第一ニ取上ゲラレナケレバナラナイ問題デアリマスルノニ拘ラズ、之ヲ政府ガ本法案ニ規定スルコトヲ爲サザル理由ハ如何、政府ハ果シテ是等ニ對スル調査研究ヲ爲シツ、アルカ、アラバ其結果ハ如何ニナッテ居ルカ、政府ガ本法案第一條ニ謂フ所ノ「其ノ他ノ災害」ノ中ニハ、此冷害雪害ト云フヤウナモノヲ、ドウ云フ風ニ處置セントシテ居ルカ、本法案ニ委任セラレテ出ヅル所ノ勅令ニハ、之ヲ規定スル意思デアルカ、ナイカト云フヤウナコトヲ、先ツ第二ニ聽カウト欲スルノデアリマス

次ニ本法案ニ關聯シテ質問致シマス、ソレハ災害ノ豫防施設ニ關スル問題デアリマス、農作物ノ自然的災害ニ對スル對策ハ、單ニ保險法ノ制定ノ如キ消極的手段ヲ講ズルヲ以テ、萬全ナリト爲スコトガ出來ナイノデアリマス、進ンデ積極的災害豫防ノ方策ヲ科學的ニ研究シ、調査シ、樹立シ、實踐強化シナケレバ、農民ハ常ニ其堵ニ安シクテ、所謂腹腹擊壤ノ樂ミヲ爲スコトガ出來ナイノデアリマス、即チ風雨、霜害、雪害ニ對スル防風、防雪其他ノ災害豫防林ノ造成、旱害及ビ洪水ニ對スル水源林ノ培養、灌溉用水路、溜池等ノ築造、防潮林、砂防工事、大中小河川ノ改修等、各般ノ施設ヲ完備スルト共ニ、病蟲害ニ對シテ是ガ豫防驅除ノ研究、實驗指導ノ宜シキヲ得ナケレバナラヌノデアリマス、又同時ニ自然的災害ノ態樣ニ應ジテ、各地勢風土ニ即シテ各種災害ニ堪ヘ得ル農作物ノ品種、竝ニ栽培方法ノ發見、改良普及等ニ、格段ノ努力ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、是等災害豫防ノ完備ヲ期シ、是ト並行シテ進ムコトニ依ッテ、始メテ農業保險ハ所期ノ目的ヲ達シ得ルノデアリマス(拍手)然ルニ政府ノ爲ス所概ネ之ニ副ハザルヲ、私ハ遺憾トスルノデアリマス

各地農民ノ要望スル砂防及河川ノ改修ハ、中々ニ内務省ノ容ル、所トハナラズ、其利益ガ地方ニ均霑セズ、農村各種團體自ラ起ッテ用水路溜池等ノ工事ヲ爲サントスルモ、其起債ハ容易ニ許可セラレズ、若クハ助成之ニ伴ハズ、大藏省預金部ハ溢リニ資金ノ融通ヲ阻ミ、農事試驗場ハ又徒ニ高遠ナル學理ヲ試驗管中ニ密閉シテ、糞土ノ上ニ立タズ、農民餓死スルモ我關セズ焉タル有様デアリマス(拍手)斯ノ如キ狀態ヲ以テシテハ生産力ノ擴充モ、災害ノ防止モ、到底期シ

得ナイコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアリマス(拍手)有馬農林大臣ハ是等ノ點ヲ如何ニ見ラレルカ、曩ニ東北ノ凶作ヲ契機トシテ、農林省ガ冷害試験場ヲ囑託設置シタルガ如キハ、前述ノ目的ニ副フモノデアリマスルガ、其規模餘リニ貧弱ノ憾ヲ免レナイノデアリマス、更ニ之ヲ擴大シテ水稻ノミナラズ、各種主要食料農産物ノ試験ニマデ及ブベキデアルト考ヘマスガ、果シテ農林大臣ハ將來之ヲ實現スルノ意思ガアルカ、又内務大臣ハ各地農民ノ要望ニ應ジテ、砂防竝ニ河川改修事業ヲ擴大スルノ意思ハナイカ、公共團體等ノ適切妥當ナル起債認可ノ申請ニ對シテ、是ガ許可ヲ緩和スルノ意思ハナイカ、是等ノ諸點ニ付キ關係閣僚ニ質問シテ置キマス

農民生活ヲ窮乏ノ底ニ押込ムモノ、獨リ自然の災害ノミデアリマセズ、資本主義生産機構亦然リデアリマス、併ナガラ私ハ今其全般ニ付テ之ヲ問ヒマセズ、政府ノ事業、就中軍需工業ニ付テ私ハ之ニ關聯シテ質問セントスル者デアリマス、即チ軍需工業ガ現時局ノ下ニ於テ如何ニ民間ヲ潤シテ居リマスルカ、一應國民ノ手許ヨリ國家ニ集中サレ、更ニ軍需工業ニ投下セラレタ資本ガ、民間註文ノ形ニ於テ、或ハ原料ノ購入費トナリ、勞働賃金トナツテ、如何ナル率ニ於テ農村ニ還元歸納スルカト云フ問題デアリマス、私ハ茲ニ最近ノ數字ヲ持チマセズケレドモ、昭和十一年度ニ於テ陸軍ガ軍需品ヲ民間ニ註文致シマシタル額ハ二億三百九十餘萬圓、之ヲ都市一億七千五百萬圓ニ

比較シテ、農村ハ僅ニ二千八百餘萬圓デアリマシテ、都市ハ五%ニ對シテ農村僅ニ一五%ニ過ギナイノデアリマス、更ニ之ヲ地方別ニ檢討スルナラバ、差等ノ餘リニ甚シキニ一驚ヲ禁ジ得ナイノデアリマセウ、即チ昭和十年度ニ於ケル軍需品ノ民間註文高ハ、海軍ガ三億六千八百萬圓、陸軍ガ一億九千六百萬圓、計五億六千四百萬圓デアリマスルガ、此中關東二億四千九百八十五萬圓デ第一位ヲ占メテ、約二分ノ一ヲ獨占シ、大阪ヲ中心トスル近畿之ニ次イデ一億二千五百萬圓、福岡ヲ中心トスル九州ハ五千七百萬圓デ第三位デアアルニ比較シマシテ、東北六縣八百二十三萬三千圓、四國三百八十八萬圓、斯ノ如ク貧弱ナノデアリマス、即チ東京ヲ中心トスル關東ガ、民間註文ノ約半分ヲ壟斷シテ、面積之ニ倍スル東北地方、或ハ四國ハ、關東ノ三・三%關東ガ百圓ノ註文ヲ受ケル場合ニ東北、四國ガ僅ニ三圓三十錢ト云フ雀ノ涙程ノ註文シカナイノデアリマス、此狀態ヲ以テシテハ農村ハ疲弊スルカ、私ハ此狀態ヲ以テシテハ農村ハ疲弊スル一方デアルト考ヘル、此軍需工業ニ投下セラレル所ノモノガ、再ビ農民ニ公平ニ還元スルヤウナコトデナケレバイケナイト考ヘル、此點ニ對シテ政府ハ如何ニ考ヘラレルカ、之ヲ是正スルノ意思ガアルカ、何等カ之ニ對シテ考慮シテ居ルコトガアルカト云フコトヲ、御聽キシタイノデアリマス

更ニ御許ヲ得マシテ、モウ一點最後ニ御伺ヒスル、ソレハ東北ガ明治政府以來疎外

又ハ放任セラレテ、一切ノ經濟的文化的施設ニ於テ、他ノ地方ヨリ劣悪ナル條件ニアリコトハ、今更私ガ申上ゲル迄モナイノデアリマス、冷害、凶作ヲ契機トシテ東北振興問題ガ再認識サレ、内閣ノ下ニ東北局ガ置カレマシタコトハ、吾々ノ洵ニ感謝ニ堪ヘナイ所デアリマスルガ、調査會ノ最初ノ答申ニ對シマシテ政府ノ爲ス所ヲ見マス、殆ド此答申ニ副ハザル狀態ニアルノデアリマス(東北問題ヲ片手間ニヤラレテハ困ル)ト呼フ者アリ)東北問題ハ國策デアリマス、吾々ハ此狀態ニ見マシテ、眞ニ國策トシテノ東北振興ヲ、此内閣ニ依ツテヤツテ戴カナケレバナラナイト考ヘテ居ル、ソレニハ先以テ東北局ノ設置ト云フガ如キ根本問題、竝ニ是ハ豫算ヲ一途ニ統一シテ、其豫算ヲ更ニ擴大シテ貫ハナケレバナラナイト考ヘテ居リマス、時局ハ支那事變勃發ニ依ツテ、戰時體制ノ下ニ東北問題ナンカニ關係シテ居ラレナイト云フ御意見ガアルカモ知レマセズガ、ソレハ認識不足モ甚シイモノデアリマス、戰ガ長期ニ互レバ互ル程、農民ノ生活ヲ鞏固ナル基礎ノ上ニ置キ、一切ノ原料資源ヲ開發シ、生産力ヲ擴充シ、以テ食料其他ノ原料ヲ枯渴セシメズ、同時ニ人的武力ノ補充ニ支障ナカラシメナケレバナラヌノデアリマス、此點ニ關スル政府ノ所見如何、東北ガ憂ヘテ居ルコトハ、東北振興ノ問題ガ尻切レ蜻蛉ニ終リハシナイカト云フコトデアリマス、政府ハ國策トシテ、事情ノ許ス限リ速ニ此解決ニ努力スル意思ハナイカ、吾々ガサウ云フコトヲ言フノハ、

少クトモ日本人竝ノ經濟的文化的地位ニアリタイト云フ、東北人ノ水平運動ヲヤツテ居ルニ過ギナイノデアアツテ、諸君ニ優越シテ吾々ハ惠ンデ欲シト云フノデアリナイノデアリマス、日清、日露、日獨ノ戰爭、滿洲事變等々、戰ノタビニ日本ノ國威ハ宣揚サレ、國力ハ擴充シ、資本主義ハ成長シマシタ、或ハ戰時成金ノ輩出ヲ伴ヒナガラデアリマス、併ナガラ東北農民ノ生活ハ、依然トシテ窮迫ノドン底ニアルノデアリマス、滿洲事變ニ際會シテ、東北ノ健兒ハ血ヲ以テ參戰シタノデアリマス(議長、注意セラレンコトヲ望ミマス)ト呼フ者アリ)支那事變一タビ起ルヤ、北、中、南支ノ曠野ニ、執拗果敢ナル東北特有ノ鬪争力ヲ揮ツテ、國防ノ第一線ニ起ツテ居リマス

(發言スル者多シ)

○副議長(金光庸夫) 泉君、成ベク本問題ニ付テ質疑ヲ御願致シマス

○泉國三郎君(續) 左右幾多ノ生靈ガ奪ハル、モ、顧ミル暇ガナイノデアリマス、勿論彼等ガ一タビ君國ノ爲ニ銃ヲ執ツテ馬タ時、一死奉公ノ一公アツテ、他ニ求ムル所アリマセズ、併ナガラ思フ、戰火漸ク戢ツテ、日滿支一體ノ經濟ガ確立シ、東北方其爲ニ直接如何ナル利益ニ均霑スルカ、其失フ所ニ比シテ、其得ラレル所ガ、餘リニモ少イデアラウコトハ言フ迄モナイノデアリマス、國難來ラバ共ニ起チ、國ニ憂アラバ共ニ憂ヒ、喜アラバ共ニ喜ビ、失フモノハ共ニ失ヒ、得ラル、モノハ共ニ分ツモノデナケレバイケナイ、政府ハ如何ニ之ヲ考ヘラレル

○副議長(金光庸夫) 泉君、成ベク本問題ニ付テ質疑ヲ御願致シマス

○泉國三郎君(續) 左右幾多ノ生靈ガ奪ハル、モ、顧ミル暇ガナイノデアリマス、勿論彼等ガ一タビ君國ノ爲ニ銃ヲ執ツテ馬タ時、一死奉公ノ一公アツテ、他ニ求ムル所アリマセズ、併ナガラ思フ、戰火漸ク戢ツテ、日滿支一體ノ經濟ガ確立シ、東北方其爲ニ直接如何ナル利益ニ均霑スルカ、其失フ所ニ比シテ、其得ラレル所ガ、餘リニモ少イデアラウコトハ言フ迄モナイノデアリマス、國難來ラバ共ニ起チ、國ニ憂アラバ共ニ憂ヒ、喜アラバ共ニ喜ビ、失フモノハ共ニ失ヒ、得ラル、モノハ共ニ分ツモノデナケレバイケナイ、政府ハ如何ニ之ヲ考ヘラレル

カ、此點ニ付テ責任アル御答辯ヲ望ンデ已
マナイ次第デアリマス(拍手)

(政府委員高橋守平君登壇)

○政府委員(高橋守平君) 詳細ハ委員會デ
御答スルコトニ致シマシテ、極ク簡單ニ御

答辯申上ゲマス、第一ノ農村問題ノ解決
ハ、本保險制度ノ確立ダケデハ出來上ラナ
イト云フコトハ、御説ノ通りデアリマシ

テ、農地ノ問題、肥料ノ問題、農産物價ノ
問題ト云フ、諸般ノ方面カラ考察致シマシ
テ、此農村問題ハ解決シナケレバナラスト

信ズル者デアリマス、第二點ノ收穫保險ニ
何故シナカッタカト云フ御尋デアリマス
ガ、本法案ヲ考ヘマシテ際ニ於キマシテハ、

實情ヲ基礎ト致シマシテ、簡易ニ加入シ得
ルト云フコトヲ立法ノ立前ニ致シ、先ヅ
此金額保險ヲ致シマシテ、之ニ依ッテ相當

農民ガ保險ト云フモノヲ理解致シマシタ後
ニ於キマシテ、收穫保險ニマデ進ンデ行キ
タイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、冷

害ヲ何故入レナカッタカト云フ御質問ガアッ
タノデアリマス、此冷害ニ對シマシテハ、
マダ保險技術上尙ホ慎重ニ研究ノ要ガアリ

マスノデ、取敢ズ町村農會ニ於キマシテノ
共濟事業ノ中ニ之ヲ入レマシテ、將來十分
ノ研究ヲ遂ゲマシテ、保險事項ノ中ニ含マ

セタイト存ジテ居ルノデアリマス、災害保
險ヲ立テタダケデハイケナイ、其根本ヲ交
除シナケレバナラナイト云フ御説ニハ全ク

同感デアリマシテ、出來得ル限リ努力ヲ續
ケタイト考ヘテ居ル次第デアリマス(拍手)

○副議長(金光庸夫君) 中野寅吉君——中

野君、一寸御待チ下サイ——木村政府委員
(政府委員木村正義君登壇)

○政府委員(木村正義君) 只今泉君カラノ
農業保險制度ト共ニ、災害豫防ノ色々ナ施

設ヲ講ズル必要ガアルト云フ御説ニ對シマ
シテハ、全ク同感デアリマス、内務省ノ所
管ニ於キマシテハ、治水費トシテ十三年度

ニ於キマシテハ約二千五百萬圓、災害費ト
シテ約千五百萬圓ヲ支出スルコトニ相成ッ
テ居ルノデアリマス、併シ是ハ泉君ノ御述

ニナリマシタヤウニ、決シテ十分ノ經費デ
ハアリマセヌ、全ク支那事變ノ關係、財政
上ノ關係、又物及ビ勞力ノ供給ノ關係等カ

ラ、斯ノ如キ經費ニ相成ッテ居ル次第デアリ
マス、今後此治水事業ノ完璧ヲ期シマスコ
トハ、産業ノ發展ノ上カラ見マシテモ、民

力ノ涵養ノ上カラ見マシテモ、殊ニ災害防
除ヲ致ス根本問題デアリマスカラ、昭和八
年ノ土木會議ノ決定モアリマスノデ、ソレ

等ノ問題ニ付テハ十分ナル研究ヲ致シタイ
考デアリマス(拍手)

(政府委員加藤久米四郎君登壇)

○政府委員(加藤久米四郎君) 泉君ニ御答
致シマス、陸軍ニ於キマシテハ、軍需品ヲ

調達スル場合ニ於キマシテハ、極力之ヲ全
國各地方ニ分散スルコトヲ圖ッテ居リマス、
且ツ大工業ニ偏シナイヤウニ注意ヲ致シテ

居リマス、農村中小工業ヲ利用スルコトニ
努メマシテ、成ベク一地方ニ集中シナイ
ヤウニ努メテ居リマス、然レドモ軍需品ト

致シマシテハ、必要ナルモノハ其性能ト云
ヒ、性質ト云ヒ、自然ト其註文ガ都市ニ集

中セラル、傾向ノアリマスコトハ、自ラ免
レ難イ所デアリマス、陸軍ト致シマシテハ、
其結果カラ生ズベキ弊害ニ關シマシテ、緩
和是正ノ方法ヲ講ズル必要ガアリマスノデ、
特ニ此點ニ注意ヲ致シテ、御期待ニ副フコ
トニ努力致ス積リデアリマス(拍手)

(政府委員岸田正記君登壇)

○政府委員(岸田正記君) 泉君ノ海軍ニ
對スル御質問ニ御答致シマス、海軍ニ於キ
マシテハ、軍需品註文ニ當リマシテノ地方

分散、殊ニ農村ノ都市トノ國防費ノ負擔
ト、其還元トノ關係ニ付キマシテハ、極メ
テ公平ヲ期スルヤウニ、出來得ル限リ注意

ヲ拂ッテ居ル次第デアリマシテ、此點ハ時
局柄重大ナル點デモアルト思ヒマスカラ、
一言海軍ノ實際狀況ヲ御報告申上ゲマス

御承知ノヤウニ、海軍ニ於キマシテハ、
各鎮守府及ビ要港部ニ於キマシテ、地方統
制工業委員會ナルモノヲ設ケテ居リマシ

テ、關係府縣ト能ク協力致シマシテ、工作
廳及ビ軍需部方之ニ善處シテ當ッテ居ル次
第デアリマス、斯ウシタ結果、各府縣側ニ

於キマシテハ、御承知ノ如クニ技術ノ指導
及ビ金融ノ途ヲ開クト云フヤウナコト、或
ハ製品ノ検査トカ云フヤウナコトニ付キマ

シテ、色々機關ヲ擴充シテ居リマスルシ、
又工廠側ト致シマシテハ、關係者ニ技術ノ
指導ヲ實施致シテ居リマシテ、其技術ニ應

ジテ註文致スヤウニ致シテ居リマスノデ、
非常ニ生産ニ當リマシテモ、適當ナ處置ヲ
執ルコトガ出來テ居リマシテ、良好ナル結

果ヲ擧ゲテ居ル次第デアリマス、斯ウシタ

結果ハ、昭和十一年ニ於キマシテハ、此統
制工業ヲ通ジタ購入、或ハ工作廳、或ハ軍
需部カラ直接購入シタモノ、此合計ハ二百
四十萬圓ニ達シテ居リマス、又十二年度ニ
於キマシテハ、事變關係ノ影響モアリマス

ルノデ、非常ニ註文量ガ増大致シマシテ、
九百萬圓カラニ達スル見込ニナッテ居ル次
第デアリマス、尙ホ糧食及ビ需品ニ付キマ

シテハ、出來得ル限リ地方ノ中小業者ノ
利益ハ害シナイト云フ考ヲ頭ニ置キマシテ、
農會或ハ産業組合カラ成ベク之ヲ購入スル

コトニ致シテ居リマシテ、十二年度ノ如キ
ハ、海軍自體及ビ共濟組合等ノ購入金額合
計ハ、五百十二萬圓ニ達スル状態ニナッテ居

ル次第デアリマス、以上ノ實情ニ於キマシ
テ、大凡海軍ガ此點ニ付テ十分注意ヲ拂ッ
テ居ルト云フコトヲ、御諒解ヲ願フト云フコ

トガ出來タト思ヒマスルガ、尙ホ將來モ一
層此趣旨ニ對シマシテハ、徹底ヲ期スルヤ
ウニ心掛ケタイト考ヘテ居ル次第デアリマ

ス(拍手)

○副議長(金光庸夫君) 中野寅吉君

(中野寅吉君登壇)

○中野寅吉君 私ハ極ク簡單ニ質疑ヲ致シ
マス、長ク致シマセヌ、先刻長野高一氏カ
ラ二十分以内デ止メロト云フコトデアリマ

シタシ、山本兼吉君ナリ、泉國三郎君カラ
長イ間御質疑ガアリマシタカラ、私ハ重複
ノ點ハ避ケマス

此農業保險法ヲ出シタト云フコトハ、農
林省トシテハ洵ニ大出來デアリマス、今迄
ハ斯ウ云フモノヲ出サナカッタ、ソレヲ今度

出シテ來タト云フダケデモ大出來デア、ソレデ先ヅ第一ニ伺ヒタイノハ、第一條ノ「風水害其ノ他ノ災害ニ因リ」ト云フコトデアツテ、冷害ト雪害ヲ何故此處ニ明記シナイカ(拍手)之ヲ是非明記スル必要ガアル、何故ナラバ、問題ノ起キル度毎ニ雪害モ冷害モ災害デナイ、是ハ認メラレナイト云フヤウナ役人ガ出ナイトモ限ラナイカラ、明記シテ置ク必要ガアル、明記スレバ即チ迷ハナイノデア、法文ヲ曖昧ニシテ置イテハイケン、役人ノ自由裁量ニシテ置ケバ、丁度オ互ガ協賛シテ選舉法ノヤウナ目ニ遭フカラ、ハッキリ書イテ置ク必要ガアル(拍手)雪害、冷害ノ問題ハ最も必要デ、我が先輩松岡俊三君ハ、殆ド此問題ニ對シテハ命ヲ捧ゲテ當ツタノデア、吾々モ亦引摺ラレテ之ヲ叫ブヤウニナツタノデア、雪害、冷害ノ本家本山ハ全ク松岡俊三氏デアリマス(ヒヤ〜)ソレデハ松岡氏ノ地位ニ懸ケテモ、此法文ニ冷害、雪害ト明記シテ置ク必要ガアル、冷害、雪害ヲ蟲害、煙害トカ、霜害、雹害トカ、コンナ詰ラナイ害ト一緒ニサレテハ堪ラナイ、其冷害ノ最も悲惨デアツタノハ、昭和九年ト昭和十年デア、昭和九年ハ山崎達之輔君ガ農林大臣、昭和十年ハ島田俊雄氏ガ農林大臣、我が福島縣ナドハ今ノ此御二人ノ方ニハ、オ百度ヲ踏ンデ救濟ヲ願ツタノデア、本當ニアノ時ハ田ノ中ニ入ッテ見ルト、立ッテ居ル稻ガカサ〜ト音ガスル、洵ニ悲惨デアツタ、アレヲ思フト、ドウシテモ之ニ冷害ト雪害ヲ入レテ貫ハナケレバ駄

目ダ(拍手)森肇君デモ、又山崎猛君デモ、私ガ頼ンデ數回行ッテ貫ツタ、是ハ實際ノ話デア、ソレカラモウ一ツハ五十六條、國庫ハ組員ノ支拂フベキ保險料ノ一部ヲ負擔ス、其負擔ノ額ハ勅令デ定メルト書イテアル、是モ危イモノダ、大體斯ウ云フ仕事ヲ始メルノハ、農業者ノ方カラ此仕事ヲ始メテ呉レト叫ンダノデハナイ、政府カラ進ンデ農業保險制度ヲ設ケルト云フコトヲ言出シタ以上ハ、國家ト云フ立場カラ、此負擔額ハ成ベク餘計ニ國家ニ持ッテ貫ハナケレ、バナラヌ(拍手)農家ノ方デヤル仕事デナク、國家ガヤル仕事デアルカラ、其負擔ハ國家ガ多ク持タナクテハナラヌ、少クモ事務費ノ全部ハ負擔シテ貫ハナケレバナラヌト思フガ、サウ云フ意思ガアルカドウカ、ソレカラ若シ冷害、雪害ヲ入レナカッタ提案ノ理由ニ合ハナイ、農業保險法案ノ提案ノ理由ニハ「自然ノ災害ニ因ル農作物ノ損失ノ多大ナルニ鑑ミ之ガ損害ノ填補輕減ヲ圖リ以テ農家負擔ノ原因ヲ防除シ農家經濟ヲ安定セシメ農業生産力ノ維持増進及農村ノ經濟更生ヲ期スル爲メ農業保險制度ヲ確立實施スルノ要アリ」ソレデ此法案ヲ出シタト書イテアル、然ラバ自然ノ災害ニ因ル中デモ、冷害、雪害ハ最も多イモノデア、先ヅ「イ」ノ一番ニ之ヲ掲ゲナケレバナラヌ、ソレヲ提案ノ理由ニ、コンナニ立派ニ書イテ置イテ、法文ヲ見ルト拔カシテ居ルト云フコトハ、マルデ羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルモノダト言ッテモ宜シイ(拍手)ソレカラ共濟事業ト農業保

險組合設立ト兩建デ行クト言フガ、是ハ兩建デ行カナイデ、一本建デ行ク方ガ宜カラウト思フ、共濟事業デヤツテ見テ、豫期ノ成績ヲ擧ゲラレナカッタ時ハ、今度ハ其外デヤル、斯ウ云フヤウナコトハ試シテ見ナクモ分ル、初メカラ一本建デ行ク氣ハナイカドウカ(拍手)

(國務大臣伯爵有馬頼寧君登壇)
○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 中野君ノ御質問ニ御答致シマス、東北ニ於ケル冷害及ビ東北、北陸方面ニ於ケル所ノ雪害ノ甚大デアリ、之ヲ救濟スルコトニ力ヲ入レマセスケレバナラヌコトハ、十分ニ承知致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ御承知ノヤウニ、冷害八年ヲ置キマシテ起ッテ參リマス關係ガアリマスノト、サウ云フ事情ノ爲ニ此保險制度ヲ立テマスル基礎トナルベキ災害ノ統計ヲ作ルコトニ、非常ニ不便デアリマシテ、マダ十分ノ災害ノ統計ノ基礎ヲ得テ居ナイノデアリマス、政府ハ決シテ冷害トカ、雪害トカ云フモノヲ輕ンジテ居ル譯デハナイノデアリマスガ、只今直チニ之ニ付テ保險ヲ致スト云フ迄ニ、調査ガ十分ニ届イテ居ナイノデアリマス、御承知ノヤウニ法文ノ第一條ニ「風水害其他ノ災害ニ因リ」ト云フコトガ書イテゴザイマスノデ、今後調査ガ十分出來マスレバ、成ベク早イ機會ニ於テ、冷害等モ保險ノ中ニ加ヘマスルヤウニ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、次ニ國ガ一部ヲ負擔スルト云フコトハ甚ダ不徹底デアルカラ、モット餘計ニ持タナケレバナラヌト云フ御話デアリマスガ、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、國ガ大部分ノ費用ヲ負擔致シマスト云フコトハ、財政上ノ關係カラモ出來マセヌ、隨テ保險ノ事務費等ハ一部國ガ持チマスシ、尙ホ再保險等ノ金ナドヲ支出致シマシテ、出來得ル限りニ於テ國ガ之ヲ負擔シテ、成ベク保險料ノ輕減ヲ圖ルト云フコトヲ考ヘテ

目ダ(拍手)森肇君デモ、又山崎猛君デモ、私ガ頼ンデ數回行ッテ貫ツタ、是ハ實際ノ話デア、ソレカラモウ一ツハ五十六條、國庫ハ組員ノ支拂フベキ保險料ノ一部ヲ負擔ス、其負擔ノ額ハ勅令デ定メルト書イテアル、是モ危イモノダ、大體斯ウ云フ仕事ヲ始メルノハ、農業者ノ方カラ此仕事ヲ始メテ呉レト叫ンダノデハナイ、政府カラ進ンデ農業保險制度ヲ設ケルト云フコトヲ言出シタ以上ハ、國家ト云フ立場カラ、此負擔額ハ成ベク餘計ニ國家ニ持ッテ貫ハナケレ、バナラヌ(拍手)農家ノ方デヤル仕事デナク、國家ガヤル仕事デアルカラ、其負擔ハ國家ガ多ク持タナクテハナラヌ、少クモ事務費ノ全部ハ負擔シテ貫ハナケレバナラヌト思フガ、サウ云フ意思ガアルカドウカ、ソレカラ若シ冷害、雪害ヲ入レナカッタ提案ノ理由ニ合ハナイ、農業保險法案ノ提案ノ理由ニハ「自然ノ災害ニ因ル農作物ノ損失ノ多大ナルニ鑑ミ之ガ損害ノ填補輕減ヲ圖リ以テ農家負擔ノ原因ヲ防除シ農家經濟ヲ安定セシメ農業生産力ノ維持増進及農村ノ經濟更生ヲ期スル爲メ農業保險制度ヲ確立實施スルノ要アリ」ソレデ此法案ヲ出シタト書イテアル、然ラバ自然ノ災害ニ因ル中デモ、冷害、雪害ハ最も多イモノデア、先ヅ「イ」ノ一番ニ之ヲ掲ゲナケレバナラヌ、ソレヲ提案ノ理由ニ、コンナニ立派ニ書イテ置イテ、法文ヲ見ルト拔カシテ居ルト云フコトハ、マルデ羊頭ヲ懸ケテ狗肉ヲ賣ルモノダト言ッテモ宜シイ(拍手)ソレカラ共濟事業ト農業保

險組合設立ト兩建デ行クト言フガ、是ハ兩建デ行カナイデ、一本建デ行ク方ガ宜カラウト思フ、共濟事業デヤツテ見テ、豫期ノ成績ヲ擧ゲラレナカッタ時ハ、今度ハ其外デヤル、斯ウ云フヤウナコトハ試シテ見ナクモ分ル、初メカラ一本建デ行ク氣ハナイカドウカ(拍手)

(國務大臣伯爵有馬頼寧君登壇)
○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 中野君ノ御質問ニ御答致シマス、東北ニ於ケル冷害及ビ東北、北陸方面ニ於ケル所ノ雪害ノ甚大デアリ、之ヲ救濟スルコトニ力ヲ入レマセスケレバナラヌコトハ、十分ニ承知致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ御承知ノヤウニ、冷害八年ヲ置キマシテ起ッテ參リマス關係ガアリマスノト、サウ云フ事情ノ爲ニ此保險制度ヲ立テマスル基礎トナルベキ災害ノ統計ヲ作ルコトニ、非常ニ不便デアリマシテ、マダ十分ノ災害ノ統計ノ基礎ヲ得テ居ナイノデアリマス、政府ハ決シテ冷害トカ、雪害トカ云フモノヲ輕ンジテ居ル譯デハナイノデアリマスガ、只今直チニ之ニ付テ保險ヲ致スト云フ迄ニ、調査ガ十分ニ届イテ居ナイノデアリマス、御承知ノヤウニ法文ノ第一條ニ「風水害其他ノ災害ニ因リ」ト云フコトガ書イテゴザイマスノデ、今後調査ガ十分出來マスレバ、成ベク早イ機會ニ於テ、冷害等モ保險ノ中ニ加ヘマスルヤウニ致シタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス、次ニ國ガ一部ヲ負擔スルト云フコトハ甚ダ不徹底デアルカラ、モット餘計ニ持タナケレバナラヌト云フ御話デアリマスガ、是ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、國ガ大部分ノ費用ヲ負擔致シマスト云フコトハ、財政上ノ關係カラモ出來マセヌ、隨テ保險ノ事務費等ハ一部國ガ持チマスシ、尙ホ再保險等ノ金ナドヲ支出致シマシテ、出來得ル限りニ於テ國ガ之ヲ負擔シテ、成ベク保險料ノ輕減ヲ圖ルト云フコトヲ考ヘテ

來得ル限りニ於テ國ガ之ヲ負擔シテ、成ベク保險料ノ輕減ヲ圖ルト云フコトヲ考ヘテ

居ルノデアリマス、第三ノ共濟ト保險トノ
 兩建ハイケナイト云フ御話デゴザイマシタ
 ガ、此共濟ト申シマスノハ、只今御述ニナ
 リマシタ冷害ノヤウナ、今回ノ保險ノ中ニ
 加ツテ居リマセヌモノヲ、一時共濟制度ニ依
 リマシテ、冷害等ノ爲ニ救濟ノ積立金ヲ致
 シテ置キマシテ、ソレハ共濟事業ニ依ツテ行
 フト云フ爲ニ、共濟制度ヲ設ケテ居ルノデ
 アリマシテ、單ニ冷害バカリデハゴザイマ
 セヌ、陸稻其他ニ付キマシテモ、保險ニ依
 ラズ共濟金ニ依ルコトノ方ガ、寧ロ宜シイ
 ト思ハレルモノモアリマスノデ、ソレ等ハ
 共濟制度ニ依ルコトニ致シマシタ、保險一
 本デ參リマスヨリハ、寧ロ其方ガ實際ニ適
 スルト云フコトモ考ヘテ、斯様ニ致シタヤ
 ウナ次第デアリマス(拍手)

○中野實吉君 簡單デスカラ此席カラ御許
 フ願ヒマス

○副議長(金光庸夫君) 許シマス

○中野實吉君 政府ノ御答辯ハ甚ダ納得シ
 得ナイ點ガアリマスガ、尙ホ他ノ機會ニ於テ
 質問致スコトニシマシテ、是デ打切りマス

○副議長(金光庸夫君) 菊地養之輔君
 (菊地養之輔君登壇)

○菊地養之輔君 私ハ先ツ農村ニ取リマシ
 テ極メテ重大ナル本案ニ對シマシテ、ナゼ
 會期剩ス所僅ニ二十日シカナイ今日マデ其
 提出ヲ延バシテ居ツタカ、此點ニ對シテ御伺
 致シタイノデアリマス、モット早く提出セラ
 レマシテ、慎重審議ノ機會ヲドウシテ十分
 吾々ニ與ヘナカッタカ、此點ニ對シテ當局ノ
 答辯ヲ得タイト思フノデアリマス、本案ガ

今日ノ窮乏セル農村ニ取ツテ極メテ必要デ
 アリ、又特ニ長期戰ニ對シマシテ、生産力
 ノ擴充、銃後農村生活ノ安定ニ對シマシテ、
 極メテ重要ナル法案ナルコトハ、何人モ異
 論ノナイ所デゴザイマス、政府當局モ十分
 之ヲ信ジ、之ヲ常ニ力説シテ居リナガラ、
 何故ニ今日マデ荏苒日ヲ送ツテ來タノデア
 ルカ、提出ノ準備ニ付キマシテハ、既ニ昭
 和八年五月ニ出シマシタ農業保險經過概要
 説明書ニ詳シク書イテアルノデアリマス、之
 ニ依リマス、政府ハ調査スベキ調査ハ十分
 致シタ、又研究スベキモノハ十分研究シ盡
 シタ、既ニ第六十二議會ニ於テ提出シヨウ
 ト思ツタガ、大藏當局ノ拒ム所ニ依ツテ出セ
 ナカッタ、越エテ七十議會ニ於テ出サウト思ツ
 ノデアアルガト云フコトヲ書イテ居ルノデア
 リマス、隨テ準備不足ノ結果遲レタト云フヤウ
 ナ口實ハ、何處カラモ出テ來ナイノデア
 リマス、既ニ今議會始マツテ以來今日マデ七十
 日、荏苒今日ニ至リマシタコトハ如何ナ
 ル理由デアアルカ、其點ヲ御伺致シタイ、而モ
 會期剩ス所僅カ二十日デアアル、斯ノ如キ重
 要法案ヲ斯ル短時日ヲ以テ審議スルト云フ
 コトハ、中々難シイト思フノデアリマス、
 若シ萬一ニシテ斯ルコトガナイト信ジマス
 ルガ、審議未了ニ終ルヤウナコトガアツタ
 ナラバ、ソレハ政府當局ノ責任デアルト私
 ハ信ズルノデアリマス(拍手)此點ニ關スル
 政府當局ノ御意見ヲ承リタイノデアリマス

第一本案ハ多少國家ノ補助助成ガアリマス
 ケレドモ、原則トシテ相互保險制ヲ採用シ
 テ、農民共同ノ分擔ニ於テ損害ヲ填補セン
 トスル立前ヲ取ツタト云フコトハ、法文上明
 カデアリマス、併ナガラ今日ノ農村ノ窮乏
 ハ文字通り餓死線ヲ彷徨シテ居ル、何等災
 害ガナクテモ農民ハ没落ノ一途ヲ辿ラテ居
 ルノデアリマス、其現實ノ農村ヲ見ル時ニ
 保險料ノミニ於テ、日本各地ニ頻發スル所ノ
 災害ニ對シテ、損害填補ヲ爲サントスルコ
 トハ不可能デアルト云フコトヲ、豫斷スル
 ニ難クハナイノデアリマス、相互保險制ノ
 成立スル爲ニハ、亞米利加或ハ諸外國ニ於
 テ行ハレル所ノ大農經營ノ組織デナケレバ
 ナラス、一旦災害ガアツタ場合ニ、其災害ニ
 因ツテ被ツタ損害ガ、家族ノ生活ニ影響シ
 ナイ所ノ大農經營デナケレバナラスノデア
 リマス、然ルニ我國ノ農業ハ私ガ申上ゲル迄
 モナク、家族農業ヲ主體トスル小農經營デ
 アリマシテ、全農家ノ六八%マデガ、一町步
 以下ノ五反百姓デアリマシテ、農業經營ト
 家族生活トハ一ツノ紐帯ヲ成シテ居リマシ
 テ、一度災害ニ見舞ハレマス、直チニ一
 家ガ食フコトスラ出來ナイヤウナ状態ニ立
 至ルノデアリマス、斯ル貧困者ニ平素多額
 ノ保險料ヲ負擔セシムルコトハ不可能デア
 リマシテ、茲ニ本法案ノ相互保險制ヲ採リ
 マシタ所ノ重大ナル缺陷ガ存在スルト思フ
 ノデアリマス、政府ハ社會保險ノ原則ヲ十

分酌ミ入レテ、國營保險制度ヲ採用シ、生
 活費ノ全額ヲ負擔スル制度ヲスルニアラザ
 レバ、本案ノ目的ヲ達成スルコトハ出來ナ
 イト思ヒマスルガ、政府ノ所見ハ如何デア
 リマセウカ

次ニ本案ニ於キマシテ保險金ノ定額制
 ヲ採用シテ居ル、是ハ損害保險ノ本旨ニ反
 スルノデアリカ、本案ニ於キマシテハ、
 保險金額ハ勅令ニ委任シテ居リマスノデ、
 何程ニナルカハ不明デアリマスケレドモ、
 昨年ノ末農林省ノ發行致シマシタ所ノ要綱
 ニ依リマスルト、水稻ニハ僅ニ二十圓、桑
 ニハ二十圓、麥ニハ十圓トナツテ居ルノデア
 リマス、是ダケノ填補デハ到底農民ハ救ハ
 レナイコトハ明デアリマス、尙ホ帝國農會
 ノ調査ニ依リマスルト、米作反當リノ生産
 費ハ、昭和十年度ニ於キマシテハ六十九圓
 十八錢、十一年度ニ於キマシテハ反當リ七
 十一圓十一錢トナルノデアリマシテ、二十
 圓ノ填補ヲ受ケタリトスルモ、僅ニ損害額
 ノ二割五分ニ過ギナイノデアリマス、而モ
 此二割五分ハ皆無作ノ場合ニ於テデアアル、
 三割乃至五六割ノ減收ノ場合ニハ、僅ニ二
 三圓カ五六圓シカ與ヘラレナイ、ドウシテ
 本案ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルデアリマ
 セウカ、又一面ニ於キマシテハ、物ノ價格
 ハ固定シテ不動ノモノデハナイノデアリマ
 ス、種々ノ事情ニ依ツテ或ハ昂騰シ、或ハ暴
 落スルト云フコトハ明ナ事實デアアル、最近
 ノ情勢ヲ見マスルト、支那事變ノ影響ニ依
 リマシテ、漸次物價ハ昂騰シテ居ル、而モ
 物價ノ昂騰ハ勞賃ノ値上ヲ必然的ニ齎ス

ト云フコトハ言フ迄モナイノデアリ
マス、隨テ災害ヲ受ケタル農作物又ハ生産
費モ時ニ依ッテ相異シテ來ル、損害金額モ亦
異ルノガ當然デアリマス、例ヘバ今後物價
竝ニ勞賃ガ騰貴ヲ致シマシテ、今日反當リ
七十二圓ノ生産費デアアルガ、將來或ハ百五十
圓ニナルカモ知レヌ、其場合ニ又同ジ保險金
ノ定額制ニ依ッテ、七十圓ノ場合ト同ジ二十
圓シカ與ヘラレナイト云フコトハ、損害保
險ノ本旨ニ反スルモノデハナイカ、此點ニ關
スル當局ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

第三ハ、保險ノ目的物竝ニ保險事項ガ餘
リニ狹小ニ過ギハシナイカト云フコトデア
リマス、是ハ保險法ヲ見マスルト云フト、
其第一條ニ於キマシテ「行政官廳ノ認可ヲ受
ケ風水害其ノ他ノ災害ニ因リ」ト書イテアリ
マシテ、何等具體的ナ事項ヲ一ツモ言ッテ
居ラナイ、其他ノ災害トハ如何ナル災害ヲ
指スノデアアルカト云フコトヲ、ハッキリ當局
ニ御示テ願ヒタイ(拍手)昨年ノ十二月ニ發
表サレマシタ要綱ヲ見マスルト、僅ニ米作
ト麥作ト桑作トノ農民ダケシカ、此保險ノ
對象トナツテ居ラナイ、野菜或ハ果樹ヲ作ル
農民ニ對シテハ、何等ノ方策モ講ジテ居ラ
ナイ、一方ニ於テ農林當局ハ、今日多角形
農業ヲ獎勵シテ居ル、野菜ヲ作レ、果樹ヲ作
レ、兔ヲ飼ヘ、或ハ豚ヲ飼ヘト、多角形農業ヲ
獎勵シテ居リナガラ、其多角形農業ノ獎勵
ニ應ジテ作ツク農作物ニ對シマシテハ、何等
保險ノ對象ニシテ居ラナイ、是ガ矛盾ニア
ラズシテ何ゾヤト言ヒタイノデアリマス、
ソコデ私ハ斯ウ云フコトヲ質問致シタイ、

第一ニ將來麥、桑、或ハ米以外ノ農業ニ從
事シテ居ル者ニ對シテ、本案ヲ擴張スル意
思ガアルカナイカト云フ點デアリマス、若
シ擴張スル意思ガナイトスルナラバ、如何
ナル方法ヲ以テ農業保險ヨリ除外サレタル
所ノ農業ヲ保護スルヤト云フ、二點ニ付テ
御伺致シタイト思フノデアリマス(「簡單」
ト呼フ者アリ)直グ終リマス、第二ハ、保
險事項ノ點デアリマスガ、是ハ中野氏或ハ
其他ノ人カラ略、御話ガアツタノデアリマ
スガ、例ヘバ雪害、冷害、蟲害ニ因ルモノ
ハ除外シテ居ル、雪害、冷害ニ付テハ、先
程ノ人カラ詳シク申サレマシタガ、政府ノ
之ニ對スル答辯ハ吾々ヲ納得セシメルコト
ガ出來ナイ、マダ研究ガ足ラヌト云フコト
ヲ言ウテ居ル、然ルニ農業保險ガ日本ニ唱
道セラレタノハ、明治二十年デアッタノデア
リマス、ソレカラ在朝在野ノ人、或ハ色々
ノ人々ニ依ッテ研究ガ盡サレテ、政府ハ既ニ
六十二議會ニ於テ法案ヲ提出シヨウトシタ
ト言ハレルノデアリマス、ソレ以來ズツト
研究ヲ續ケテ居リナガラ、今尙ホ冷害ニ對
シテ研究ガ出來テ居ナイト云フコトハ、冷
害ノ常ニ存シテ居ル所ノ東北地方ニ對シテ、
政府當局ガ冷淡ダト云フコトヲ物語ルモノ
ダト吾々ハ思フノデアリマス(拍手)然ルニ
政府委員ノ答辯ハ、保險ニシナクテモ共濟
事業ヲ行フト云フコトヲ言ッテ居ル、所ガ共
濟事業ノ主體ハ市町村デアアル、國家サヘモ行
ヘナイ所ノ龐大ナル雪害及ビ冷害ニ對シテ、
市町村ガドウシテ之ヲ行ヘルカ、單ニ法文
ノ中ニ共濟事業ヲ冷害ニ對シテ行フト云フ

コトヲ規定シタニ止ッテ、實際上ハ不可能デ
アルト云フコトハ明ナ事實デアリマス、是
ハ私共ハ政府ノ通路デハナイカト思フ、市
町村ニ委シテ置イテ、ドウシテ共濟ガ出來
ルカ、共濟事業ニ依ッテドウシテ行ヘルカ、
ソレヲ御聽シタイノデアリマス

最後ニ政府ハ農業保險ノ實施後ニ於テ、
從來政府ガ罹災農民ニ對シテ執ッテ參リマシ
タ所ノ罹災救助、其他災害地免租、低利資
金ノ融通等ヲ、併セテ行フノ意思アリヤ否
ヤト云フ問題デアリマス、若シ農業保險制
度ノ實施ニ於テ、政府ハ之ニ満足シテ是等
ノ方策ヲ講ジナイトスルナラバ、吾々ハ本
案ニ對スル贊否ニ關シテ、十分考ヘナクチ
ヤナラヌノデアリマス、ドウカ此點ニ對シ
テ明確ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデゴ
ザイマス(拍手)

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君登壇)

○國務大臣(伯爵有馬頼寧君) 菊地君ノ御
尋ニ御答ヲ致シマス、第一ノ提出ノ遅レマ
シタ理由ニ付キマシテハ、別ニ取立テ、申
上グルコトモナイノデアリマシテ、色々ノ
法案ガアリマスルシ、準備其他ノ爲ニ遅レ
タノデアリマシテ、甚ダ申譯ガアリマセヌ
ガ、ドウゾ短イ時間ニ於テ十分御審議ヲ願
ヒタイト思ヒマス、相互制ハイカヌト云フ
御説デゴザイマシタガ、日本ノ農村ノ農業
ガ非常ニ小規模デアアルト云フコトハ、或ハ
缺點デアアルカモ知レマセヌガ、併シ日本ノ
農村ノ相互共濟ト云フヤウナ風カラ考ヘテ
見マシテモ、所謂相互制ト云フモノハ、必
シモ日本ノ農村ニ不適當デアルト考ヘテ居

ラナイノデアリマス、殊ニ何ト申シマスカ、
生活費全部ヲ保險ニ付スルト云フヤウナ、
保險金額ヲ多額ニ致シマスコトハ、保險料
ヲ高ク致シマシテ、小農ニ取リマシテハ負擔
ガ重クナリマスルカラ、其點ハ考慮致シマ
シテ、成ベク保險料ヲ低額ニ致シマス爲ニ、
定額制ヲ採ルコトニ致シタノデアリマス、
定額制ノ大體ノ標準ト云フモノハ、是ハ次
ノ生産ヲ行ヒマスル上ニ付キマシテ、其準
備ヲスル爲ニ必要ナ現金支出ト云フモノヲ
大體ノ標準ニ置キマシテ、定額制ト云フモ
ノヲ考ヘタノデゴザイマス、收穫全部ニ對
スル保險ト云フコトニナリマスレバ、只今
申上ゲマシタヤウニ、非常ニ保險料ガ高クナ
ル爲ニ、定額制ガ宜シイト思ッテ居ルノデア
リマス、保險事項、保險ヲ致シマス作物其
他ニ付キマシテハ、只今ノ所デハ、米ト麥
ト桑ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ日本
ノ全農産物ノ約七割ヲ占メテ居リマス、又
面積カラ申シマシテモ、大部分ヲ占メテ居
リマスノデ、差當リ此三ツノモノニ付キマ
シテ、風水害、旱害、其他ノ主ナル害ニ付
テ保險ヲ付ケルコトニ致シマシタガ、決シテ
之ニ限定ヲ致シテ居ルト云フ意味ダハナイ
ノデアリマシテ、將來必要ニ應ジテ又之ヲ
改メタイト考ヘテ居リマス、冷害、雪害ノ
點ニ付キマシテハ、只今中野君ニ御答申上
ゲマシタ通りデアリマスガ、共濟ト云フコ
トハ決シテ市町村ガ行フノデハナイノデア
リマシテ、共濟事業ハ保險組合ガ行フ、所
謂郡區域ノ保險組合ガ之ヲ行フコトニナツテ
居ルノデアリマス、此保險制度ガ設ケラレ

第一ニ將來麥、桑、或ハ米以外ノ農業ニ從
事シテ居ル者ニ對シテ、本案ヲ擴張スル意
思ガアルカナイカト云フ點デアリマス、若
シ擴張スル意思ガナイトスルナラバ、如何
ナル方法ヲ以テ農業保險ヨリ除外サレタル
所ノ農業ヲ保護スルヤト云フ、二點ニ付テ
御伺致シタイト思フノデアリマス(「簡單」
ト呼フ者アリ)直グ終リマス、第二ハ、保
險事項ノ點デアリマスガ、是ハ中野氏或ハ
其他ノ人カラ略、御話ガアツタノデアリマ
スガ、例ヘバ雪害、冷害、蟲害ニ因ルモノ
ハ除外シテ居ル、雪害、冷害ニ付テハ、先
程ノ人カラ詳シク申サレマシタガ、政府ノ
之ニ對スル答辯ハ吾々ヲ納得セシメルコト
ガ出來ナイ、マダ研究ガ足ラヌト云フコト
ヲ言ウテ居ル、然ルニ農業保險ガ日本ニ唱
道セラレタノハ、明治二十年デアッタノデア
リマス、ソレカラ在朝在野ノ人、或ハ色々
ノ人々ニ依ッテ研究ガ盡サレテ、政府ハ既ニ
六十二議會ニ於テ法案ヲ提出シヨウトシタ
ト言ハレルノデアリマス、ソレ以來ズツト
研究ヲ續ケテ居リナガラ、今尙ホ冷害ニ對
シテ研究ガ出來テ居ナイト云フコトハ、冷
害ノ常ニ存シテ居ル所ノ東北地方ニ對シテ、
政府當局ガ冷淡ダト云フコトヲ物語ルモノ
ダト吾々ハ思フノデアリマス(拍手)然ルニ
政府委員ノ答辯ハ、保險ニシナクテモ共濟
事業ヲ行フト云フコトヲ言ッテ居ル、所ガ共
濟事業ノ主體ハ市町村デアアル、國家サヘモ行
ヘナイ所ノ龐大ナル雪害及ビ冷害ニ對シテ、
市町村ガドウシテ之ヲ行ヘルカ、單ニ法文
ノ中ニ共濟事業ヲ冷害ニ對シテ行フト云フ

シモ日本ノ農村ニ不適當デアルト考ヘテ居
ラナイノデアリマス、殊ニ何ト申シマスカ、
生活費全部ヲ保險ニ付スルト云フヤウナ、
保險金額ヲ多額ニ致シマスコトハ、保險料
ヲ高ク致シマシテ、小農ニ取リマシテハ負擔
ガ重クナリマスルカラ、其點ハ考慮致シマ
シテ、成ベク保險料ヲ低額ニ致シマス爲ニ、
定額制ヲ採ルコトニ致シタノデアリマス、
定額制ノ大體ノ標準ト云フモノハ、是ハ次
ノ生産ヲ行ヒマスル上ニ付キマシテ、其準
備ヲスル爲ニ必要ナ現金支出ト云フモノヲ
大體ノ標準ニ置キマシテ、定額制ト云フモ
ノヲ考ヘタノデゴザイマス、收穫全部ニ對
スル保險ト云フコトニナリマスレバ、只今
申上ゲマシタヤウニ、非常ニ保險料ガ高クナ
ル爲ニ、定額制ガ宜シイト思ッテ居ルノデア
リマス、保險事項、保險ヲ致シマス作物其
他ニ付キマシテハ、只今ノ所デハ、米ト麥
ト桑ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ日本
ノ全農産物ノ約七割ヲ占メテ居リマス、又
面積カラ申シマシテモ、大部分ヲ占メテ居
リマスノデ、差當リ此三ツノモノニ付キマ
シテ、風水害、旱害、其他ノ主ナル害ニ付
テ保險ヲ付ケルコトニ致シマシタガ、決シテ
之ニ限定ヲ致シテ居ルト云フ意味ダハナイ
ノデアリマシテ、將來必要ニ應ジテ又之ヲ
改メタイト考ヘテ居リマス、冷害、雪害ノ
點ニ付キマシテハ、只今中野君ニ御答申上
ゲマシタ通りデアリマスガ、共濟ト云フコ
トハ決シテ市町村ガ行フノデハナイノデア
リマシテ、共濟事業ハ保險組合ガ行フ、所
謂郡區域ノ保險組合ガ之ヲ行フコトニナツテ
居ルノデアリマス、此保險制度ガ設ケラレ

ラナイノデアリマス、殊ニ何ト申シマスカ、
生活費全部ヲ保險ニ付スルト云フヤウナ、
保險金額ヲ多額ニ致シマスコトハ、保險料
ヲ高ク致シマシテ、小農ニ取リマシテハ負擔
ガ重クナリマスルカラ、其點ハ考慮致シマ
シテ、成ベク保險料ヲ低額ニ致シマス爲ニ、
定額制ヲ採ルコトニ致シタノデアリマス、
定額制ノ大體ノ標準ト云フモノハ、是ハ次
ノ生産ヲ行ヒマスル上ニ付キマシテ、其準
備ヲスル爲ニ必要ナ現金支出ト云フモノヲ
大體ノ標準ニ置キマシテ、定額制ト云フモ
ノヲ考ヘタノデゴザイマス、收穫全部ニ對
スル保險ト云フコトニナリマスレバ、只今
申上ゲマシタヤウニ、非常ニ保險料ガ高クナ
ル爲ニ、定額制ガ宜シイト思ッテ居ルノデア
リマス、保險事項、保險ヲ致シマス作物其
他ニ付キマシテハ、只今ノ所デハ、米ト麥
ト桑ト云フコトニナツテ居リマス、是ハ日本
ノ全農産物ノ約七割ヲ占メテ居リマス、又
面積カラ申シマシテモ、大部分ヲ占メテ居
リマスノデ、差當リ此三ツノモノニ付キマ
シテ、風水害、旱害、其他ノ主ナル害ニ付
テ保險ヲ付ケルコトニ致シマシタガ、決シテ
之ニ限定ヲ致シテ居ルト云フ意味ダハナイ
ノデアリマシテ、將來必要ニ應ジテ又之ヲ
改メタイト考ヘテ居リマス、冷害、雪害ノ
點ニ付キマシテハ、只今中野君ニ御答申上
ゲマシタ通りデアリマスガ、共濟ト云フコ
トハ決シテ市町村ガ行フノデハナイノデア
リマシテ、共濟事業ハ保險組合ガ行フ、所
謂郡區域ノ保險組合ガ之ヲ行フコトニナツテ
居ルノデアリマス、此保險制度ガ設ケラレ

テモ、決シテ普通一般ニ今マデ行ハレタ所ノ災害ニ因ル救済的ナモノヲ廢止致ス考ハゴザイマセヌ、災害ニ因ル所ノ免租デアルトカ、或ハ低利資金ノ融通ナドハ、從來通り之ヲ行フデアリマシテ、保險ノ爲ニソレ等ヲ廢止スルト云フヤウナ考ハ持ッテ居リマセヌ(拍手)

○副議長(金光庸夫君) 是ニテ質疑ハ終了致シマシク、本案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ議長指名二十七名ノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(金光庸夫君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(金光庸夫君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシク

○服部崎市君 此際暫時休憩セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(金光庸夫君) 服部君提出ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○副議長(金光庸夫君) 御異議ナシト認メマス、仍テ暫時休憩致シマス
午後六時二分休憩

午後六時四十一分開議

○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、日程第二、本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案、第一讀會ヲ開キマス——大藏政務次官

第二 本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案

本邦内ニ於テ募集シタル命令ノ定ムル外國債ハ租税ノ賦課又ハ納税ノ擔保ニ關シテハ之ヲ國債ト看做ス

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本法施行前募集シタル外國債ニハ本法ヲ適用セズ

〔政府委員太田正孝君登壇〕
○政府委員(太田正孝君) 只今議題トナリマシク本邦内ニ於テ募集シタル外國債ノ待遇ニ關スル法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、我國ノ國債ニ對シマシテハ、租税ノ賦課並ニ納税ノ擔保ニ付キ、其性質上他ノ有價證券ト比ベマシテ特例ガ設ケラレテ居ルノデアリマスケレドモ、外國ノ國債ニ付キマシテハ、斯様ナ取扱ヲ致シテ居ラナイノデアリマス、然ルニ外國ノ國債ニ付キマシテモ、我が國內ニ於テ募集セラレタモノニ付キマシテハ、此際一定條件ノ下ニ我國ノ國債ト同様ノ待遇ヲ與ヘマシテ、其發行ニ便宜アラシメタイト存ズルノデアリマス、差當リマシテハ滿洲國ノ國債ニ其適用アリト認メラレルノデアリマス、何卒御審議ノ上御協贊ヲ與ヘラレンコトヲ御願致シマス

○議長(小山松壽君) 本案ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 本案ハ政府提出、臨時租税増徴法中改正法律案外七件委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシク、是ニテ議事日程ハ議了致シマシク、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後六時四十四分散會

衆議院議事速記第二十二號中正誤

頁	段	行	誤	正
五〇五	二	一一	武智勇記君	武知勇記君
同	同	一二	武智勇記君	武知勇記君
同	同	一三	武智勇記君	武知勇記君